

2010年 風来坊 Country Walk

里歩き・山歩き & 山口・美祢・美祢の四季 2010

Mutsu Nakanishi Home Page より
<http://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/>

2011. 4. 15.



By Mutsuo Nakanishi

2010年 風来坊Country Walk 総覧

里歩き・山歩き & 山口・美祢・長門の四季

風来坊 Country Walk [9] 里歩き・山歩き 2010

■ Country Walk 里歩き 2010

1. 西播磨 歴史の町に春を訪ねる 西播磨綾部山梅林と江戸の町並みが残る坂越港 10walk01.pdf
 - 菜の花と梅満開の綾部山観梅 walk
 - 綾部山 39号墳を訪ねる 「大和・阿波・讃岐・播磨」の連合を示す播磨の重要な古墳
 - 古代秦氏の播磨進出地 港町「坂越」walk
赤穂市坂越西播磨名産「牡蠣」& 古い港の町並みが残る坂越
 - 西播磨 歴史の町に春を訪ねる まとめ
2. 【写真アルバム】 京都御所と植物園に満開の桜を訪ねる 10walk02.pdf
 - 京都御所の桜
 - 植物園の桜
 - 久しぶりに見た重文近代建築 京都府庁&レンガのアグネス教会
3. 【写真アルバム】 春の妖精 カタクリの花 兵庫県播磨 佐用町 2010.4.8. 10walk03.pdf
4. 【写真アルバム】 草木萌ゆ 春の里山風景 神戸北 丹生山系を越える国道428号 2010.4.19. 10walk04.pdf
5. 春 石楠花と新緑の綿向山山麓 滋賀県東近江 日野町 walk 2010.5.2. 10walk05.pdf
 1. 天然記念物 鎌掛谷のホンシャクナゲ 満開の群生地を訪ねる
 2. 鎌掛峠を越えて綿向山へ 綿向山山麓 Walk
 3. 馬見岡綿向神社 日野祭(宵山)参考 【Country Walk】鎌掛 石楠花谷 Walk 滋賀県日野町 2003.4.
6. 【スライド】 2010 京都 葵祭 2010.5.15. 10walk06.pdf
 1. 葵祭の名の由来となった植物「ふたば葵」
 2. 葵祭 walk 御所から下鴨神社へ向かう本列(男列)と斎王代に從う斎王代列(女列)
7. 【スライド】 春から初夏へ 花 Walk 六甲高山植物園 2010.6.1. 10walk07.pdf
幻のヒマラヤの青いケシ・高山植物の女王「コマクサ」
8. 平城遷都1300年祭で賑わう奈良 Walk 大遣唐使展・若草山・平城宮大極殿 2010.6.11. 10walk08.pdf
 1. 平安遷都1300年記念大遣唐使展
 2. 大和平野の素晴らしい展望台 若草山 walk
 3. 平城遷都1300年祭 平城宮跡 復元朱雀門と大極殿
9. 【写真アルバム】 ひまわりの夏 西播磨佐用 旧南光町林崎・漆野のひまわり畑で 2010.7.20. 10walk09.pdf
10. 京都堀川 京の七夕 2010.8.3. 10walk10.pdf
11. 【写真アルバム】 涼を求めて 布引の滝・ハーブ園から摩耶山掬星台へ 2010.8.6. 10walk11.pdf
12. 【写真アルバム】 花で追う2010年の秋 小さい秋 みつけた 10walk12.pdf
 1. 山田錦の郷 三木市吉川 灘の酒蔵の旗がはたためく実りの秋 2010.9.6.
 2. 新しい兵庫の蕎麦の郷 加古川市志方町野尻・小野市小野町 2010.10.1.
 3. 稲穂が揺れる田圃の畔に彼岸花 加古川市志方町で 2010.10.1.
 4. コスモスの里 加古川市志方町広尾西・東中コスモス畑 2010.10.13.
 5. 一足早い溪谷の紅葉 信州蓼科中央高原「横谷溪谷」 2010.10.17.
13. 【写真アルバム】 縄文を代表する国宝「火焰土器」新潟県十日町市 笹山遺跡を訪ねる 2010.11.17. 10walk13.pdf

山口・美祢・長門の四季 [8] 2010

■ 美祢・長門の四季 2010

1. 美祢市於福に店内に野菜生産工場がある野菜レストラン誕生 美祢も新しい街の息吹が... 2010.8.2. 8mine01.pdf

2010 Country Walk もくじ

里歩き・山歩き & 山口・美祢・長門の四季

風来坊 Country Walk [9] 里歩き・山歩き 2010

■ Country Walk 里歩き 2010

1. 西播磨 歴史の町に春を訪ねる 西播磨綾部山梅林と江戸の町並みが残る坂越港 10walk01.pdf
 - 菜の花と梅満開の綾部山観梅 walk
 - 綾部山 39 号墳を訪ねる 「大和・阿波・讃岐・播磨」の連合を示す播磨の重要な古墳
 - 古代秦氏の播磨進出地 港町「坂越」walk
赤穂市坂越西播磨名産「牡蠣」& 古い港の町並みが残る坂越
 - 西播磨 歴史の町に春を訪ねる まとめ
2. 【写真アルバム】 京都御所と植物園に満開の桜を訪ねる 10walk02.pdf
 - 京都御所の桜
 - 植物園の桜
 - 久しぶりに見た重文近代建築 京都府庁&レンガのアグネス教会
3. 【写真アルバム】 春の妖精 カタクリの花 兵庫県播磨 佐用町 2010.4.8. 10walk03.pdf
4. 【写真アルバム】 草木萌ゆ 春の里山風景 神戸北 丹生山系を越える国道 428 号 2010.4.19. 10walk04.pdf
5. 春 石楠花と新緑の綿向山山麓 滋賀県東近江 日野町 walk 2010.5.2. 10walk05.pdf
 1. 天然記念物 鎌掛谷のホンシャクナゲ 満開の群生地を訪ねる
 2. 鎌掛峠を越えて綿向山へ 綿向山山麓 Walk
 3. 馬見岡綿向神社 日野祭(宵山)

参考 【Country Walk】 鎌掛 石楠花谷 Walk 滋賀県日野町 2003.4.
6. 【スライド】 2010 京都 葵祭 2010.5.15. 10walk06.pdf
 1. 葵祭の名の由来となった植物「ふたば葵」
 2. 葵 祭 walk 御所から下鴨神社へ向かう本列(男列)と齋王代に従う齋王代列(女列)
7. 【スライド】 春から初夏へ 花 Walk 六甲高山植物園 2010.6.1. 10walk07.pdf

幻のヒマラヤの青いケシ・高山植物の女王「コマクサ」
8. 平城遷都 1300 年祭で賑わう奈良 Walk 大遣唐使展・若草山・平城宮大極殿 2010.6.11. 10walk08.pdf
 1. 平安遷都 1300 年記念大遣唐使展
 2. 大和平野の素晴らしい展望台 若草山 walk
 3. 平城遷都 1300 年祭 平城宮跡 復元朱雀門と大極殿
9. 【写真アルバム】 ひまわりの夏 西播磨佐用 旧南光町林崎・漆野のひまわり畑で 2010.7.20. 10walk09.pdf
10. 京都堀川 京の七夕 2010. 8.3. 10walk10.pdf
11. 【写真アルバム】 涼を求めて 布引の滝・ハーブ園から摩耶山掬星台へ 2010.8.6. 10walk11.pdf
12. 【写真アルバム】 花で追う 2010 年の秋 小さい秋 みつけた 10walk12.pdf
 1. 山田錦の郷 三木市吉川 灘の酒蔵の旗がはためく美りの秋 2010.9.6.
 2. 新しい兵庫の蕎麦の郷 加古川市志方町野尻・小野市小野町 2010.10.1.
 3. 稲穂が揺れる田圃の畔に彼岸花 加古川市志方町で 2010.10.1.
 4. コスモスの里 加古川市志方町広尾西・東中コスモス畑 2010.10.13.
 5. 一足早い溪谷の紅葉 信州蓼科中央高原「横谷溪谷」 2010.10.17.
13. 【写真アルバム】 縄文を代表する国宝「火焔土器」新潟県十日町市 笹山遺跡を訪ねる 2010.11.17. 10walk13.pdf

山口・美祢・長門の四季 [8] 2010

■ 美祢・長門の四季 2010

1. 美祢市於福に店内に野菜生産工場がある野菜レストラン誕生 美祢も新しい街の息吹が... 2010.8.2. 8mine01.pdf

1. 西播磨 歴史の町に春を訪ねる 西播磨綾部山梅林と江戸の町並みが残る坂越港

綾部山古墳群 竜野市御津町 & 秦氏の西播磨進出地 坂越 赤穂市坂越 2010. 3. 14.



菜の花と梅 満開の綾部山 竜野市御津町



坂越湾内 秦河勝の墓がある生島 & 江戸期の町並み 坂越

「西播磨の海岸沿い 綾部山の梅林の梅が満開」と新聞が伝えている。また、つい先日 おいしく食べた西播磨名産「坂越の殻つきの生牡蠣」。どちらも 西播磨の海岸沿い 神戸から 車で加古川バイパスを抜けてゆけば、1時間ちょっとである。

「綾部山の満開の梅を見て、坂越の港での焼き牡蠣食べに行こう」と家内の車を充てにして 3月14日(日) 出かける。

すばらしい綾部山全体を覆う満開の梅とおいしい生牡蠣が目的なのですが、私にはもうひとつ目的がある。

この綾部山全体には 40 を超える古墳群があり、特に 39 号墳は 3 世紀 大和王権成立前夜のこの地の大王の最古級の古墳で、その墳墓形式など海を挟んで南にある阿波・讃岐そして大和との結びつきを示し、播磨が大和王権成立の重要な連合国のひとつであることを示す重要な古墳。

また、その綾部山の西側相生湾の向こうに関西では有名な「生牡蠣」の産地 赤穂市坂越がある。この地も古代から栄えたところで、古代には秦氏の播磨の根拠地として聖徳太子に使えた秦氏一番の有力者秦河勝の墓の伝承地であり、また江戸時代には 瀬戸内の天然の良好としてこの地の特産塩の廻船業で栄えた港で、今もその町並みを残す静かな港町として知られる。

綾部山は奥播磨から播磨平野を流れ下る揖保川の河口近くの海岸沿いの山 坂越もまた、播磨・吉備の境近く 海岸まで南北に伸びる山間を流れ下ってくる千種川の河口近く山々に接する海岸沿いの小さな港町。

古墳時代初期 吉備に近い西播磨が大和連合に連なる重要国になりえたのだろうか・・・

現代から見るとどうしても播磨の中心地はもっと東 古代播磨国府が置かれた現在の姫路周辺と考えるのですが・・・

2 月に阿波徳島の古代を見に行き 阿波特産の青石の積み石塚の古墳そして古代の鍛冶工場の痕跡を見てきたこともあり、同じ形式の古墳である綾部山 39 号墳の存在が気になっていました。 そんな折に 赤穂坂越が物づくりの渡来豪族 秦氏の播磨の根拠地とその背後にある山々の鉱物資源「金」が進出のねらいでないか・・・との話を聞きました。 秦氏が引き連れて渡来した工人には 大和葛城 葛城氏の鍛冶工場の中心となった韓鍛冶が数多く含まれている。この系譜が秦氏西播磨進出しゃではないか・・・と。

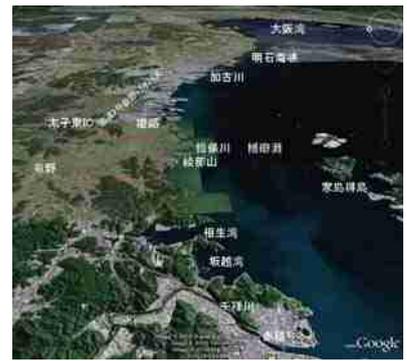
初期大和王権成立に活躍した播磨の力にやっぱり鍛冶技術があつたのではないかと・・・と。

そんな 古墳時代の鉄の痕跡が見つかるかもしれないと思いつつ、綾部山の満開の梅と菜の花 そして 周囲の山に包まれた古い町並みの残る坂越と西播磨の春を楽しんで帰りました。もちろん 坂越の生牡蠣も・・・



1. 菜の花と梅満開の綾部山 観梅 walk

2010. 3. 14.



山腹には満開の梅 山麓には菜の花畑が広がる綾部山 2010. 3. 14.

3月14日朝 神戸を出て 国道2号線を西へ加古川・姫路バイパスを抜けて、40分ほどで太子東のICを出る。綾部山へは 揖保川を越えてからバイパスを出てから南の海岸沿いへ出るのが近いのですが、日曜日で渋滞中のバイパスを避けて 南へ網干の街中から海岸沿いの浜街道国道250号に出てこの道を西へ。



直ぐに揖保川に架かる橋からは左手浜側に綾部山の山並みが見えてくる。綾部山梅林・新舞子荘の標識を見て左手の浜側に曲がると田園地帯になり、その向こうに見える綾部山へ。何度か来たことがあり、見慣れた風景とっていると以外にも 綾部山の山麓はまっ黄色の菜の花畑。神戸近郊では最近見られなくなって、今年は淡路に行かないとみられないかも・・・と思っていたところ。思わずラッキーと。綾部山の山腹一杯に梅林が広がっているのですが、梅の花は小さく色が淡いので枝と一緒にあって まだ花があるのかよくわからない。でも 次から次へと車が梅林を目指すので、梅の花も見られそう。

まず 菜の花畑に入って春の香りをかぎたいと菜の花畑の直ぐ横の駐車場に車を入れる。



綾部山の北側山裾に広がる菜の花畑



竜野市御津町黒津 2010. 3. 14.



春の香りが広がる 綾部山の北側山裾に広がる菜の花畑

竜野市御津町黒津 2010. 3. 14.

菜の花の香りに満足して、綾部山梅林へ。ほんのわずかの間に次々と車が入ってきて、もう駐車場も一杯に。

正面に広がる綾部山の山腹から頂上まで全体が梅林で その中に 40 を超える古墳群が点在する。

今回は満開の梅ばかりでなく、この古墳群の中にある最も古い古墳で大和王権の成立に繋がる播磨を示したとされる 39 号墳の場所へ行きたいと出かけてきたのですが、綾部山梅林の横を登る道路の途中だと調べただけで、その位置の情報なし。

「正面の梅林へ行く道ではなく、綾部山の東端から新舞子荘へ登ってゆく途中。 確か案内板あったと思うが、道路の下で何も無い」と駐車場の地元の人に教えてもらい、梅林に行ってから、綾部山 39 号墳へ行くことにする。

梅林へは JR 網干・竜野駅からもバスがでていて、満開の梅を見る人で一杯でした。



綾部山梅林 正面の入口 満開の梅を見る人たちで一杯でした 2010. 3. 14.



綾部山梅林 2010. 3. 14.

播磨灘に面して東西に伸びる丘陵地 綾部山の北側山腹全体に梅林が広がり、この山腹斜面に観梅の遊歩道がつけられ「ひとめ2万本」と言われる見事な盛りを楽しめる。 また、山頂部の尾根筋からは 東に播磨工業地帯・姫路から龍野の町並みや田園が連なる播磨平野 眼下に広がる播磨灘には 国立公園新舞子浜の海岸、瀬戸内の家島群島、小豆島、淡路島等が眺められ、まさにこの地が四国へたどる海の道と東西に伸びる瀬戸内の海の交差点であることを示す。また、この綾部山には5～7世紀の古墳 30 基が散在しており、梅林の中の遊歩道から、正玄塚古墳など幾つかの古墳が眺められる。

● 綾部山梅林 満開の観梅 walk 写真アルバム



播磨 龍野市御津町 綾部山梅林 この山腹には綾部山古墳群が点在する 2010.3.14.



播磨 龍野市御津町 綾部山梅林 この山腹には綾部山古墳群が点在する 2010.3.14.

奥に播磨灘に浮かぶ男鹿島・家島・(坊勢・西島)の家島群島が見えていました



播磨 龍野市御津町 綾部山梅林 背後に本竜野から姫路の工業地帯までの田園や市街地が遠望 2010.3.14.



播磨 龍野市御津町 綾部山梅林 眼下に御津町黒崎の菜の花畑・背後に姫路の市街地が遠望 2010.3.14.



古墳時代後期の円墳 正玄塚古墳(綾部山 28 号墳)



綾部山 36 号古墳の上にかわいいお地藏さん 2010.3.14.



播磨 龍野市御津町 綾部山梅林 2010.3.14.



播磨 龍野市御津町 綾部山梅林 眼下に御津町黒崎の菜の花畑・背後に姫路の工業地帯が遠望される 2010.3.14.



播磨 龍野市御津町 綾部山梅林 眼下に御津町黒崎の菜の花畑・背後に姫路の工業地帯が遠望される 2010.3.14.



綾部山 頂上部の尾根筋より 北側の綾部山古墳群の碑周辺を眺める 2010.3.14.



綾部山 頂上部の尾根筋 綾部山古墳群の碑周辺 2010.3.14.

2. 綾部山 39 号墳を訪ねる 大和王権「大和・阿波・讃岐・播磨」の連合を示す播磨の重要な古墳



39号墳が道路下に埋まっている黒津から新舞子へ向かう道路の坂 道の左脇に案内板があった

綾部山 38 号墳は綾部山の一番海岸よりの南端。 菜の花畑から見ると左手の黒津集落に入る手前を右へ斜めに綾部山へ坂を登り、尾根筋に出て、「く」の字にターンする坂の途中海側の崖に接する場所にありました。 ちょうど「く」の字の山側には老人ホームが建っていました。 そのまま坂を上りきるとそこからは播磨灘に浮かぶ家島群島・その後ろに小豆島がながめられ、この地が 瀬戸内海を東西に結ぶ海路と島伝いに四国へ結ぶ海路の十字路に当たっていることがよくわかる。

交通路・船がまだ発達していない古墳時代初期 交通路の要衝であったことがよくわかる。



綾部山 39 号墳の位置 黒部集落から新舞子荘へ綾部山の尾根筋へ東から西へ登ってゆく道を尾根の先端部へ登った所

瀬戸内海を眺望する海岸沿いの小高い尾根上(標高 27m)に立地。南側の海を見渡すと、向こうには大阪・淡路島・徳島県・香川県・岡山の牛窓が見え瀬戸内の海上交通を強く意識してこの場所に造られている。ここに葬られた人物(首長)は、まだ山陽道が整備されていなかったこの時代、重要であった瀬戸内の海上交通に関与した人であったと考えられる。

綾部山 39 号墳 の 概 要 綾部山 39 号墳の現在 海岸沿いの綾部山の尾根筋を登る道の下になっている

綾部山 39 号墳現地説明会資料 2003 年 3 月 22 日 御津町教育委員会 & 現地案内板より

<http://www.gensetsu.com/03ayabe39/doc1.htm> を整理

綾部山39号墳(墓)

綾部山39号墳(墓)は綾部山山地で39基目に発見された遺跡です。平成15年1月～3月、平成15年7月～10月の2度にわたり、高神綾部山線道路改良工事に伴う本発掘調査が行われました。

綾部山39号墳(墓)は瀬戸内海の河口、瀬戸内海を眺望できる海岸沿いの小高い尾根上(標高27m)に立地しており、南の海側から見られることを意識して造られました。形状は円丘を意図した多角形状に石列をめぐらし、墳域はまだ、南斜面に伸びるものとみられます。

埋葬施設は、箱形の木棺を竪穴式石槨が囲み、さらにその外側にも川原石を積み上げた形似の石囲い構造をしています。

この墳墓は讃岐・阿波地域に見られる墓制で、大和のホケノ山古墳にも認められます。遺物では、年代が特定できる土器はありませんでしたが、墳域から運ばれた土器が出ています。また副葬されていたのは、中国製の陶文蓋埴輪瓦三神三獣鏡、碧玉製の管玉、良符の仕上げ用の磁石、西部瀬戸内地方の特産をもつヤリガンナで、ヤリガンナ以外は意図的に埋納された状態で発見されました。弥生時代末期、瀬戸内海一帯では鏡や玉等の副葬品を瘞す祭祀が行われていたようです。

このようなことから、綾部山39号墳(墓)は邪馬台国があったとされる三世紀前半の古墳(墳丘墓)と考えられます。この遺跡の被葬者は、讃岐・阿波地域と深い繋がりを持ち、更に畿内地域の首長とも密接な関係をもっていた人物であったと考えられます。

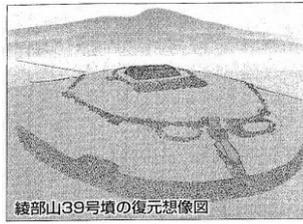
平成16年3月
御津町教育委員会

墳形は円形を意識した多角形で墳丘の裾部に列石を巡らし、南北約 15m以上、東西 10m、高さ約 1.7m。中心部の埋葬施設は箱形木棺を竪穴式石槨で覆い、その周囲を河原石を積んで囲む特徴的な形態を示す。竪穴式石槨は割石小口積みで壁体をほぼ垂直に積むもので、木蓋と推定。この石槨部の石囲い施設は庄内式併行期に讃岐や阿波地域で発達したもので、古墳出現期の徳島県西山谷2号墳(黒谷川Ⅲ式)の墓壇の「積み石」などにその影響が認められます。

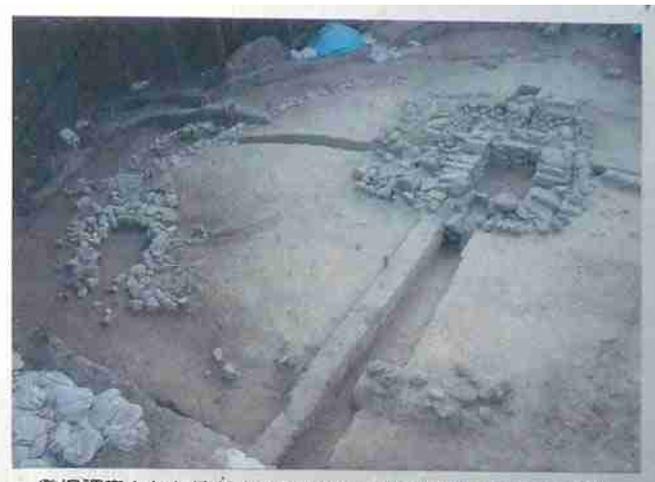
● **墳丘の形状**

墳丘にはハッキリとした高まりがなく、直径 10～11m のいびつな円形状の列石(20センチ程度の川原石と割石)が外側をまわっていて、これが墳丘の裾(すそ)。また、墳丘を築造するための盛土は、最高でも厚さ 10センチ程度で、列石のところではその盛土はなくなるようである。墳丘の盛上の大きさや墳形にはあまりこだわらず、ハッキリとした区画をしない弥生時代の墳丘墓の要素を強くもっているといえる。

もう一つ、忘れてはならない重要なことは、現在の道路部分である北西側に、突出部(前方部?)をもつ可能性があり、前方後円形になる可能性が考えられる



● **埋葬主体部**



発掘調査された綾部山39号墳(墓)の完掘状況(東から撮影)

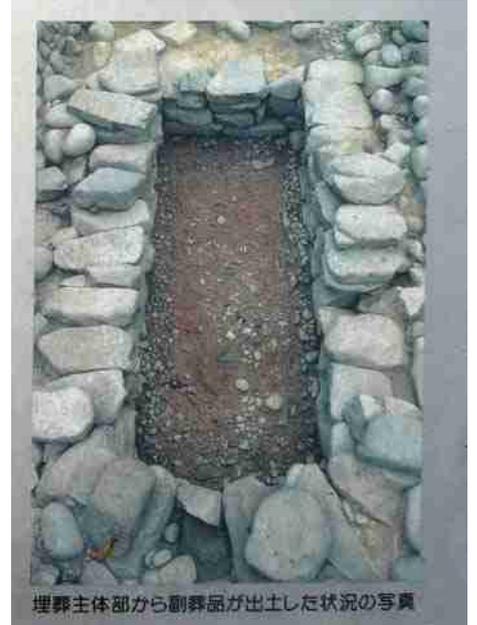
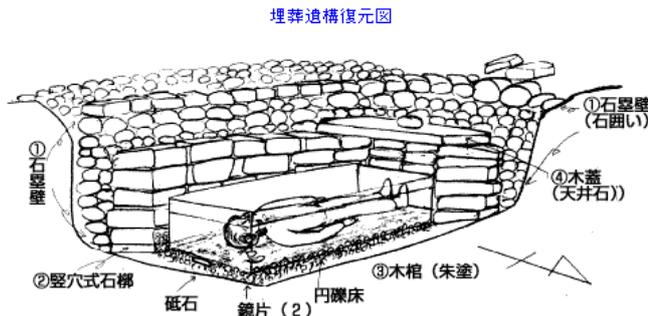
東西 4.6m、南北 3.5m の石で囲まれた隅丸方形をしている埋葬主体部は『石囲い(石罌壁)・竪穴式石槨・木棺』の 3 重の構造で、『最古の古墳』として有名な奈良桜井市の『ホケノ山古墳』(3 世紀中頃)と類似。

『ホケノ山古墳』の構造は『石囲い・木槨・木棺』になっており、石槨と木槨とが違うだけで、この遺跡と非常に似た構造になっている。『ホケノ山古墳』の『石囲い木槨』構造に対して、綾部山 39 号墳(墳丘墓)は『石囲い石槨』と言え、このような 3 重構造は、兵庫県で初めての発見で、岡山県でもまだ見つかっていない。

● 石囲い(石罌壁)

『竪穴式石槨』を石で囲む遺構を『石囲い』または『石罌壁』はほとんどが川原石で、長軸を中心部方向に向けて、石をもたせかけるように丁寧に整然と積んである。やや外側に傾斜して構築しているために、石槨との間に出来るスペースには、川原石を詰めている。『石囲い』という構造は瀬戸内海沿岸各地などで、弥生時代後期から古墳時代初めにかけての墳丘墓や古墳に見られる特有のもので、四国の阿讃地方(阿波・讃岐)

で発達したものと考えられており、綾部山 39 号墳(墳墓)はその文化を取り入れたものである。



● 竪穴式石槨

『石囲い(石罌壁)』で使用されている石はほとんどが川原石であるが、竪穴式石槨に使用されている石は角が取れた板石。右槨内側の規模は、長さ約 255cm・東小口幅 95cm・西小口幅 90cm・板石 6 段積みと考えると深さ約 70cm。側壁の断面形状はほぼ真っ直ぐに立ち上がる状態でどちらかといえば外に少し広がっているようにも見え、弥生時代の竪穴式石室(槨)の特徴をもっている。

● 木棺

石槨床面には 2 センチ～8 センチの小円礫が敷かれている。礫床が平になっていることから、棺は箱形木棺と考えられ、木棺のあった場所には朱が付着し、痕跡から棺の大きさは長さ約 190cm・東小口幅約 80cm・西小口幅約 76cm。東側が幅の広いことや、副葬品の位置から考えると頭位は東向きに葬られていたと推察できる。

● 副葬品



画文帯環状乳三神三獣鏡

副葬品として鏡・鉄製品・砥石が出土。被葬者の頭部右横付近には『舶載鏡』と思われる割れた鏡がボロボロの状態です。この鏡の種類は『画文帯神獣鏡』と思われる。

直径は 10.4cm で『ホケノ山古墳』など、ほかの遺跡の出土例と比べても、かなり小型。また『画文帯神獣鏡』は権現山 51 号墳で出土

した三角縁神獸鏡よりも、古い時代の鏡と言われている。

鉄製品は棺内の被葬者左足付近に長さ 17cm のものが 1 点見つかっている。この鉄製品はヤリガンナかモリ・ヤスの可能性。次に砥石があります。棺外の頭上部に置かれてあった。



画文帯神獸鏡



砥石



鉄製品

副葬品 出土状況

● 上部構造

石槨の上部構造を推察すると、今回の調査で天井石にできる大きさの石が 1 枚も出てきていないこともあり、木蓋であったと考えられている。また、その上部には小さな円礫を敷いてつくった『隆起小円礫堆』か°あったものと思われる。コンテナ約 20 箱分という大量の小円礫が出ているからで、中には朱が付いている円礫が見つかっており、上面を粘っていたと考えられる。

また、この土中から讃岐系の土器片 1 点と在地の土器片 2 点が出土。播磨地方の特徴ですが、葬送儀礼に讃岐地方から運ばれてきた土器が使われていたことは注目に値します。

綾部山 39 号墳(墳墓)は 3 世紀、『邪馬台国の卑弥呼』の時代のもの。この遺跡の被葬者は、西隣の吉備地方と連合するのではなく、海を隔てた、阿讃地方と連合していたと考えられる。〔阿讃播連合〕。

この時代吉備では、特殊器台・特殊壺という土器をお供えしてお祭りをしています。播磨の墳丘墓からは吉備の土器が出土しないことや阿波・讃岐で考え出され発達していったものと考えられる『石囲い』を採用している。本墳から讃岐の土で作られた土器が出土し、これは葬式に讃岐からはるばる海を渡って土器を持ってお参りに来たと考えられること。

また、この遺跡は限りなく、弥生時代の墳丘墓の作り方によって造られています。ホケノ山古墳の影響を受けて造られたのか！それとも逆に影響を与えた墳丘墓か！つまり言い換えると限りなく弥生の

要素を備える古墳か！それとも、弥生時代最後の墳丘墓か！時代の境目に位置するとても貴重な数少ない遺跡である。

この項 綾部山 39 号墳現地説明会資料 2003 年 3 月 22 日 御津町教育委員会を整理

<http://www.gensetsu.com/03ayabe39/doc1.htm>



綾部山 39 号墳現地 2010.3.14.

3. 古代秦氏の播磨進出地 港町「坂越」walk 赤穂市坂越

西播磨名産「牡蠣」& 古い港の町並みが残る坂越



砂越湾 湾内に幾つもの牡蠣養殖の筏が見える



坂越湾に浮かぶ鍋島と牡蠣の養殖筏



坂越湾の中央 坂越の街



伝秦河勝の墓所がある生島



坂越湾の中央 背後の山が迫る港の直ぐ後にそっくりそのまま残る江戸期の坂越の町並み 2010. 3. 14.

江戸時代にタイムスリップ この地の塩そして各地の産物を運ぶ廻船業で栄えた様子がそのまま残る

昼を過ぎ 13 時過ぎであるが、坂越で水揚げされた牡蠣が食べたくて昼食をとらずに綾部山から砂越に向かう。

綾部山からそのまま 国道 250 号を海岸沿いに西へたどって行けばそのまま 海岸の景色を眺めながら 相生に出られるのですが、道が狭くまた室津に向かう行楽の車で一杯なので一旦北の国道 2 号線まで戻り、国道 2 号線を西へ相生へ。そこから赤穂への案内標識で 2 号線と分かれて 南へ相生の街中を抜けて再度 250 号線に入って相生と赤穂の境の高取峠を山越えをして、千種川の土手に出るとまもなく砂越。綾部山から約 1 時間弱。

ここは両側を山に挟まれた狭い川筋で、地図によると坂越の街や港は川の南側川に平行する山並みを越えた向こう側。



ここからは砂越湾も町並みも見えず、坂越の街の情報がよくわからず、とりあえず、川の北側の山裾にある JR 砂越駅へ行って坂越の情報をもらう。

日曜日の午後 人影のない静かな駅であるが、駅前に坂越の散策マップがあり、駅員の女性から、坂越の町並み案内地図をもらい、「牡蠣」は海岸沿いにある海の駅へ行けば、そこで牡蠣を焼いて食べられると。

まず、「牡蠣」を食べて それから 江戸期の町並みを歩いて、本で調べた秦河勝を祭る大避神社へ。その後 坂越湾ぞいにあるという かつての金鉱山跡を訪ねようと。



JR 坂越駅と駅前にあった坂越の町並み散策マップ

JR 坂越駅から 元来た道 坂越橋を渡って、そのまま山に空けられたトンネルを抜けて一気に海岸へ向かう。

(直ぐ横に 山と山の間に伸びる町並みを抜けて 海岸に出る旧道があり、歩くのにはこちらがベター)

トンネルを抜けるとぱっと 直ぐ前に海が広がっている。 山に周りを囲まれた穏やかな天然の良港 坂越湾である。



山の間を抜ける坂越の旧道



坂越橋



坂越橋をまっすぐトンネルで街に出る

千種川にかかる坂越橋を渡って まっすぐトンネルをつき抜け目と砂越湾 坂越の港街へでる



トンネルを抜けるとぱっと坂越湾が眼一杯に広がる 2010. 3. 14.



家島群島

牡蠣の養殖筏

小豆島

坂越湾内の東側 牡蠣の水揚げ港 砂越漁港からは沖に浮かぶ家島群島や小豆島が霞んで見える 2010. 3. 14.



トンネルを抜けて 湾の左手へ砂越湾の真ん中にある生島を眺めながら、湾の東側にある海の駅へ。直ぐ道の山手側に古い家並みが並ぶ砂越の街をそのまま通り抜け、湾内に浮かぶ生島を眺めながら山と海のための曲がりくねった狭い道を進む。



坂越港に面した古い坂越の町並み 2010. 3. 14.

少し行くと山手に赤穂化成の工場 海側に牡蠣の処理場のある小さな坂越漁港で、道脇には「生牡蠣」の旗がひらめいている。その一角に海の駅があり、岸壁の駐車場に多くの車が駐車し、ひっきりなしに車の出入りがある。港には数多くの牡蠣の運搬船が泊まり、船から処理場に伸びた幾本ものベルトコンベアに水揚げされた牡蠣が運び入れられている。昔にタイムスリップしたような静かな坂越湾内にここだけが 活気にあふれている。

生牡蠣を食べて 腹ごしらえして
そして坂越の散策へ



坂越漁港 左奥が牡蠣の処理場



坂越漁港 奥が漁協直営の海の駅 生牡蠣が食べられる

参 考 西播磨 坂越と秦氏が浮かび上がった古代西播磨の鉱物資源

ふとした疑問 西播磨の鉱物資源が古代播磨の勢力の源泉かもしれない・・・



西播磨の海岸沿いの山から見る瀬戸内海 左: 綾部山より播磨灘に浮かぶ家島 右: 坂越湾の生島

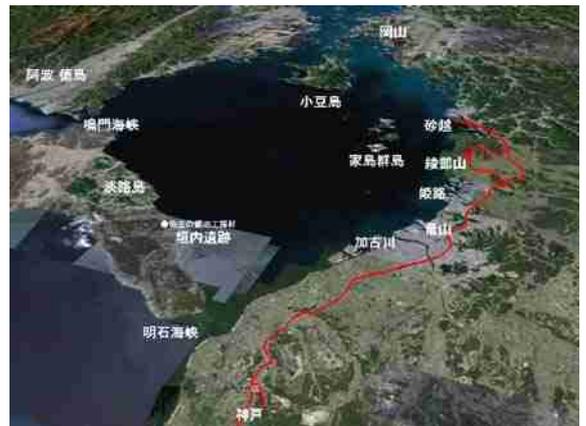


梅満開の綾部山より播磨平野遠望 左: 北東側 竜野から姫路 右: 南東側 播磨灘

古代 大和王権の成立に連合国として大きな働きをしたという播磨国。また 境を接する吉備よりも瀬戸内海をはさむ阿波・讃岐とも密接な関係を築いていたという。播磨が主要連合国となりえた源泉は何なんだろうか・・・。

播磨が瀬戸内海交通路の要衝の地であり、この播磨から吉備にかけての海岸沿いで塩生産が重要な特産品であったが、それだけで、西播磨が大和王権の連合国に加わる勢力になりうるだろうか・・・

播磨の中心を流れ下る揖保川の河口域に位置し、大和王権の成立期3世紀後半大和と阿波・播磨の結びつきを示す綾部山39号墳がある綾部山古墳群やそのすぐ北「卑弥呼の鏡」と呼ばれる「三角縁神獣鏡」が出土した権現山51号分などが見つかる権現山古墳群など古代播磨の中心地 竜野市旧御津町の海岸部。



そして この海岸部と狭い奥へ入り組んだ相生湾を隔てて西側にある千種川の河口の静かな港町「坂越」が古代の渡来氏族「秦氏」の有力な進出地のひとつで、聖徳太子に重用された秦河勝の墓がこの地にあり（伝承地）、しかもこの地周辺の山から金鉱山が発見されたという。

坂越の港の背後を「コ」の字に取り囲む山々の端のところ最近まで操業していた「金」の「大泊鉱山」跡があり、また、この坂越から北への山中には 上郡町の旭日金山など鉱物資源帯であり、また、綾部山の北には金湧山の地名が残っている。この周辺に古くから鉱山資源があった可能性がある。大泊鉱山は昭和に発見され、操業は10年ほどで 古代とは直接の結びつきはない。）

秦氏といえば 渡来の「ものづくり」氏族として 各地に進出し殖産開拓に大きな功績があった氏族。

古代 西播磨にある「金・鉄」等の鉱物資源開発が 塩と並ぶ重要特産品として 西播磨に大和と結ぶ有力豪族が生まれ基となったのか・・・

「 古代 物づくりの渡来氏族の秦氏が西播磨にも拠点を持ったのも、
確心はないが、この地域で産する鉱物資源開発が目的だったかも・・・。

西播磨の海岸線に数多く残る古墳時代の遺跡はこの地の鉱物資源とかかわっていた鉄の道の痕跡かも知れぬ」
との思いが ふっと頭に浮かぶ

古代大和王権の成立期に播磨の国が有力な連合国のひとつとなったのはなぜか？ しかも 吉備に近い西播磨の海岸沿いの海岸がその中心に成りえたのか？ もっと立地条件のよい場所が数多くあるのに・・・ 不思議である。



坂越の港を取り囲む山 その南西側先端部に金鉦山があったという

● 日本書紀に書かれた秦氏と「鉄」 & 物づくりの渡来氏族の記事

百済または新羅から来といわれ6世紀頃に活躍した有力渡来氏族。

当初その根拠地は葛城にあり、その後京都太秦に進出し、広隆寺を興し、淀川・桂川・鴨川改修をはじめ、兵庫川西多田金山開発・酒や能楽・機織の祖等々地方各地に広がり各地の殖産開拓を成し遂げた渡来氏族で、京都 松尾寺や大酒（避）神社をその氏神とする。もっとも有名な人物が聖徳太子に使えた秦河勝で広隆寺を興し、平安京造営の基を造ったとも言われる。

また、九州 豊前国 宇佐八幡宮もまた秦氏と関係深い神社である。

『日本書紀』に記述された秦氏の祖といわれる弓月君の朝鮮半島からの渡来。

日本書紀に次のような記述は次のような記述がある。

応神天皇十四年弓月君が百済から来て、「私の国の百二十県の人民が帰化を求めています。しかし新羅人が拒んでいるので、みな加羅国に留まっています。」と天皇に奏上した。

天皇は葛城襲津彦（かつらぎのそつひこ）を遣わして、加羅国の弓月の民を召されたが、三年を経ても襲津彦は帰らなかった。

応神天皇十六年、天皇は平群木菟宿禰と戸田宿禰に精兵を授けて、「襲津彦が帰らないのは、きっと新羅が邪魔をしているからだ。お前達は速やかに赴いて新羅を撃ちその道を開け。」

と命じ、加羅に遣わした。木菟宿禰らは精兵を進めて新羅の国境に臨んだ。新羅王は恐れて、その罪に服した。二人は弓月の民を率いて襲津彦と共に帰ってきた

この葛城襲津彦が連れ帰った渡来人の中に韓鍛冶が数多く含まれていて、葛城で鍛冶工房を興したといわれている。

参照 和鉄の道 金剛・葛城 山麓 葛城氏の鍛冶工房「忍海」

渡来人が住み鉄鍛冶の技術を伝えた古代「忍海」 <http://buffalonas.com/mutsu/www/dock/iron/5iron05.pdf>

九州北部 豊前には「秦王国」があったといわれる秦氏のもうひとつの根拠地で 宇佐八幡神社の八幡神を一番最初に祀った辛嶋氏は「秦氏」といわれ、鍛冶神の伝承が残る。そして、この豊前英彦山の山麓は古代からの銅山であり、近畿の多田銅山（金山）にも秦氏の足跡が色濃く残る。また 炭焼長者の伝承の地でもある。

秦氏というと養蚕・機織や酒醸造技術と広隆寺造営と能楽の祖という側面しか知りませんでした。銅・鉄など金属の鍛冶技術にも深くかかわっていた。

古代 鉦山開発は国の大きな力。奥播磨は古代から有数の「鉄」の産地である。

そこから流れ下る千種・揖保川の河口にこの地の有力豪族がその中心地を形成しているとのみかたもできるが・・・。

あまり意識していなかったのですが、この西播磨の海岸部に大きな勢力を持った豪族も 阿波・徳島でも見えてきたごとく、その勢力の源に鉦物資源開発があったのか・・・と。

ふっとそんなことを考えて 「秦氏」の足跡がある坂越 そしてまた 阿波・讃岐との連合を色濃く残す卑弥呼の時代の綾部山 39 号墳もしっかり見たいと出かけました。

3.1. 沖で養殖される牡蠣の加工でにぎわう坂越漁港 2010. 3. 4.

坂越湾の入り口には牡蠣養殖筏が並んでいるの見える



牡蠣の水揚げでにぎわう 坂越漁港 2010. 3. 14.

沖の養殖筏から水揚げされる牡蠣がひっきりなしに ベルトコンベヤーに乗って隣接する加工場へ運ばれ、選別加工されて 各地へ出荷されてゆく。牡蠣殻はまた 専用船にベルトコンベヤーで運ばれ処分場へ運ばれるすべて 自動であるが、どうも 剥き身だけは 人の手のようだ。



牡蠣の水揚げでにぎわう 坂越漁港
沖の養殖筏から水揚げされる牡蠣がひっきりなしに
ベルトコンベヤーに乗って隣接する加工場へ運びこまれる。
2010. 3. 14.



30分ほど待つ 海の駅で焼き牡蠣にして味わう そして 殻つきの牡蠣を土産にも

3.2. 江戸期の港町がそっくり残る 砂越の町並み

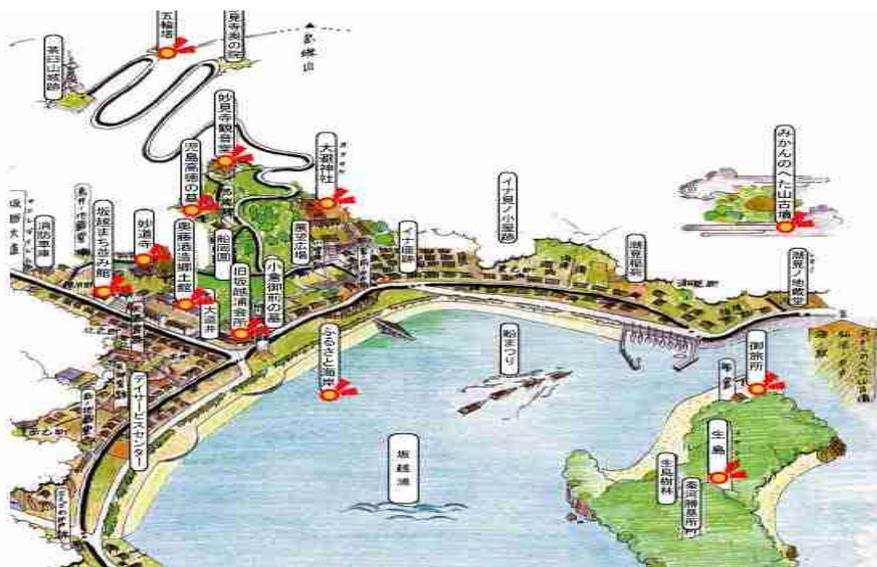


坂越湾の中央に広がる港町「坂越」の町並み 2010. 3. 14.

坂越漁港からもう一度坂越湾の中央部 坂越の町並みへ戻る。坂越湾に沿って走る道に整備された街の駐車場があり、その後ろに「逆」字に山裾にへばりついて坂越の古い町並みが広がっている。

瀬戸内海から弧状に入り組んだ湾内の中央部に生島がある天然の良港。この周辺の「塩」を中心にした赤穂藩の商港として 廻船業で江戸時代には大いに栄えたという。

また、この町並みの背後の山の山裾には 秦河勝を祭神とする大避神社があり、神社の創立時期は明らかではないが、千種川流域を開墾したとされる秦河勝が大化3年(647年)に没し、地元の民がその霊を祀ったのが始まりとされている。また、正面の坂越湾に浮く生島の頂上部には古い円墳があり、秦河勝の墓所とも伝承されている。秦氏の進出地の伝承を持つところは日本各地に広がっており、この坂越もその伝承地のひとつ。



坂越の街の背後の山裾にある秦河勝を祀る大避神社

この坂越に秦氏進出の痕跡があるのは子の西播磨の山に鉱物資源があったためではないか・・・。

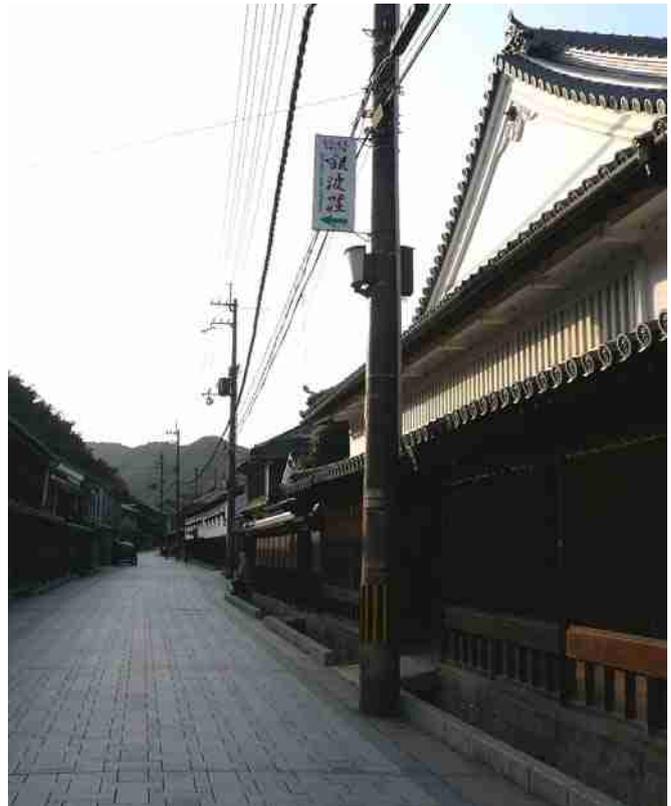
さらにそれをたどると播磨の国が初期大和王権を成立にかかわる連合国となった力の源泉もこの西播磨の鉱物資源ではないか・・・と。 その痕跡が今に残る秦河勝伝承であり、古くから鎮座する大避神社なのかもしれない。

そんなことを 頭に描きながら 今に残っている江戸期の古い坂越の町並みとその守り神 大避神社をたずねました。

● 江戸期の古い町並み 坂越



港の直ぐ後 山裾にそっくりそのまま残る江戸期の坂越の町並み
この地の塩そして各地の産物を運ぶ廻船業で栄えた様子がそのまま残る



● 秦河勝を祭る大避神社



坂越の街の背後の山裾にある大避神社 2010. 3. 14.

境内からは街の向こう坂越湾に浮かぶ祭神秦河勝の墓がある生島が見晴らせる



能・舞楽の祖といわれる秦河勝 絵馬堂には船絵馬と共に舞楽・能の祖を祭る絵馬が数多く奉納されている

坂越の町の中央にある駐車場のところからまっすぐ北へ家並みの間を山裾に向かう石畳に整備された参道と行くと石の鳥居があり、その向こう石段の上に神門がみえ、その奥の境内に秦河勝を祭る本殿がありました。立派な神社でびっくり。毎年10月に行われる大避神社の「船祭り」は江戸時代初期からの歴史を持つ祭礼で、瀬戸内海三大祭りの一つという。境内からは 坂越湾が見渡せ、街の直ぐ上に 秦河勝の墓がある生島が浮かぶ。 また、左手湾の外れの山腹には昭和の金山ではあるが、大泊鉱山跡がある。 秦氏がこの地に進出したのも、この海岸まで 吉備・播磨国境を南北に連なる山地の鉱物資源だったのだろうか・・・

今まであまり頭になかった秦氏の鍛冶技術についての足跡。 葛城氏と共に韓鍛冶の技術を継承広める一翼を秦氏も担っていたのかも知れない。その足跡が西播磨・坂越地域の鉱物資源開発に残っているのかもしれない。播磨というと奥播磨 粟粟・千種の「鉄」ばかりに頭がいましたが、播磨海岸沿いにある古代初期の古墳群もまた鍛冶の痕跡であるのかも知れない。絵馬堂には船絵馬と共に舞楽・能の祖を祀る絵馬が数多く奉納され、秦氏が数多くの渡来人を引き連れてやってきて、諸国で数多くの技術・芸能を伝えた痕跡と思われる。 本当に近くに居ながら 知らなかった砂越の歴史です。

3.3. 坂越湾の西側へ回りこんで 金が出たという大泊鉱山跡を探す

2010. 3. 4.

昭和になって発見された金鉱山 大泊鉱山 操業は10年ほど



坂越大泊鉱山があった坂越湾の西側 左端の山の中腹が鉱山跡



坂越大泊鉱山跡への入口 現在立ち入り禁止の札がかかり中へ入れなかった (写真はインターネットより)

坂越湾の中央から 湾に沿ってぐるりと湾の西端へ回りこんでゆく。この湾の西側部分には海岸に沿って大塚製菓の建物が建ち、その背後の山の中腹が昭和の時代に金を産出した鉱山跡。

地図にもしっかり鉱山跡のしるしがあるのですが、現在既に廃鉱になっていて、鉱山跡への葉入口の道には立ち入り禁止の札と車が並べられていて中に入れなくなっていました。

非常に短期間の鉱山で しかも昭和の鉱山跡なので、古代と直接の結びつきはありませんが、この坂越湾の背後の山で「金」が出たのは事実のようだ。また、この坂越から北に続く上郡町には やはり昭和年代まで操業していた金・銀・銅を産出した旭日鉱山がある。

秦氏には今まであまり頭になかった鍛冶技術の足跡が色濃く残る。

葛城氏と共に韓鍛冶の技術を継承広める一翼を秦氏も担っていた。

その足跡が西播磨・坂越地域の鉱物資源開発に残っているのかもしれない。播磨というと奥播磨 宍粟・千種の「鉄」ばかりに頭がりましたが、播磨海岸沿いにある古代初期の古墳群もまた鍛冶の痕跡であるのかも知れない。



4. 西播磨の春を訪ねる まとめ 梅・菜の花満開の綾部山 & 江戸の町並みが残る赤穂・坂越

ふっと読んだ本に秦氏の播磨の足跡・秦氏と鉱物資源の関係を
 知って 春 満開の梅と菜の花の綾部山 そして牡蠣と江戸の町並みが残る赤穂・坂越と西播磨の春のwalk が楽しめる
 とやってきましたが、ポカポカ陽気にキラキラ輝く播磨灘と浮島の景色も加わって 楽しい播磨の春が楽しめました。本
 当に 西播磨に古代からの大きな鉱物資源地があったのかはよくわかりませんが、そんなロマンを描いてもたのしいな
 あ・・・と思っています。 神戸からの春の香り発信です。



夕日をバックに神戸への帰路で
 2010. 3. 14. By Mutsu Nakanishi



左: 綾部山より播磨灘に浮かぶ家島 右: 坂越湾 坂越漁港より見る家島群島小豆島
 西播磨の海岸よりみる春の瀬戸内海 播磨灘



西播磨 家島群島が浮かぶ播磨灘海岸 梅満開の綾部山 竜野市御津



満開の菜の花畑 綾部山の北山裾 竜野市御津町黒津 2010. 3. 14.



古代には 物づくりの渡来氏族 秦氏の進出地 江戸期に繁栄した赤穂藩の商港 坂越の町並み 2010. 3. 14.

2. 写真アルバム 京都御所と植物園に満開の桜を訪ねる 2010. 4. 1.



京都 賀茂川土手の桜 植物園付近より 2010. 4. 1.

● 京都御所の桜 ● 府立植物園の桜 ● 久しぶりに見た重文近代建築 京都府庁 & レンガのアグネス教会

関西では 開花は早かったものの 3月下旬 思いがけない寒波の襲来で 桜の花が咲き揃わない。例年の順序での満開にならない。神戸でも 桜の名所 王子動物園が八部咲きだというのに ほかでは まだちらほら。

今年は用もあるので、久しぶりに京都の桜を見に行こうと決めていたのですが、東山界限はまだちらほら咲きという。

そんなときに 京都の知人から「今 御所や植物園の桜が満開になりつつある」の報。

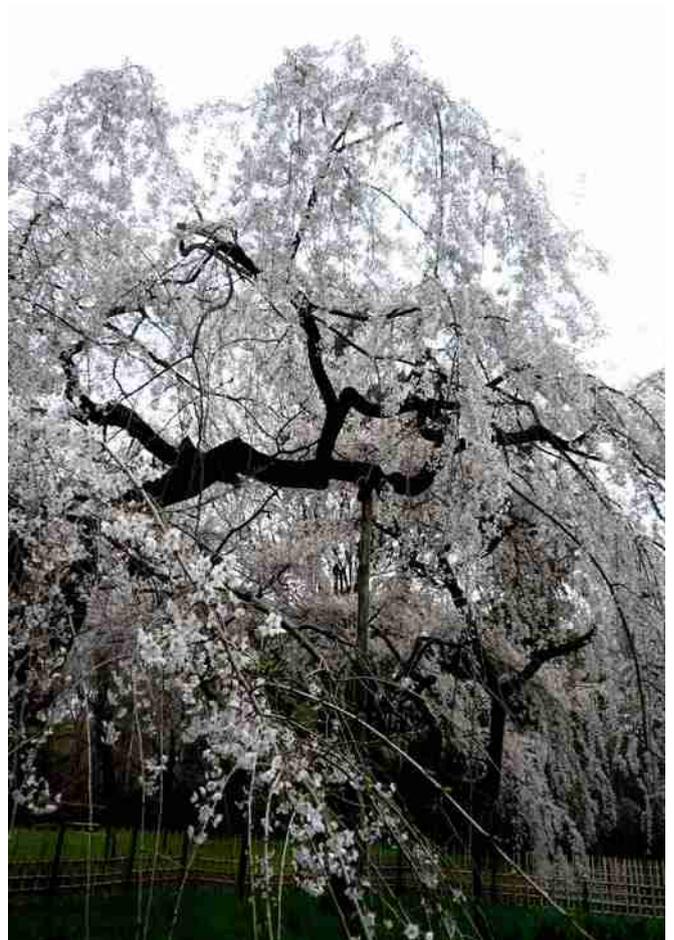
4月1日 曇り空に霧雨がぱらつく木曜日 半信半疑ながら 家内と二人で京都に出かけました。曇り空に時折 雨がちらつく曇天でしたが、知人の情報どおり 満開の桜。

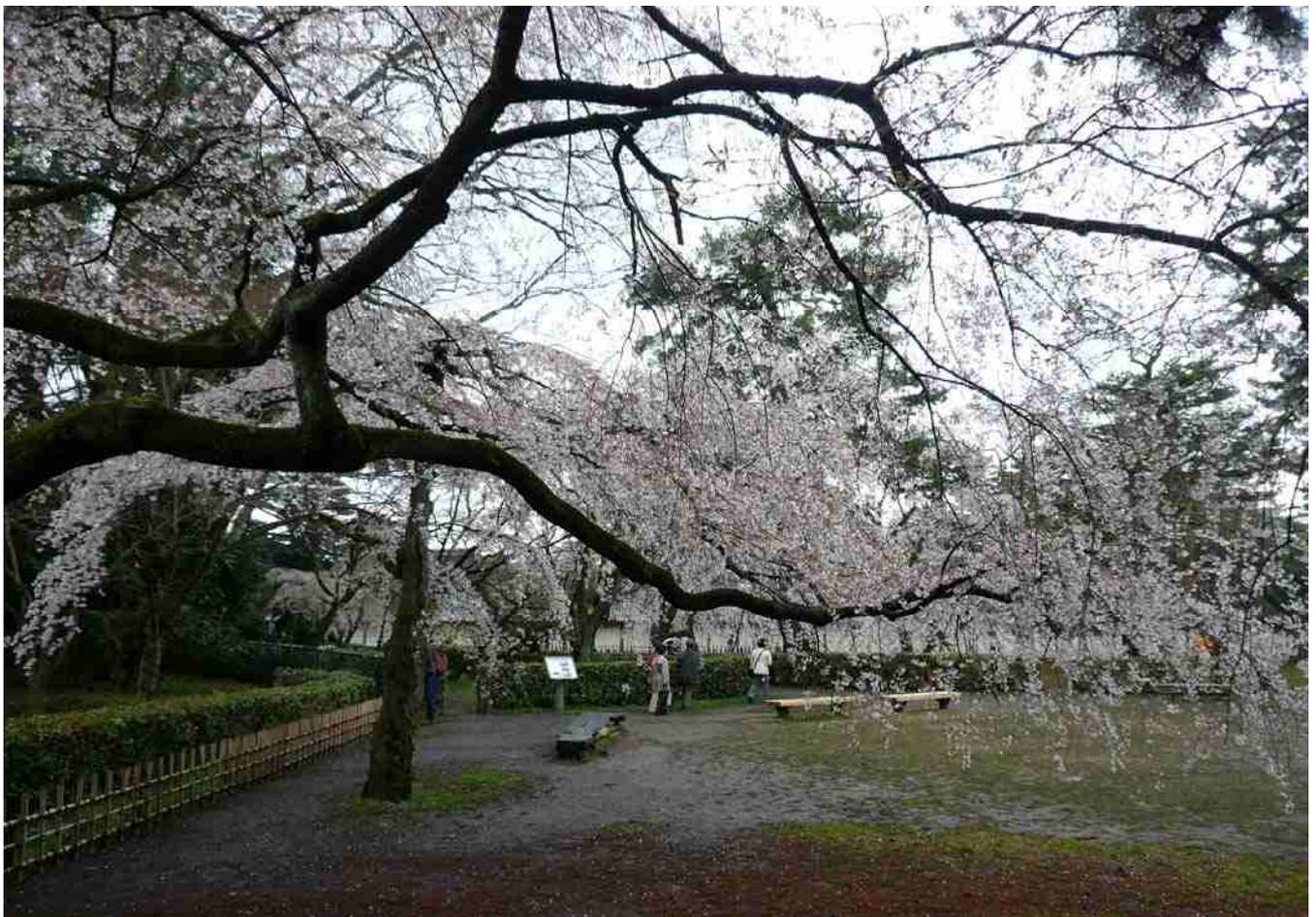
人出も少なくゆっくりと満開の桜を楽しみました。京都御所は桜の名所なのですが、私はトンと桜の印象が薄かったのですが、数多く枝垂れがあるのでびっくり。また、植物園も満開でラッキー。いつものとおり 出町で「豆大福」と「鯖ずし」を土産に満足の桜見物で帰ってきました。

御所の西にある登録有形文化財の建造物 レンガの教会 聖アグネス教会や御池通にある重要文化財の近代建造物 京都府庁の建物にも久しぶりに出会えましたので、その写真もアルバムに。



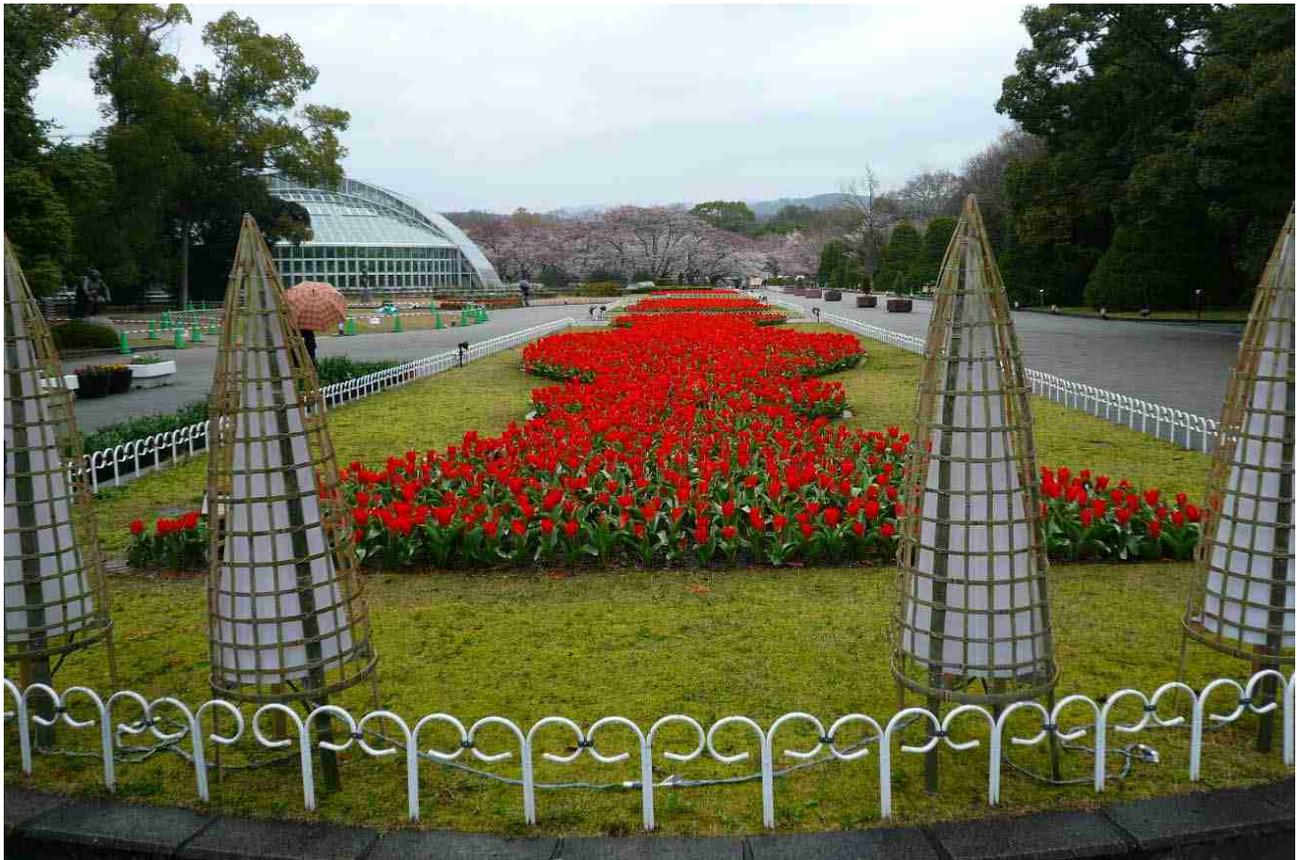
● 京都御所の桜 2010. 4. 1.







● 府立植物園の桜 2010. 4. 1.









● 久しぶりに見た重文近代建築 京都府庁 & レンガのアグネス教会



重要文化財 京都府庁



御所の西側にある登録有形文化財 聖アグネス教会と平安女学院 2010. 4. 1.

3. 写真アルバム 春の妖精 カタクリの花

兵庫県 佐用町 2010. 4. 8.



春を告げる妖精「カタクリの花」 地球米:可期の生き残り
日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を震わせる姿に
いつも 心をゆさぶられます

昨夏の集中豪雨で大きな被害があった兵庫県播磨 佐用町

毎年訪ねるカタクリの群生地の被害も心配していましたが、「可憐な花を咲かしている」と教えてもらって

4月8日 もう盛りの時節は過ぎていましたが、山の斜面で風に身を震わせる愛らしいカタクリの花に出会えました



カタクリの群生地のある佐用町 旧南光町東徳久・旧三日月町弦谷地区

【参考】 「春風にそよぐ」かたくりの花」 兵庫県三日月町弦谷 自生地で」 2004. 3. 28.

<http://buffalonas.com/mutsu/www/dock/walk/2walk03.pdf>



千種川が山合いを流れ下る佐用町旧南光町下野・旧三日月町東徳久殿崎 2010.4.8.



もう盛りは過ぎていましたが 愛らしいカタクリの花に出会えました 2010.4.8.

山腹の北斜面に すっと立ち上がり、まだ春浅い冷たい風に身を震わせて立ち向うピンクの花 カタクリ
この可憐な姿に魅せられて 何度も通った佐用町のカタクリである。

昨年の集中豪雨で多くの犠牲者と被害を出した佐用町。

千種川本流が流れ下り、カタクリの群生地のある旧三日月町弦谷・旧南光町東徳久地区にも水が上り、被災した地区で、一日も早い復興を願いつつも、よう足を踏み入れられなかった所である。

インターネットを調べても「佐用町のカタクリ」の記事がなく、「今年は佐用のカタクリを見に行くのはやめ」と思っていたが、「佐用町で桜祭り」が開催されるとの記事を見つけ、「やっぱりどうなっているか 『カタクリの里』を訪ねよう」と時期的にはもう盛りを過ぎていましたが、カタクリの花に出会いに行ってきました。

この地区の西側下流 千種川本流が西から流れてくる佐用川と合流する佐用町の市街地周辺ではまだその災害の爪あとが残っていると聞きます。この地区の川沿いの街道筋や田畑にその痕跡はほとんど見つかりませんが、川沿いの木々の高い枝に絡みつ়青いビニール屑などにその災害のすごさが想像されました。でも、いつもの明るい谷に戻っているのにほっとしました。

そして もう盛りは過ぎていましたが、山腹の斜面のあちこちで、直立して風に立ち向かう可憐な姿に出会えました。

自分がいつも勇気づけられたように、この可憐な姿に地元の人たちも元気付けられたに違いない。

本当に 無事でよかった。

地元の人達から、「まだ、被災者が多く残り、今年は観光 PR を自粛した」と聞きましたが、

一日も早く、四季折々の花が咲く日本の原風景のような町並みと共に、佐用町全体が元気をとりもとされることを願っています。



写真アルバム 【 春の妖精 カタクリの花 兵庫県 佐用町 2010.4.8. 】



桜が山を駆け上がってゆく播州路 国道29号で 2010.4.8.

十種川が流れる佐用町 下野・東徳久
この山部斜面に片栗の群生地がある

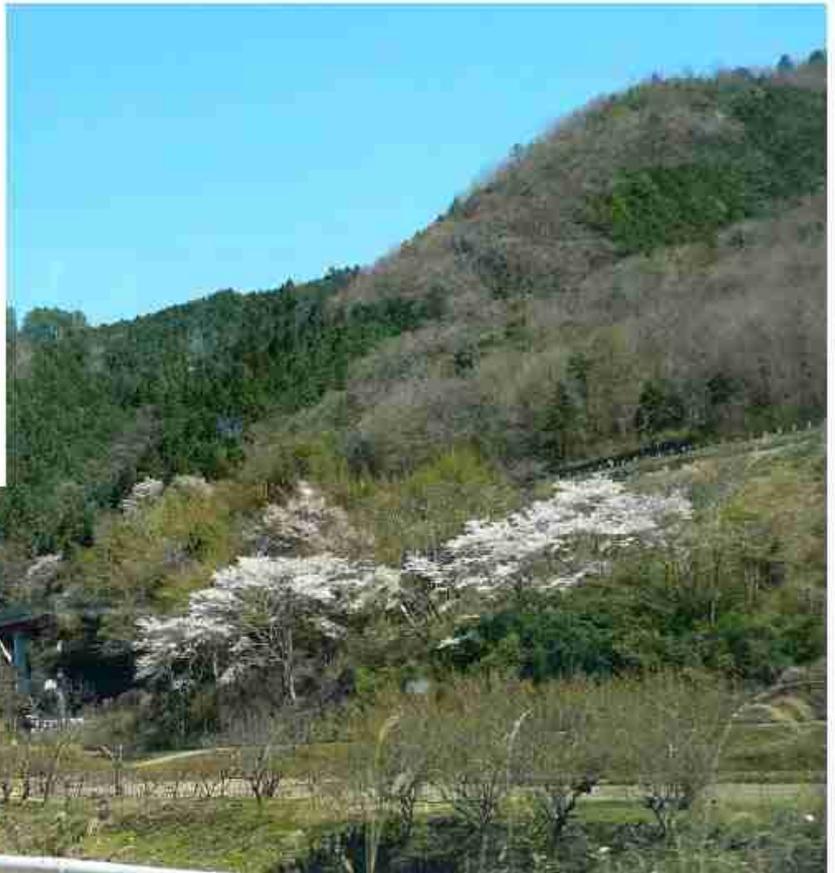


片栗の群生地を撮影した佐用町
「カタクリ」の群生地がどこに咲いているか、心当たりがある方は、
山の斜面に咲くカタクリの群生地を、撮影された方、お気軽に
お問い合わせください
佐用町 下野・東徳久「カタクリの群生地」
の群生地を撮影された方、お問い合わせください
佐用町の片栗の群生地を撮影した方

作年1月3日 佐用町佐用「カタクリ」群生地



昨年3月31日 佐用町孫谷「カタクリ」群生地



古代たたらの里 千種川が流れ下る佐用町 南光・三日月地区は 四季折々の花の里 2010. 4. 8.

昨夏の集中豪雨で被災した佐用町 群落がどうなっているか 心配していた「カタクリの花」を訪ねました



可憐な「片栗の花」 佐用町三日月 殿崎カタクリの里で 2010. 4. 8

私には その可憐で きりっとした姿に 春の元気を貰う花



「片栗の花」 佐用町三日月 殿崎カタクリの里で 2010.4.8



「片栗の花」 花言葉は「初恋」・「寂しさに耐える」



三日月地区 弦谷 カタクリの群生地



南犬地区東徳久 殿崎カタクリの里

4. 【写真file】 草木萌ゆ 春の里山風景 春の里山walk

神戸北 丹生山系を越える国道428号

2010.4.19.



里山の春景色 芽吹き of 里山 山田町岩谷 2010.4.19.

北神戸 箕谷から淡河へ山越えする国道428号線 箕谷周辺

桜が散り始めると里山は芽吹きした草木の若葉が一斉に萌え、一番生命力を感じる季節。

そんな淡い若葉に包まれて ピンクのミツバツツジが満開となる。

いつも 楽しみにしている春の里山の風景

「京都に田舎あり」と言われるが、神戸にも北に六甲を越えると古くからの街道筋・歴史の道がある。

四季折々の里山風景が楽しめる道がある。神戸の市街地からまっすぐ北へ六甲の山並みを越え、さらに北へ丹生山系の山並みを越えて行く国道428号線。古くから有馬街道と呼ばれた六甲越の道である。特に六甲連山を抜けた箕谷からさらに北へ丹生山系を越えて神戸の北端淡河への道は 四季折々の景色を楽しませてくれる山岳ドライブである。かつては暴走バイクのフリーウェイであったが、今は静かで、四季折々の景色が楽しめる山岳道路である。

箕谷から北へドライブウェイを少し登りもトンネルを抜けたところ 切り立った谷にかかる橋から眺める四季折々の眺めは四季折々の景色をそのまま画面に切り取ったようで、四季折々の景色の定点にしている。

我が家からは50ccのバイクで約20分ほどで行けるので、自由にバイクを止めて 山や田園・集落をのんびりと訪ねられるので、思い立ったら、四季折々季節移り変わりを眺めに出かける。

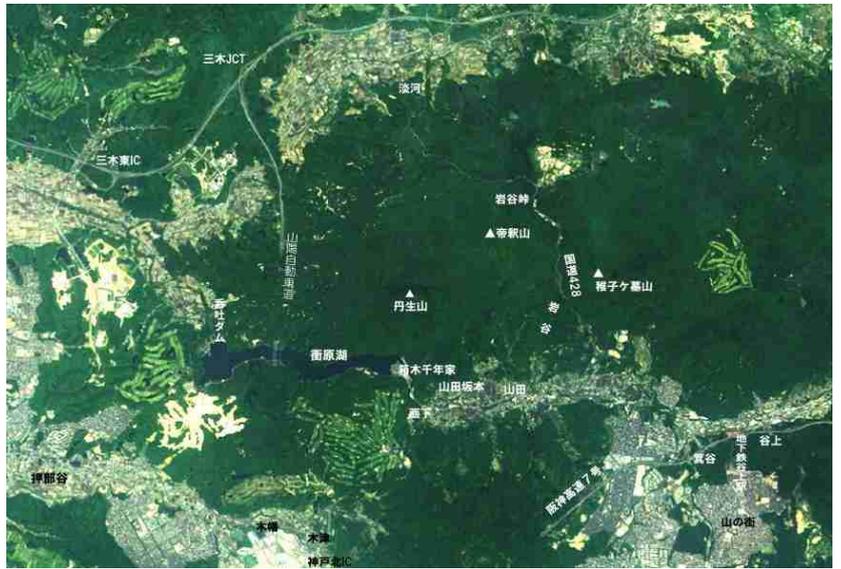


四季の素晴らしい里山を抜けてゆくドライブウェイ 428号線

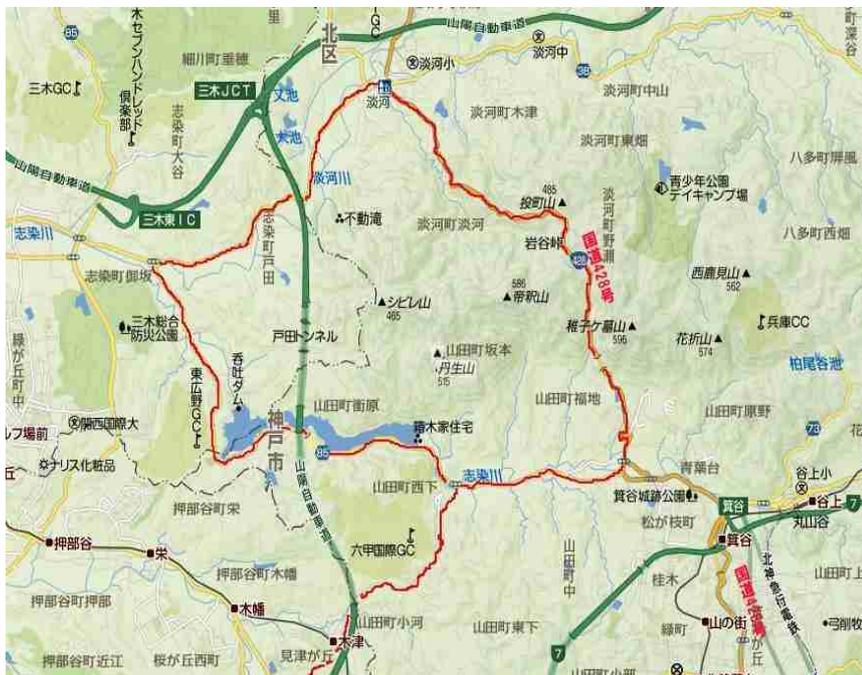
ツツジと草木萌える里山の写真を撮りに行こうと4月19日の午後 この国道 482 号線にイクを走らせ、胸一杯に春の空気を吸い込んで楽しむことができました。

また、この道は摂津・播州・丹波への分節点 古い歴史の道。また 丹生山の名が示すとおり、水銀朱など鉱物資源が採取された地でもある。たっぷりと景色を楽しみながらの一周約2時間 機会あれば 是非 お勧めのコースです。

010.4.19. Mutsu Nakanishi



北神戸 丹生山系を箕谷から淡河へ越えてゆく古道 国道428号線周辺地図 赤線はふらっとツーリングコース 2010.4.19.



春の夕 神戸市北地区 2010.4.19.



里山の春景色 今頃の『ミツバツツジ』 22時 国道428号線 西尾谷付近で 2010.4.19.



里山の春景色 春の里 北神戸 本津周辺 山田町小河の里 2010.4.19.



里山の春景色 芽吹き始める山 山田町野谷 2010.4.19.
北神戸 箕谷から淡河へ山越えする国道428号線 箕谷付近





里山の春景色 今満開の「ミツバツツジ」 北神戸 国道428号線 岩谷峠周辺で 2010.4.19.



里山の春景色 今満開の「ミツバツツジ」 北神戸 国道428号線 岩谷峠周辺で 2010.4.19.



里山の春景色 今満開の「ミツバツツジ」 北神戸 国道428号線 岩谷峠周辺で 2010.4.19.



里山の春景色 今満開の「ミツバツツジ」 北神戸 国道428号線 岩谷峠周辺で 2010.4.19.

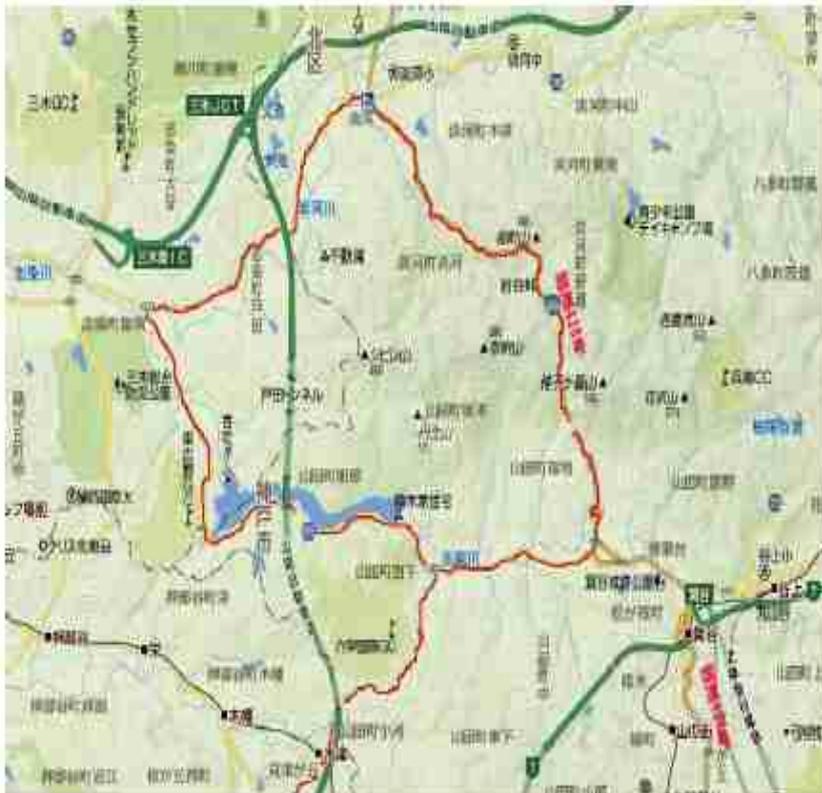




里山の春景色 芽吹き of 里山 山田町岩谷 2010.4.19.

北神戸 箕谷から淡河へ山越えする国道428号線 箕谷周辺

北神戸 丹生山系を箕谷から淡河へ越えてゆく古道 国道428号線周辺地図 赤線はふらっとツーリングコース 2010.4.19.



ふらっと 丹生山系周辺 2010.4.19.



ふらっと 丹生山系周辺 2010.4.19.



里山の春景色 今鶴岡の「ミツバツツジ」 北神戸 国道428号線 岩谷峠馬場で 2010.4.19.



里山の春景色 今鶴岡の「ミツバツツジ」 北神戸 国道428号線 岩谷峠馬場で 2010.4.19.



里山の春景色 今満開の「ミツバツツジ」 北神戸 国道428号線 岩谷峠周辺で 2010.4.19.



里山の春景色 今満開の「ミツバツツジ」 北神戸 国道428号線 岩谷峠周辺で 2010.4.19.



里山の春景色 春の里 北神戸 木津周辺 山田町小河の里 2010.4.19.



里山の春景色 芽吹き of 里山 山田町岩谷 2010.4.19.

北神戸 箕谷から淡河へ山越えする国道428号線 箕谷周辺

5. 春 石楠花と新緑の綿向山山麓 滋賀県日野町 walk

天然記念物 鎌掛谷のホンシャクナゲ・新緑の綿向き山山麓・日野祭（宵山） 2010. 5. 2.



日野町のシンボル 信仰の鈴鹿山系綿向山 日野町音羽より

綿向神社「日野祭」



天然記念物 ホンシャクナゲの群生地 日野町鎌掛谷 2010.5.2.



六甲森林植物園に咲く石楠花を見た後、日野町の背後に聳える鈴鹿山系綿向山の山麓にある天然記念物 ホンシャクナゲの群生地 滋賀県日野町の鎌掛谷をインターネットで調べると 今が満開だと知れる。

狭い谷合の崖の斜面全体が薄ピンクのホンシャクナゲで埋まる鎌掛谷の素晴らしい景色に出会いたいと5月2日 滋賀県東近江の日野町に出かけました。

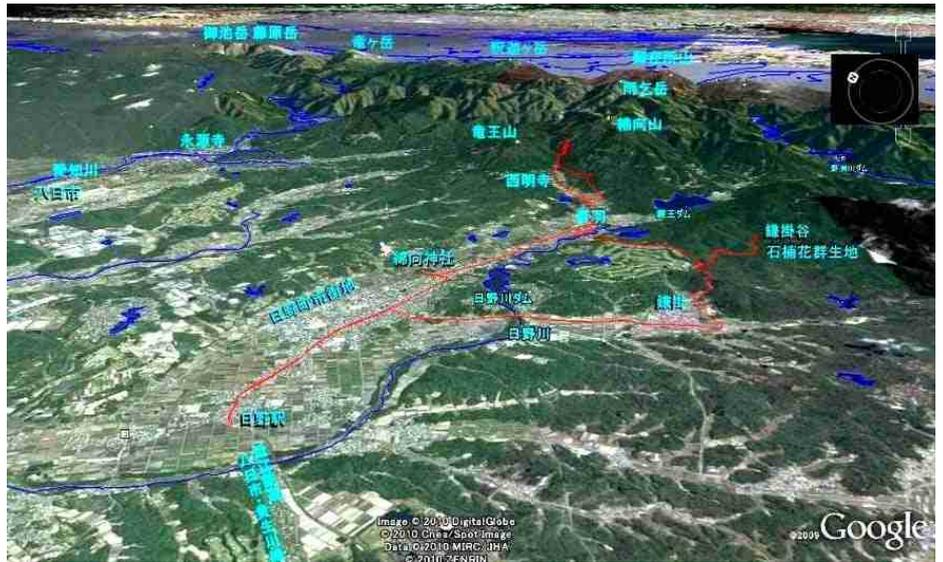
ここ数年 時期がうまく合わず谷全体を埋める石楠花に出会えていない。また、この満開の時期には 蒲生氏郷の城下町で近江日野商人のふるさと日野町の街中を本豪華な曳山が町を練るといふ「日野祭」が重なるのですが、こちらは今までに見たことがない。神戸からは 車でないと便利が悪いのですが、JR 新快速から草津線貴生川駅へ乗り継いで、そこから近江鉄道で日野駅まで、約2時間半ほどでゆける。（後でわかったのですが、日野町へは 新快速で近江八幡駅にて 直ぐ連絡がある近江バスで日野へ行くのが一番便利と聞きました。）

出かけた日は快晴の walking 日和。鎌掛谷の谷を埋める満開のホンシャクナゲに出会って、午後 頂上へはちょっと時間的に無理だったのですが、綿向山山麓の里歩きから5合目近くまで登って、夕方 日野の街に引返して、夕闇の中 辻のあちこちに引き出された曳山から祭囃子が流れる日野祭(宵山)を見学してきました。

いつもは 車で 石楠花谷へ行って そのまま日野の街中をパスして換えるのですが、今回は一日たっぷり 日野の町を楽しみまし

た。

滋賀県の東南 琵琶湖の東南部 鈴鹿山系の西端に位置する日野町。戦国時代 ここを本拠とした蒲生氏の城下とした東西に細長い町並みが続く。その後、町は衰微するが、江戸時代 この東近江から数多くの行商商人が全国に進出。日野はその中心 日野商人の町として発展し、今も古い商人の町並みが残り、その商人の町にふさわしく、町々に当時の繁栄を忍ばせる豪華な曳山が十数基も保存されていて、その祭囃子と共に毎年 5月2・3日の日野祭を彩る。



なお この地を納めた蒲生氏郷は豊臣秀吉の時代に日野から松阪・会津へ転封されて、大名となりました。



日野周辺図

車窓より見る綿向き山 右端が鎌掛谷のある猪の鼻が岳 水口周辺より

新快速と草津線を乗継いで、貴生川駅から近江鉄道に乗り換え、車窓から 形のいい綿向山の姿が大きく見えてくるとまもなく日野駅。 何度かこの電車や日野へも着ているので見慣れた景色で 10時過ぎに近江鉄道日野駅に到着する。

鎌掛谷の石楠花のシーズンなので臨時のバスが鎌掛谷まで運行されていて、10時45分のバスに乗れば 15分ほどで 町の南西側の山裾の鎌掛谷に連れて行ってくれる。

何度か来たことがあるので、戸惑いはないが、石楠花満開の日曜日なので、すごい人かと思いましたが、便利が悪いのか思ったほどでなくちょっと拍子抜け。また、日野の町もこの日の駅から細長く綿向き山の麓へ伸びていて 街の中心はずっと東側なので、祭の日だとの雰囲気も特になし。



近江鉄道 日野駅 と 駅前から東へ日野の町へ伸びる街道

午前中に石楠花を見て、夕方 日野祭の曳山を見たいが、その間の午後 どうしようか…と。

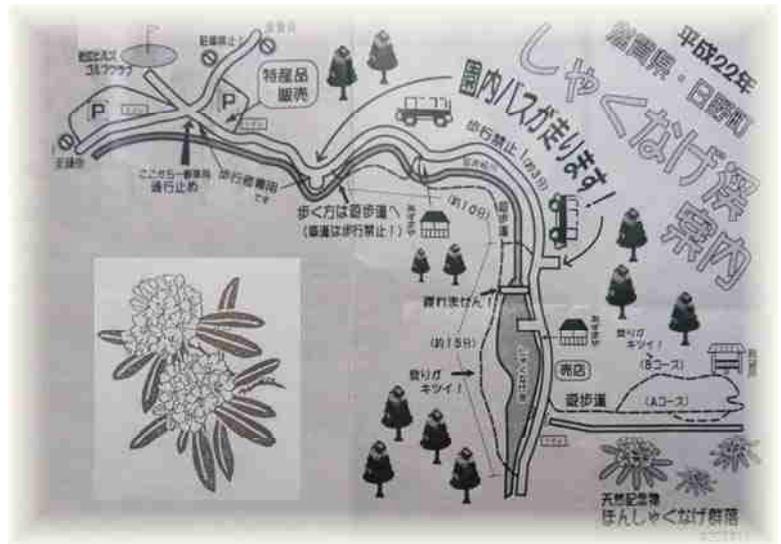
日野の町の東側に聳える鈴鹿山系の綿向山へ登るには交通事情を考えると午後からではちょっと遅いなあ…と思案しながら 駅前の案内所に入って綿向山と日野祭のパンフレッドを貰う。夕方 6時過ぎ 曳山の提灯に灯が入るまで、日野の街では特に何も行事はないと聞く。また、本数が少ないが、駅前から 綿向山登山口のある西明寺の集落までバスがある。日野祭は日暮れだし、午後時間を見ながら 旗向山の行けるところまで 登ろうと今日の予定が決まる。

1. 天然記念物 鎌掛谷のホンシャクナゲの群落を訪ねる

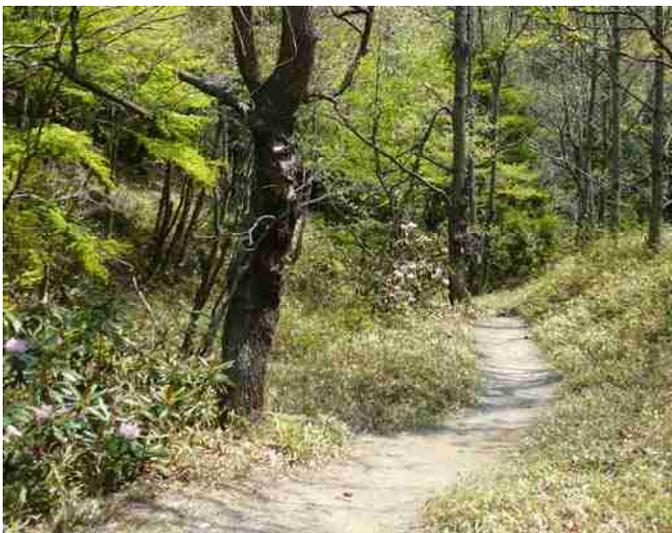
2010 .5. 2.



今年は谷全体に広がる満開のホンシャクナゲの群落が見られると胸わくわくでバスを降りる。ここから右手の谷合が鎌掛谷で 入口に大きな駐車場も整備され、川沿いの左手に林道がある。シャクナゲの時期には一般車を通行止めにして、この林道を専用バスが奥の石楠花谷入口まで走り、ここで多くの人が専用バスに乗り換えて奥の石楠花谷に向かう。また、川の右側は遊歩道が川に沿って伸び、その途中には日本石楠花の株が何箇所か整備され、まじかに石楠花の花が見られる。この鎌掛他にの石楠花 ホンシャクナゲは高山植物の系統で標高の低い鎌掛に自生するのは本当に貴重で、天然記念物に指定されている。



石楠花が天然記念物に指定されているのは、ここと群馬県草津のアズマシャクナゲ・ハクサンシャクナゲの自生地のみだそうだが、今日はもっと多い人手とと思っていましたが、それほどでなく、ゆっくりと鎌掛谷の石楠花を探索できそうだし、石楠花谷の入口まで歩いて15分ほど。遊歩道を石楠花の花を見ながら 石楠花谷の入口へ行くことにする



昔は この遊歩道沿いに西洋シャクナゲも含め、もっと多くのシャクナゲが見られたように思いますが、地元の人の話によると 今は日本シャクナゲだけになっているようです。しかし、奥の群生地のホンシャクナゲは7裂で14本の雄しべを持ち、ポピュラーな日本シャクナゲであるアズマシャクナゲは5裂10本の雄しべを持ち、少し花の形や色、葉が若干違うという。素人の見た目にはほとんど大差がない、石楠花谷の石楠

花は谷川を挟んで対岸から眺めるように道が整備されていて、花のそばに近づけないので、個々の石楠花一つ一つを覗き込める場所がほとんどないので、この遊歩道で林の中に作く石楠花に近づいて、見られるのはありがたい。



鎌掛谷の入り口から石楠花谷(シャクナゲ溪)へ続く遊歩道 川沿いの林の中 点々とシャクナゲが花を咲かしている



石楠花谷(シャクナゲ溪)へ続く遊歩道に咲くシャクナゲ 2010.5.2.

池が見えてくるとまもなく石楠花谷への入り口。
対岸に渡って、林道に合流して、池の縁に出たところが、広場になっていて、ここから東へ小さな支谷が伸びている。この谷がシャクナゲの自生地が奥にある石楠花谷。



石楠花池と石楠花谷への入り口

谷の入り口のところに「天然記念物 鎌掛谷ほんしゃくなげ群落」の石碑と案内板が立ち、奥へ谷川沿いに細い遊歩道が伸びている。

鈴鹿国定公園

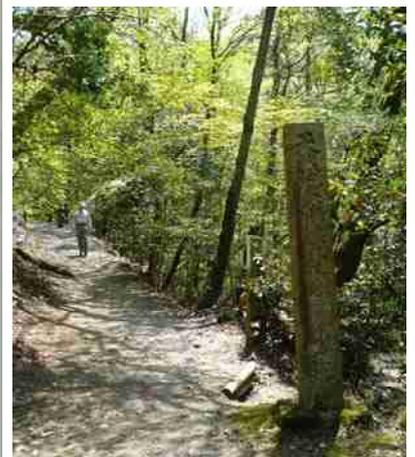
天然記念物 鎌掛谷のホンシャクナゲ群落地

鈴鹿国定公園特別区域にある「鎌掛谷のホンシャクナゲ群落地」は、日野町鎌掛の通称「石楠花谷」と呼ばれる標高250m前後の谷の山肌に面積およそ4万㎡、約2万本ものホンシャクナゲが見事に群生している区域です。

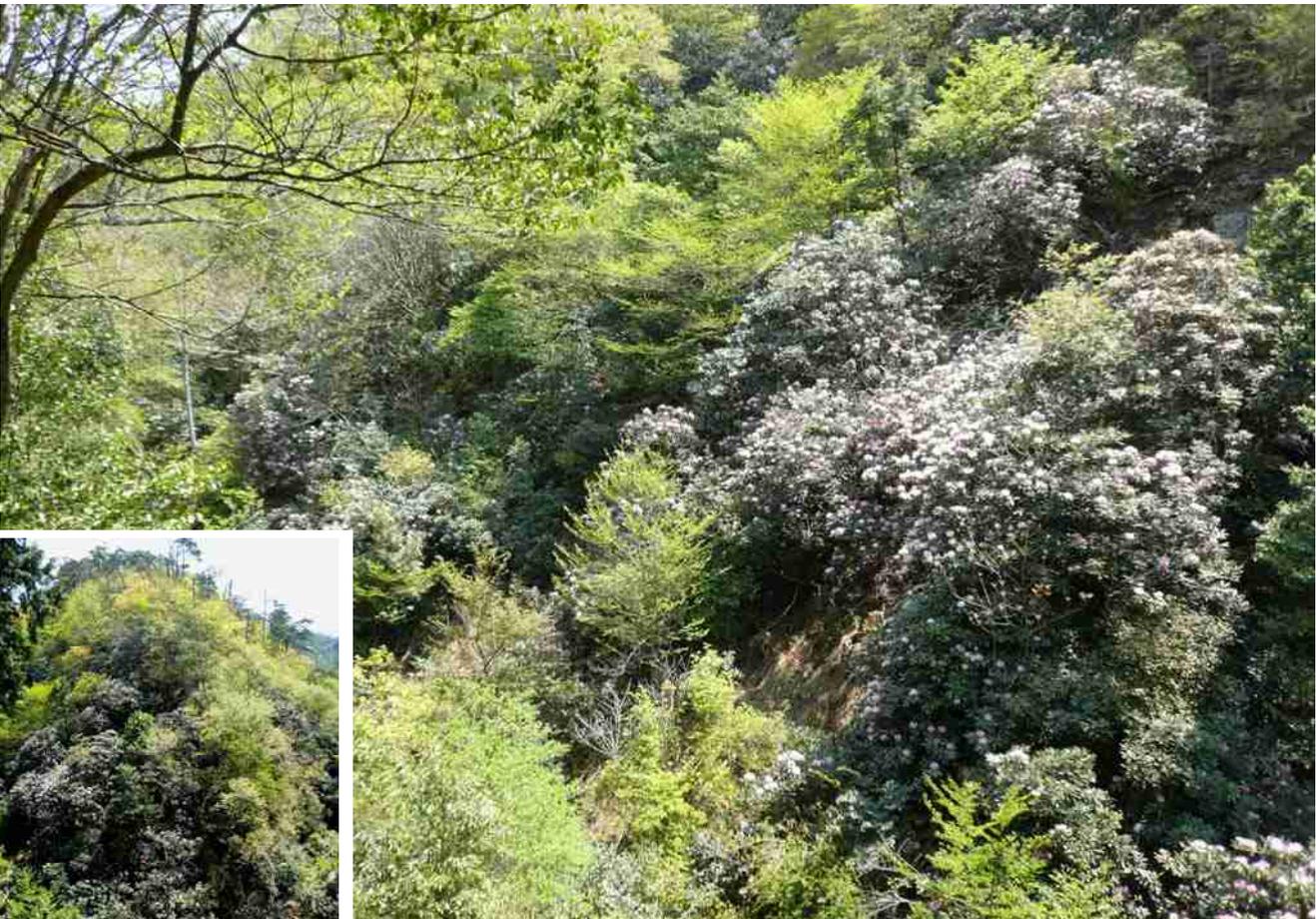
ホンシャクナゲはツツジ科の常緑生木で、県内では比良や鈴鹿の標高の高い山地に自生し、高さ4-5m、枝わがれた先端には花を取り巻くように光沢のある細長い葉が集まっています。

花をつけるのは4月下旬から5月上旬で、つぼみのときは濃い紅色で、花を開くにしたがって紅色が薄れ、淡いピンクが広がっていきます。花の直径は4-5cm、先端が7つにわかれて14本のおしべがある点がこのホンシャクナゲの特徴です。

高い山に自生するホンシャクナゲが、石楠花谷のような低い山に群生するのは非常にめずらしく、昭和6年に国の天然記念物に指定されました。シャクナゲの群落で天然記念物に指定されているのは、群馬県草津町のアズマシャクナゲ・ハクサンシャクナゲの群落と、この鎌掛の2箇所だけです。



谷の入り口を入ると 狭い V 字の谷の北側崖の腹に細い遊歩道が整備されて 緑に包まれた谷筋が眺められ、まもなく谷川対岸の崖いっぱい石楠花が点々と花をつけているのが見える。崖の上まで石楠花の花が登っている。程なく対岸の崖の山腹の頂上近くまで山腹いっぱいの石楠花が見られる展望台につく。これだけ 花が重なって見られると「石楠花はひとつひとつ ゆっくり眺めるのがいい」とばかり言ってもらえない。緑に包まれた自生地 すばらしい眺めである。街で育てられた大輪の豪華さはないが 一つ一つが小ぶりで 清楚な花を咲かせている。ラッキーにも本当に一番いいときにやってきた。やっと満開の鎌掛の石楠花が見られた。

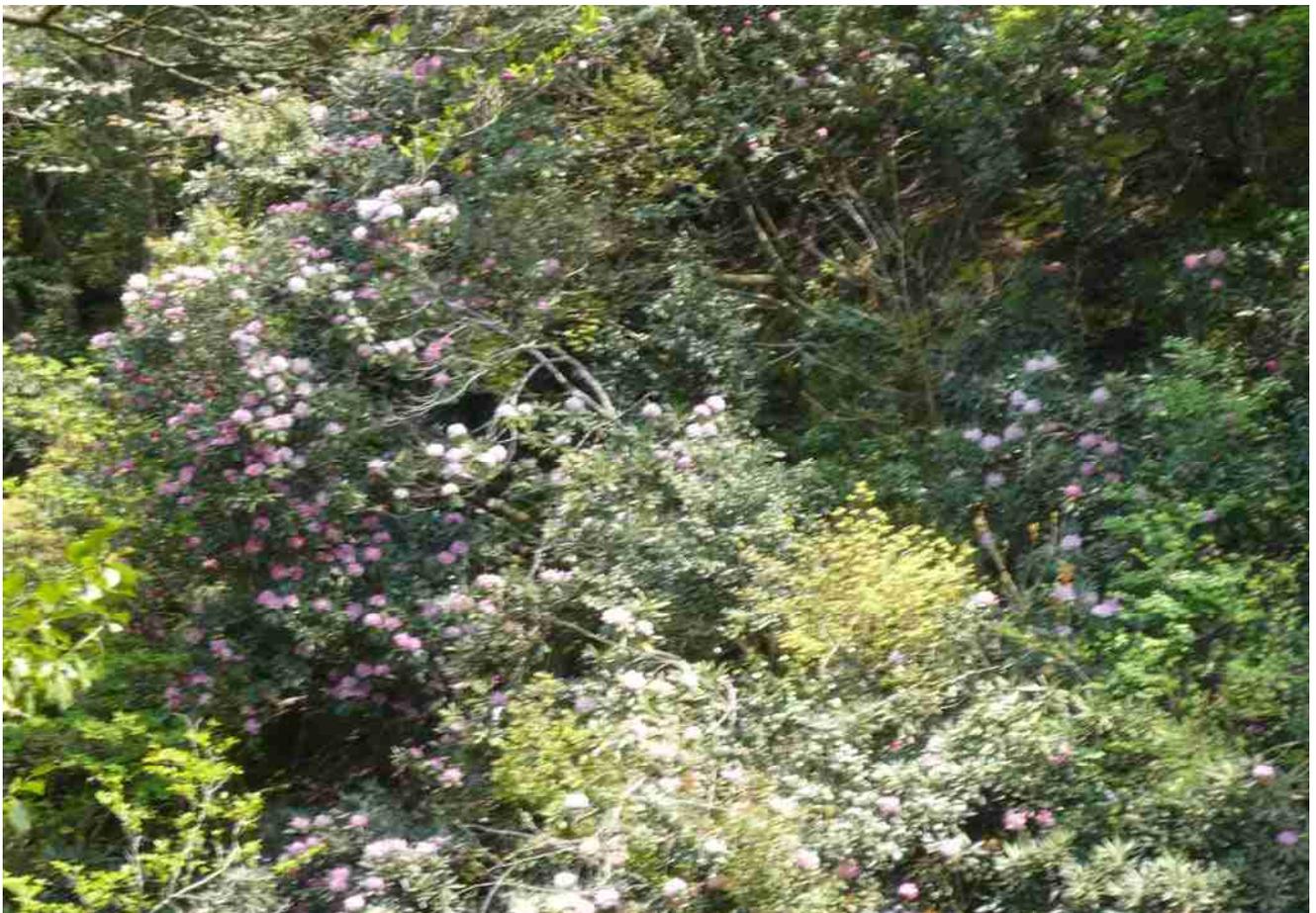


鎌掛谷のホンシャクナゲ (1) 2010.5.2.

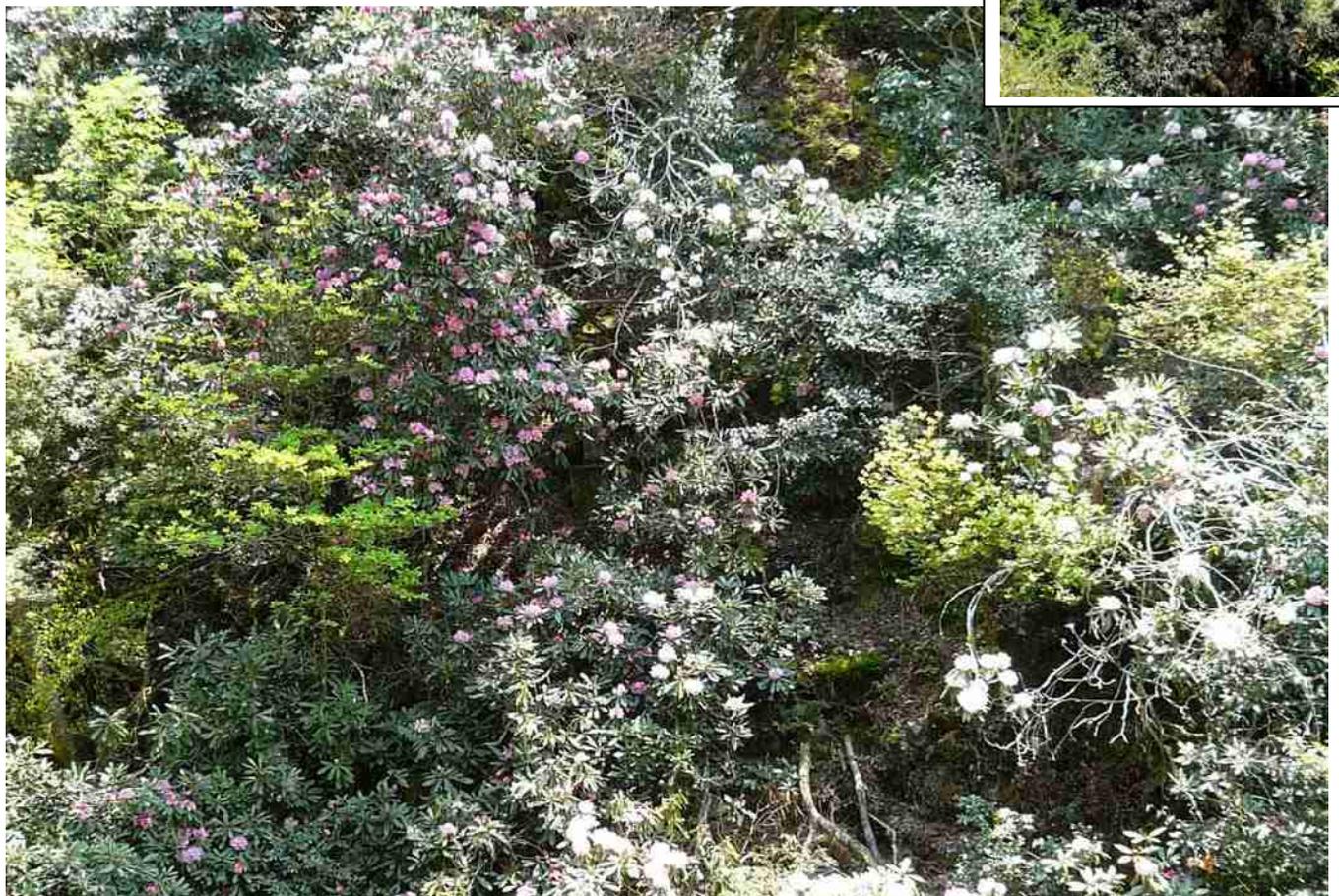
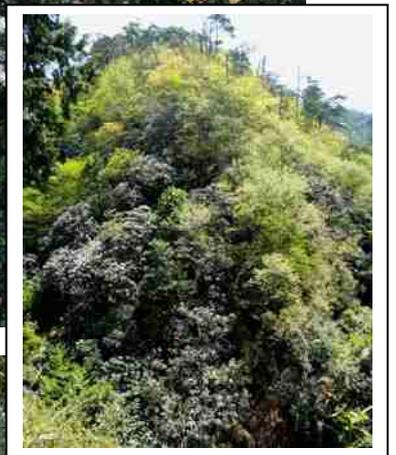
対岸の崖の頂上近くまで石楠花が登って 崖前面に咲いている



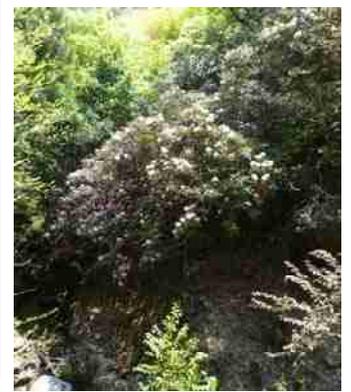
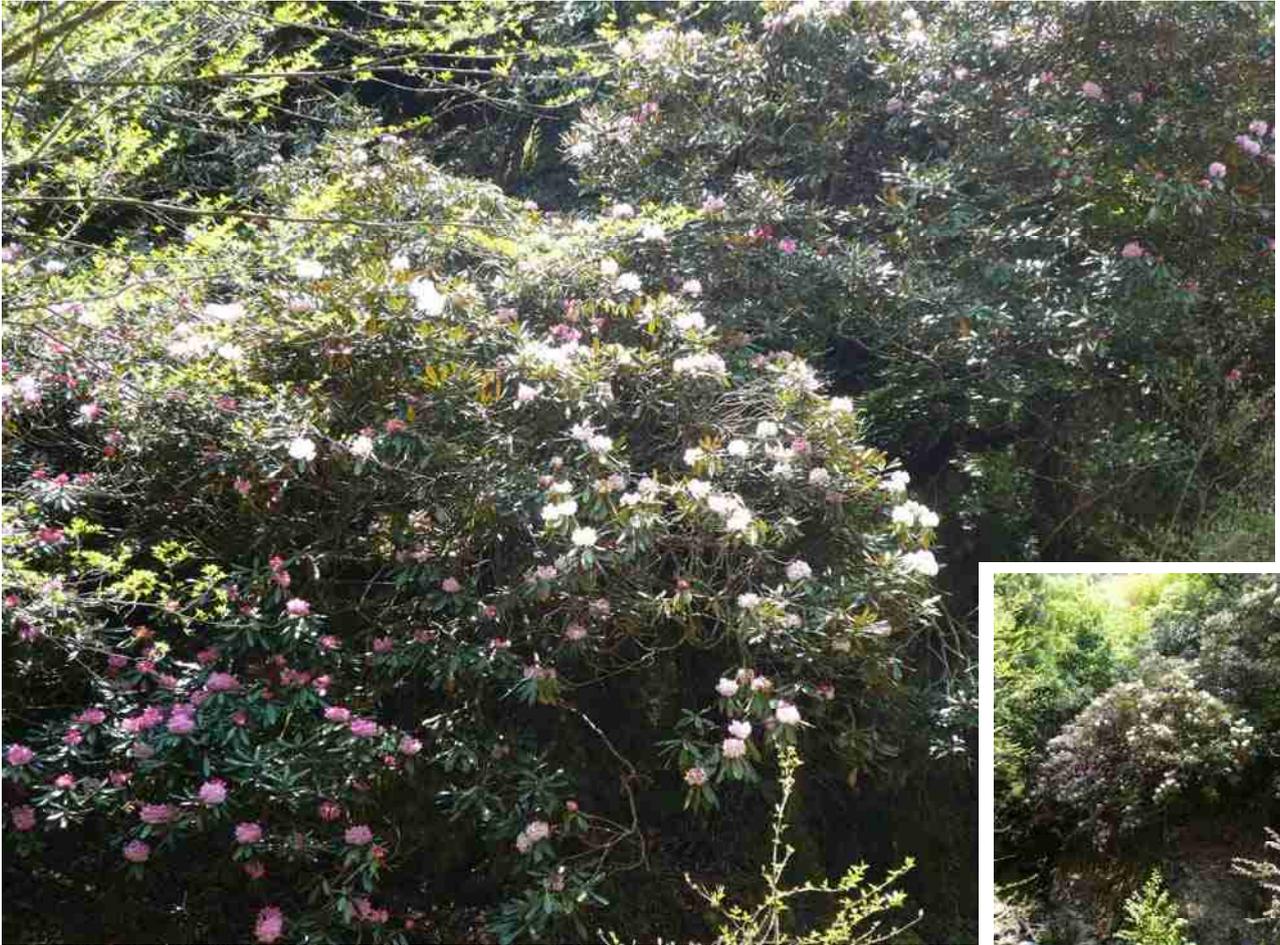
鎌掛谷のホンシャクナゲ (2) 2010.5.2.



鎌掛谷のホンシャクナゲ (3) 2010.5.2.



鎌掛谷のホンシャクナゲ (4) 2010.5.2.



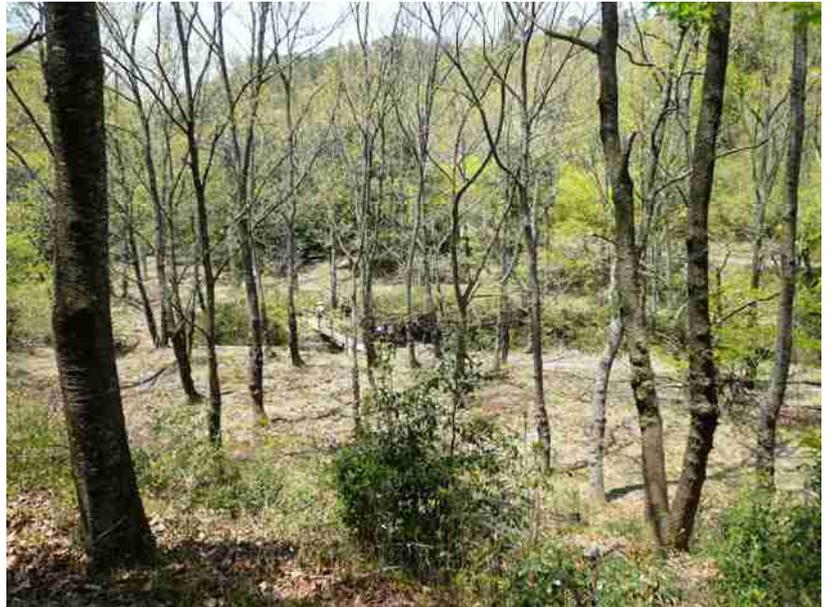
鎌掛谷のホンシャクナゲ (5) 2010.5.2.

石楠花は当たり年とそうないときが年によっても変化しますが、こんなすばらしい群生地はほかになし。

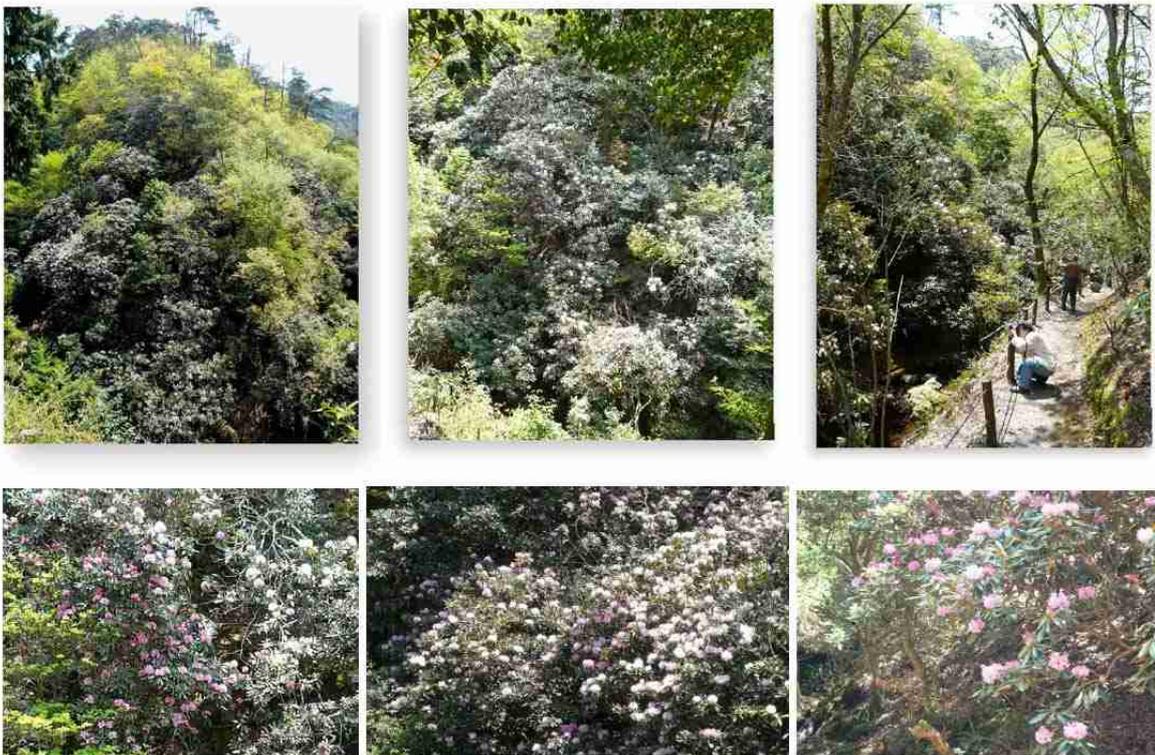
また、来年……と石楠花谷遊歩道の一番奥から、石楠花を眺めながら引き返す。

川沿いの林の中の遊歩道に入って、石楠花の下に座り込んで握り飯をほうばる。川のせせらぎを聞きながら 新緑の柔らかな緑の中に身をおく一番心地よい時間です。

ぜひ この群生地を俗化させずに守ってほしいものです。



石楠花谷への遊歩道脇に咲く石楠花



石楠花谷のホンシャクナゲ

2. 鎌掛峠を越えて 綿向山へ 2010 .5. 2.



石楠花の鎌崖谷から北へ越えた音羽集落から眺めた左側 竜王山と中央 綿向山 2010.5.2.



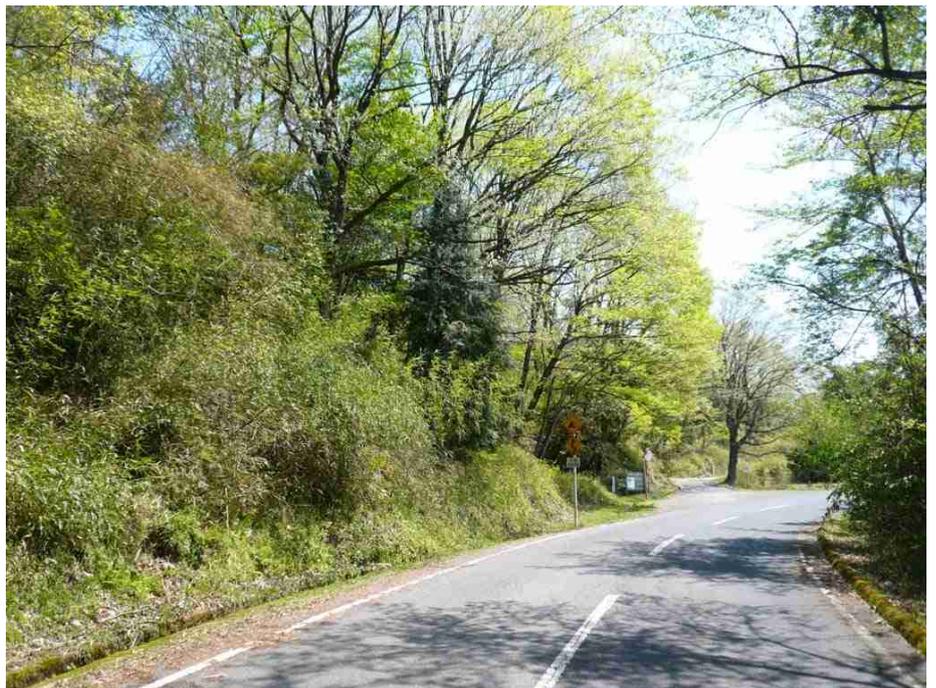
鎌掛谷から北の綿向山山麓へ 周辺 Map

昼食を済ませて 鎌掛谷入口のバス停に戻ってくると日野駅に戻るバスは運悪く出たところで、40分ほど待たねばならない。

地図を見ると日野駅の方へもどらず、そのまま北へ登って 鎌掛峠を越えれば、綿向山の山麓へ行ける。

駐車場の整理をしている地元の人に聞くと歩いて行くのは遠くて大変だけと行けないことはないという。

じっとここでバスを待って またバスを乗り継ぐより、ぶらぶら山裾を歩いてみようかと北へ歩くことにした。午後1時過ぎなので 頂上まではちょっと無理かもしれないが、次回の偵察を兼ねて里歩きを楽しむ。



鎌掛から鎌掛峠を越えて綿向山山麓への道 鎌掛峠周辺

15分ほどで鎌掛峠を越え坂をくだって、音羽の集落に入る手前の岡が蒲生氏の居城音羽城跡で、岡の下を抜けた音羽の集落の手前で 正面に綿向山がその堂々とした姿を見せてくれる。まだ、山まで随分ありそうである。



音羽集落の手前から見る綿向山 2010.5.2.

綿向山は鈴鹿山系の南西の端にあり、県境主稜線から大きく西へ張り出し、日野町の背後東側に堂々とした姿で座る高さ1110mの山で、古くから多くの人々に崇め親しまれた信仰の山であり、日野町のシンボル。大きな山腹の下半分は濃い緑の杉や檜の人工林に覆われ、その上部には淡い緑が美しいブナの森が広がっていることでも有名。

頂上には日野祭の馬見岡綿向神社の奥之宮（大嵩神社）があり、欽明天皇6年（西暦545年）頂上に祠を建てたのが始りと伝えられ、延暦15年（西暦796年）里宮として綿向神社が祀られた。

古来より綿向山山上では20年毎に社殿を建て替える式年遷宮の祭事が今も絶えることなく続けられるとともに、日野を治めた蒲生氏そして数多くの日野商人の崇拝を受け、立派な社殿などが建っている。

また、毎年5月2日～4日に行われる春季例大祭は日野祭と呼ばれ、3人の神稚児や3社の神輿、16基の曳山車を中心に、古式ゆかしく絢爛豪華に繰り上げられる祭礼は県の無形民俗文化財に指定されている。

新緑で気持ちのよい坂道が鎌掛から北へ猪の子が岳の麓を乗越して綿向山山麓へ続く。



音羽集落の中 街道沿い養泉寺周辺



日野と土山・鈴鹿スカイラインを結ぶ国道477号線とのクロス 音羽交差点

立派な養泉寺の前を通過して音羽の集落を抜けると 鎌掛谷から約5km。日野と土山・鈴鹿スカイラインを結ぶ国道477号線とのクロス 音羽交差点。「ようこそ綿向山へ」と大きく書かれた案内板が建っている。

この交差点をまっすぐ行けば北畑・西明寺集落へ いよいよ綿向山山麓。左へ行くと日野の町 西へ行くと御在所山の南 武平峠で鈴鹿山脈を越える鈴鹿スカイラインへと続く。この交差点の直ぐ横が近江バスの終点北畑バス停で、一部奥の西明寺まで行くバスがあるが、綿向山へ登る時にはここが起点となる。

音羽の交差点をさらに北へ抜けると広い田園地帯の向こうに手前に送電鉄塔が並ぶ水無山が座わり、その後ろに一層大きくなった綿向山の山塊が見える。

もう、1時30分を過ぎ、まだ 遠いなあと思いつつ、西明寺川の橋を越えるとまもなく 綿向山登山口への大きな道路標識が道の上にかかっている。直ぐ横に小さく北畑林道経由で登山口へいたる案内板がある。

まっすぐこのまま行けば、西明寺口からのルート。右へ折れて田圃を抜ければ、北畑谷林道を經由して、表参道登山口 あと 3km ほどである。



音羽の交差点にある綿向山の案内板 2010.5.2



綿向山表参道登山口へ伸びる北畑谷林道の入口 2010.5.2

広い通りから右へ折れて、田圃の中をまっすぐ綿向山へ伸びる道に入る。 標識によると後 3.2km で登山口。

登山口には 2時を過ぎて、頂上までは行けない。 のんびり 新緑の山裾歩きを楽しむ。

田圃には 水が入り 田植えの準備に忙しい。 振り返ると遠くに歩き始めた鎌掛谷周辺の細長い猪の子が岳が見え、山に登れば水の入った田圃が光って 素晴らしい景色になるだろう。



田圃の中を綿向山へまっすぐに向かう北畑谷林道 2010.5.2.



水が張られた田圃の中を進み山裾に到達。そこから右へ折れると杉林がつづく森の中。まっすぐ伸びた人工林が美しい林の中で、表参道登山口への舗装道路が整備中。直ぐ南には田園地帯が広がっているのですが、人っ子一人いない深い森に入ったような感じがする。

林をぬけると深い谷の山の中腹。

下を西明寺川が流れ、対岸には大きな竜王山の山体が見える。新緑に包まれた綿向山と竜王山間の谷間を送電線が渡ってゆく。





西明寺川が流れ下る竜王山と綿向山の間の深い谷間を送電線が渡ってゆく 2010.5.2.



素晴らしい新緑模様に包まれた竜王山の山腹 2010.5.2.



綿向山山麓接触変質地帯 2010.5.2.

パンフレットによると このあたりは数億年前に形成された石灰石に噴出した 花崗岩が貫入して出来る変成岩の露頭が見られる接触変質岩地帯で天然記念物になっている。谷筋を少し登っていった大きな岩の横の道端に案内板があるが、周辺も草木ら包まれて その中身はよくわからない。

綿向山山麓接触変質地帯の直ぐ横の山際には大きな岩があり、谷のそこの方にも大きな岩がごろごろ。これらが変成岩かもしれません。でも 直ぐ 熱水鉱床や花崗岩地帯という日本の鉱物資源帯。よくわかりませんが、このあたりも 鉱物資源帯だったのでしょか……



綿向山山麓接触変質地帯周辺の谷

綿向山山麓接触変質地帯をさらに上部へ谷筋をつめるとだんだん谷が浅く巾もせまくなってきたところで舗装道路も終わり、道も本谷から右手の杉林の奥へ曲がり、谷川に沿って少し登ったところが。綿向山表参道登山口で道脇に登山届が出来る小屋がある。谷川を渡って杉林に覆われた綿向き山の山腹に取り付く表参道登山道が伸び、また小屋の横から右手に水無山から綿向山への道がある。時間は午後2時半山から降りてきたグループが小屋で休憩している。ここから頂上までのコースタイムは登り2時間 下り1時間20分。そして 日野の町まで歩くとなると今から頂上へ登って降りてくるはちょっと無理。でも 登り口を前に帰るのはいや。杉・檜の美しい人工林の森を抜けて、素晴らしいと聞くブナ林まで行きたいと4時までと時間を決めて、小川を渡って美しい杉と檜の人工林の中をつづら折れの登山道に取り付く。



綿向山 表参道 登山口の入口 2010. 5. 2.



綿向山 表参道 登山口 2010. 5. 2.

谷川を渡るとすぐに綿向山の山腹をジグザグにつけられた登山道が5合目までつづく。

視界はまったく開けないが、美しく植林整備された杉や檜の美林の中 よく整備された道なので、疲労感はない。



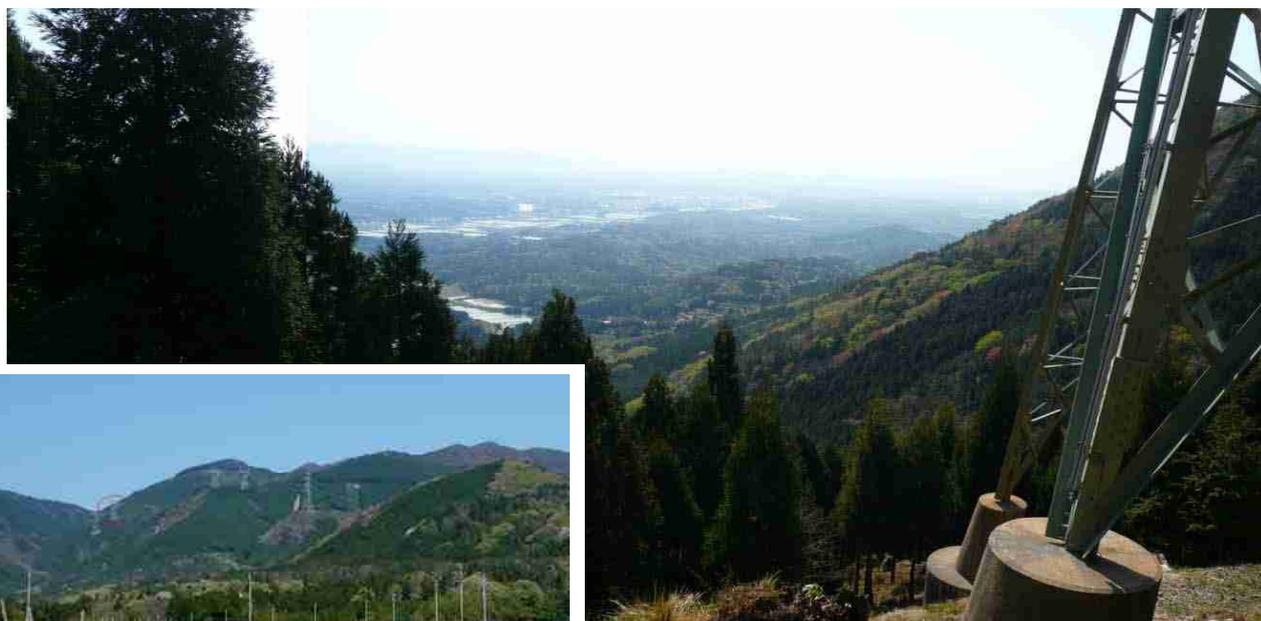
杉と檜の美しい人工林の中 綿向山の山腹をジグザグに延々と続く登山道

ちょうど日曜日で作業はされていないが、道脇には間伐された木々が登山道脇に並べられている。多くの樹木が立ち並ぶ森であるが、本当に明るいことにはっと気付く。

最近樹木の手入れがなされないため、森が荒れているとよく言われ、そんな光景をみることも多いが、この綿向き山の山腹の植林地は 枝打ちされ、すらっとまっすぐに伸びた杉や檜が立ち並び、よく手入れされていることが判る。登り始めて



1時間弱 ジグザグ道の角の向こうに送電鉄塔が見える。久しぶりに視界が利く場所。登山道を外れて鉄塔の下へ。



綿向山の山腹から竜王山の山腹へ渡る送電鉄塔 3合目下

北畑谷林道から見えていた綿向山の山腹から竜王山へ谷を越えて渡る送電線が見えていたその場所である。
ぱっと視界がひらけて、こんなに高くまでのぼってきたのか・・・。
歩いてきた日野の田園地帯が見渡せる。田園に水が入って 美しい。
これで 登ってきた甲斐がある。 もう どこからでも引返せると・・・。



綿向山 3 合目下 送電鉄塔のところから眺める日野の田園地帯 2010. 5. 2.

登山道へ戻って つづら折れ道に戻って直ぐに 山腹を横に横切る整備中の広い林道とクロスする3 合目に出る。
林道は北へ谷を越えて竜王山のほうから西明寺集落へ降りる水木谷林道。
山から降りてきた人たちに水木谷林道について聞くと表参道を帰るより、随分遠いので やめた方がいいという。
初めてなので 様子がわからないが、同じ道を引返すのなら、もう少し登れるとまた、林の中へ入って、3 合目上のあざみ小屋を越えて もう少し登ったところで午後4時。もう少し、登れば ブナ林の原生林が美しいという5 合目なのですが、それは次回に・・・。



水木谷林道とクロスする3 合目 2010. 5. 2.



3 合目の上 また 林に入るとあざみ小屋 さらに林の中を登山道が続く

タイムアップで今日はここで引返す。もと来た表参道登山道を下って登山口へ。帰りは 北畑谷リンドウの方へ行かずに まっすぐ西明寺川沿いに西明寺登山口へ下ってゆく。振りかえると奥に谷を渡る送電鉄塔が股見えてくる。



登ってくる時にも気になっていた接触変質地帯の西明寺川にかかる砂防ダム。高い堰堤の中央に非常に深い切れ込みがはいっている。こんな深い切れ込みの入った堰堤を見るのははじめて。ここが 天然記念物 接触変質地帯であることと関係しているのだろうか・・・多分 水をせき止めるのでなく 谷底にゴロゴロある大きな岩石の土石流防止の砂防ダム・・・??



接触変質地帯をまっすぐに流れ下る西明寺川に設けられたスリットの深い砂防ダム堰堤 2010. 5. 2.



西明寺登山口のバス停（西明寺口）から眺める綿向山 2010. 5. 2.

ぶらぶら歩いて 五時過ぎに西明寺登山口のバス停（西明寺口）のところまで降りる。ここにバス停があるので、「少しバスを待てばいい」と考えていたのですが、日曜日にはこの西明寺へのバス路線は運休とはじめて聞く。この路線は西明寺集落の生活路線。北畑口まで約4km 歩かないとバスがないという。ちょっと 足が痛くなっていましたが、暮れ行く山里を眺めながら国道477号線との交差点北畑口まで歩く。

鎌掛谷の石楠花を見に来て 夕方の日野祭との間の時間つなぎにと歩いた綿向山山麓のwalk でしたが、新緑の春を楽しむすばらしい里歩きでした。早い機会に次回 は綿向山 の頂上へ.....。

薄暗くなりかけた 6 時前 北畑口から日野へバスで。



3. 馬見岡綿向神社 日野祭（宵山） 2010 .5. 2.夕



名前だけは知っていましたが、見物したことがない「日野祭」。

蒲生氏郷の城下町で近江日野商人のふるさと日野町の街中を本豪華な曳山が町を練るといふ。

日野の街は西の近江鉄道 日野駅周辺から東の向町周辺まで東西に伸びる街道筋を中心に細長く町並みが続き、その町並みの東端のところに綿向神社があり、さらにその東に綿向山がそびえ、町を見守っている。

馬見岡綿向神社は綿向山頂上に祠が祀られたのが始まりと伝えられ、その後 西暦 796 年に日野の郷に里宮として綿向神社が祀られた。綿向山山上には その後 綿向神社の奥之宮（大嵩神社）が祀られ、古来より 20 年毎に社殿を建て替える式年遷宮の祭事が今も絶えることなく続けられてきた。

その後 綿向神社は戦国時代の蒲生氏 江戸時代 数多くの日野商人の崇拝をうけ、立派な社殿などが建っている。日野の守り神として広く信仰を集める。

毎年 5 月 2 日～4 日に行われる春季例大祭は日野祭と呼ばれ、3 人の神稚児や 3 社の神輿、16 基の曳山車を中心に、古式ゆかしく絢爛豪華に練り上げられる。



馬見岡綿向神社の最寄のバス停 向町で降りて 綿向神社へ向かう。町並みには祭礼の提燈が掲げられているが、特に多くの人でもなく静かなもので、多少拍子抜け。神社にも特に夜店が並ぶわけでもなく静かなもので 6 時過ぎに帰ってくるという神輿を待っていると聞くが静かなもの。

街道筋の町々の曳山倉から引き出されて飾り付けられた曳山の周辺だけが祭囃子の音とともに華やかな祭り気分をかもしている。宵山というと夜店が立ち並び人並みでごった返すと創造していましたが、本当に以外。

祭りが観光化する中で、曳山町の人たちがそれぞれ子供から年寄りまで思い思いに楽しむようだ。

特に宵山はそのようで、曳山の上には普段着のまま多くの子供が乗っていたり、街道筋に椅子を出して年寄りが通りを眺めていたり いたって普段着である。



道端で談笑している年寄りによると「まもなく 200m ほど辻まで曳山を引いていって そこに 3 つほど曳山が集まる 若い人はやっぱり 曳山を曳いて基地を練り歩きたいようだ」としい。

不意に「綱もって 一緒に曳山引いて・・・」と声をかけられてびっくり。綱には普段着の人も数多く参加している。観光客相手ではなく 普段着の祭り そんな宵山。

もっとも 明日は晴れ姿 祭りの表情も一変するのでしょうか、こんな祭りもいいとつくづく思いました。夕闇迫る街中を 祭囃子に吸い寄せられて 曳山めぐりをして 夜遅くまで 街中を行ったりきたりでした。



綿向山が見守る日野祭 神輿が神社へ帰ってゆくと曳山の提灯に灯がともり、祭囃子もいっそう華やかに



曳山の上には 子供たちが鈴なり また曳山の中にも



家から出てきた人たちが
ひょいと曳山の綱に手をかけ 一緒に引いてゆく

暗くなってくると 街道沿いの家過度には祭灯が置かれ
辻に集まってきた曳山が祭囃子を競演し、
多くの人とその周りを取り囲む。
こちらは 若者が主役 宵山も 最高潮である





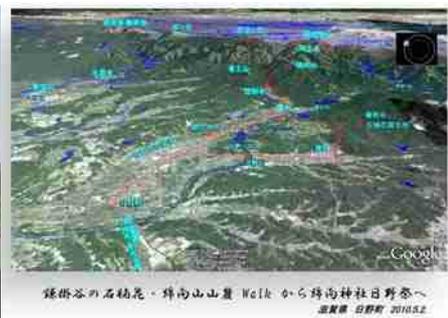
日野祭 宵山 2010.5.2.



近江日野町 馬見岡綿向神社「日野祭」宵山 2010.5.2.



近江日野町 馬見岡稲南神社「日野祭」 曳山 2010.5.2.日野祭 宵山



鎌掛谷の石橋苑・稲南山山麓 Walk から稲南神社日野祭へ
遊覧者 日野町 2010.5.2



6. 京都 葵祭 2010. 5. 15.



新緑の5月15日わが国の祭の中で最も優雅で古趣に富んだ祭として知られる京都「葵祭」を見物に出かけました。葵祭は、6世紀に天皇が下鴨・上賀茂両神社に勅使を送って五穀豊穡を祈ったのが始まりとされ、約1400年の歴史があり、古くは賀茂祭又は北の祭とも称されてきた下鴨神社と上賀茂神社の例祭。平安遷都の後山城国の守護神となり、両神社に嵯峨天皇の皇女 有智子(ウチコ)内親王が斎王として仕え、以来 斎王が詣でた葵祭は国を挙げての祭となった。東帯姿の近衛使代や十二単の斎王代など王朝絵巻差ながらの葵祭の行列が、都大路を進む道中を路頭の儀といい、下鴨、上賀茂両神社で行われる社頭の儀を行うためのプロセスで、源氏物語や枕草子にも登場する。行列は 近衛使代(勅使代)を中心とした本列(男列)と斎王代に従う斎王代列(女列)の総勢約500名が華麗な装束で頭にフタバアオイを挿し、美しく飾られた車(牛車)、馬そして 斎王の乗る神輿などからなり、約1kmのパレードが京都御所を出発して、下鴨神社を経て、上賀茂神社へ向かう。



葵祭の名の由来となった植物「ふたば葵」

葵祭では二葉葵や二葉葵と桂の葉を組んだ葵桂（きっけい）を祭りに参加するすべての人たちの頭や胸元・腰に飾ったり、腰輿や牛車に飾りつけることから「葵祭」と呼ばれ、下鴨・上賀茂神社の御神紋にもなっている「ふたば葵」という植物。その由縁は「吾に逢いたければ葵を飾り、祭をして待てば地上に降りよう」との御神託があり、「神の守護を受け、神と共にありたい」との願いから葵桂を身につけるといふ。



ふたば葵



桂の木の葉（葵の葉とよく似ている）



葵桂の挿頭

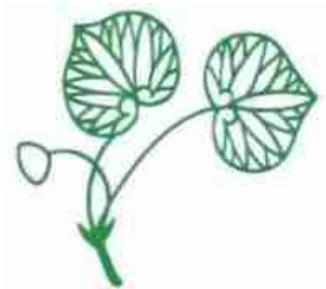


葵祭で頭や胸などに飾り付けられた葵桂 2010. 5. 15. 葵祭で

昔はいろいろな場所に群生していたようですが、最近ほとんど見かけなくなり、希少価値に。数年前から 我が家でも株を分けてもらって家内が育てています。一本の茎がずっと伸び上がり地上から数センチのところまで二股に分かれ、それぞれの先端に5～10センチほどのハート型の葉を対極に2枚つけるので、「ふたば葵」と呼ばれています。



ふたば葵



下鴨神社 御神紋の二葉葵

水はけの良い林で群生。地上を茎が這うように広がり、身近な照葉樹の林の中で、冬から春にかけてはたっぷりと陽を浴び、初夏から秋にかけては木陰で成長。少し前までは身近な自然の中で当たり前に見ることができたこの植物ですが、最近ほとんど見かけなくなり、希少価値の植物であるが、眺めていると心やわらぐハートの形の葉である。なおこの二葉葵は下鴨・上賀茂両神社の御神紋ですが、貴船神社や秦氏と関係が深い松尾大社や蚕ノ社なども御神紋となっている。また、下鴨神社近くの出町にあるまめ餅で有名な「ふたば」の屋号も「二葉葵」。二葉葵の屋号が入った看板が大きく掲げられている。



出町のまめ餅「ふたば」



二葉葵の屋号の看板が掲げられている

葵 祭 御所から下鴨神社へ向かう本列（男列）と斎王代に従う斎王代列（女列） 2010. 5. 15.

5月15日 快晴 の絶好の日和 予定では葵祭の一行が御所を出発するのが、10時30分で下鴨神社到着が11時40分。

我が家に育つ二葉葵をながめていて、ふと思いついた久しぶりの京都葵祭の見物である。

10時過ぎに緑に包まれた糺の森・下鴨神社が葵祭見物が一番と糺の森にいったのですが、行列が通る糺の森の参道には有料の観覧席で埋められていて、無料の人たちは西側隣の参道樹木の間から観覧席越しに眺めるように変っている。これではまじかに眺められない。やっぱり有料で費用捻出のためには仕方がないのかも……。賀茂川の土手に行く行列もきれいなのですが、午後になってしまう。御所から下鴨神社へ向かう行列をじっくり眺めたいと出町へ行く。

下鴨神社の直ぐ南 賀茂川と高野川の合流点にかかる出町橋の西詰め。河原町通りを上ってきた行列が出町のこの西詰めで端に向かって曲がる地点である。葵祭とは関係ないが、北に伸びて若狭小浜へ至る「鯖街道」の起点でもある。

今日は本当に新緑が気持ちがいい。大文字山が美しい。



出町 出町橋西詰 T字路の角の路肩で騎馬警官先導の行列到着を見る 2010. 5. 15.

沿道には多くの人たちが行列を待っているが、出町から東の出町橋へ曲がる角の横断歩道の横の狭い部分が空いていた。交通整理の警察官が立っていて、横に横断歩道なので敬遠された一等地。横断歩道に拡がらなければOKだと警察官も言う。ラッキーである。到着には少し間があるが、見ている間に周囲は人で一杯である。

ちょうど向かい側川原町沿いが豆餅の「ふたば」で直ぐ南が鯖寿司の「大岩」。「ふたば」には今日も長い行列である。

11時15分を回って ちょっと遅れ気味で騎馬警官に先導されて 葵祭行列の先頭がやってくる。

まずは 近衛使代（勅使代）を中心とした本列（男列）が続き、其の後に斎王代に従う斎王代列（女列） 約1時間の王朝絵巻がまん前で繰り広げられてゆく。



牛車



飾り馬に乗る近衛使代

葵祭 本列 武者の行列が続いたあとに牛車が続き、本列の終わりにきらびやかな馬に乗った近衛使代（勅使代）が行く

こんなに沢山の人が頭に「葵」の飾りをつけていたのか・・・と記憶との違いにもびっくり。また 以前見た時とは格段に装束が美しいのにびっくりする。

また、葵祭の行列は音もなく無音ですすんで行くだけなので、派手さはなく、行列の集団がとぎれると何かまのびした記憶にあるのですが、今日はまったく無し。「ふたば」で貰った下賀茂神社の葵祭冊子には「徒然草」に葵祭を「だらだら祭」として 行列が来ると棧敷に出てきていってしまうと家の中に入って酒を飲むなどする」との見物の様子が書かれているが、今日はまったくそれは無し。最後まで見ました。見る方の気持ちで随分変わるもの。本当にこんなにきれいだったのか・・・と。

本列が通り過ぎると今度は齋王代を中心とした齋王代列（女列）がやってきた。鮮やかな十二単の衣装の胸に「葵」が付いている。騎乗の美女の胸にも



鮮やかな十二単をまとった胸に「葵」

齋王代を中心とした齋王代列（女列）

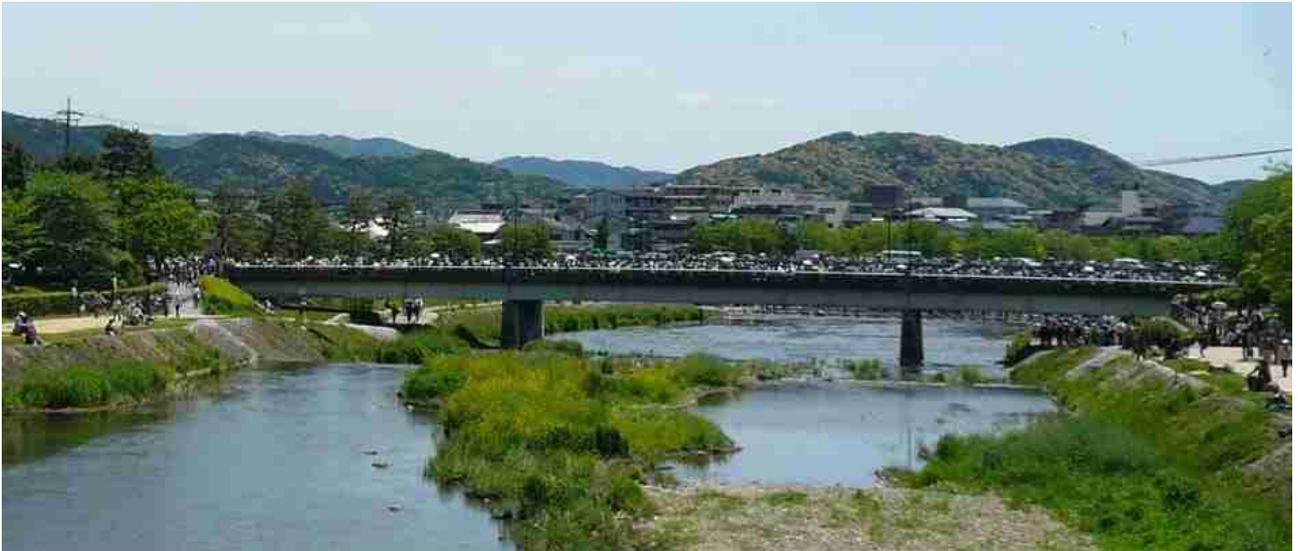


齋王代の乗る神輿



齋王代列(女列)

約1時間ほどで 行列は出町の角を東に折れて、出町橋を渡ってゆく。橋の直ぐ北がもう糺の森。下鴨神社の神域に入ってゆく。今まで抱いていた印象とは違ったすがすがしい気分の葵祭。やっぱり、糺の森の中に行く葵祭の行列も見たいと糺の森へ急ぐ。



賀茂川と高野川の合流点 出町橋を行く葵祭の行列 2010. 5. 15.

ちょうど 斎王列の牛車が新緑の中を下鴨神社の社殿へ向かうところであった。
多くの人で 参道には近づけなかったが、緑の中をゆったりと進む斎王列を眺めることができました。



糺の森 緑の中をゆったりと進む斎王列 牛車 2010. 5. 15.

久しぶりに見る葵祭 葵がきれいな飾りとして身につけた優雅な王朝行列がゆったりと進んでゆく。
家にある二葉葵の縁で思い立って見に行った葵祭。 新緑に浸って 本当におすすめの葵祭でした。
また、出町の角 横断歩道横に立つ警官の人が「みんな 仲良く見てもらうのが一番」と言い、横断歩道に止めて見る車椅子

の人を排除せず、自分の立つ横断歩道脇に入れ込んでくれたことも、一層この葵祭を気持ちの言い気分にしてくれました。
 下賀茂神社を出てから、久しぶりに松ヶ崎をゆっくりと歩いて松ヶ崎大黒天まで行って、バスで帰りましたが、 バスの中からも賀茂川の土手を上賀茂神社に向かう葵祭の行列を眺めることが出来ました。
 気持ちのいいときはこんなもんで、これもラッキーでした。
 新緑の中での本当に素晴らしい一日でした。



賀茂川の土手を上賀茂神社に向かう葵祭の行列 2010. 5. 15.



葵

葵柱は、カツラの枝にフタバアオイを巻き付けたもので、祭りにかかわる人びとや、社殿などにフタバアオイや、カツラで作った、葵柱を飾ることから、葵祭と呼ばれる



京都 葵 祭 2010. 5. 15.



【参考】

平成 22 年 葵 祭 賀茂御祖神社（下鴨神社）

葵 祭

2010.5.15.



葵祭は、カツラの枝にフタバアオイを簪さけたもので、祭りにかかわる人ひとや、社務などにフタバアオイや、カツラで作った 葵簪を贈ることから、葵祭と呼ばれる。



桂の葉

ふたば葵





ふたば祭を展示する
出町 丸の内ふたば



本列 (男列) 近衛使代列













柱の葉



ふたば葵



葵



葵柱は、カツラの枝にフタバアオイを巻き付けたもので、祭りにかかわる人びとや、社殿などにフタバアオイや、カツラで作った、葵柱を飾ることから、葵祭と呼ばれる

7. 6月 六甲高山植物園 2010.6.1.

幻のヒマラヤの青いケシ・高山植物の女王「コマクサ」



昨年 教えてもらって 出かけた六甲高山植物園で始めてみた幻の花「ヒマラヤの青いケシ」そして 関西では見れないと思っていた高山植物の女王「コマクサ」。初めて見た 純白の花びらの真ん中にポツンと赤い点の「オオヤマレンゲ」の花やエーデルワイスなどアルプスの花々。

今年も是非出かけねばと6月になって、直ぐに照会の電話を掛けると「ヒマラヤの青いケシも コマクサも 今が一番 きれいに咲いていますよ。是非 お越しください」と電話の向こうで華やいだ声。

6月1日の午後 天候は曇り空「写真を撮るには曇天の方がきれいに撮れるかも・・・」と行って来ました。

「今年は 天候不順と裏年で 日本国中どこも 花は少なめで小さい」と園芸員の人が教えてくれましたが、六甲の山頂近くの斜面の一角に素晴らしい高山植物の花園がありました。ちょうど ぽつぽつと雨も降り出して、園内で花を觀賞していた人たちもみんな退散して、咲き誇る高山植物を独り占め。思う存分 花に近づいて写真が取れました。

ヒマラヤのケシは昨年より小ぶりでしたが、やっぱり神秘的。なんといっても 今年も 一度花に顔をくっつけて写真を撮りたかった「コマクサ」のアップの写真が撮れました。オオヤマレンゲの白い花も。

今年もスイスのアルプスを模した岩山の砂地に配されたエーデルワイスなどの花々の花園もきれいでした。

ちょうど 緑の中の 谷あいの湿地にはピンクの「クリンソウ」の群落が満開でした。

ぽつぽつ雨がふったり止んだりの天候でしたが、緑の森の中に咲く高山植物の数々。

緑に包まれた一番高台にある喫茶ハウスで お茶を飲みながら 耳を澄ますと川のせせらぎと鳥の声。

お目当ての花ばかりに眼が行っていたなあ・・・ ほかの日本の草花にも眼をむけてもう一度歩こうと。

植物園の中を 行ったりきたり 楽しんで帰りました。

撮った写真は自分の思い通りには行かず、また ピンボケばかりですが、

神戸六甲から 世界の高山植物の花便りです。



六甲高山植物園の6月 2010. 6. 1.

1. 幻のヒマラヤの青いケシ



2. 高山植物の女王「コマクサ」



3. オオヤマレンゲ



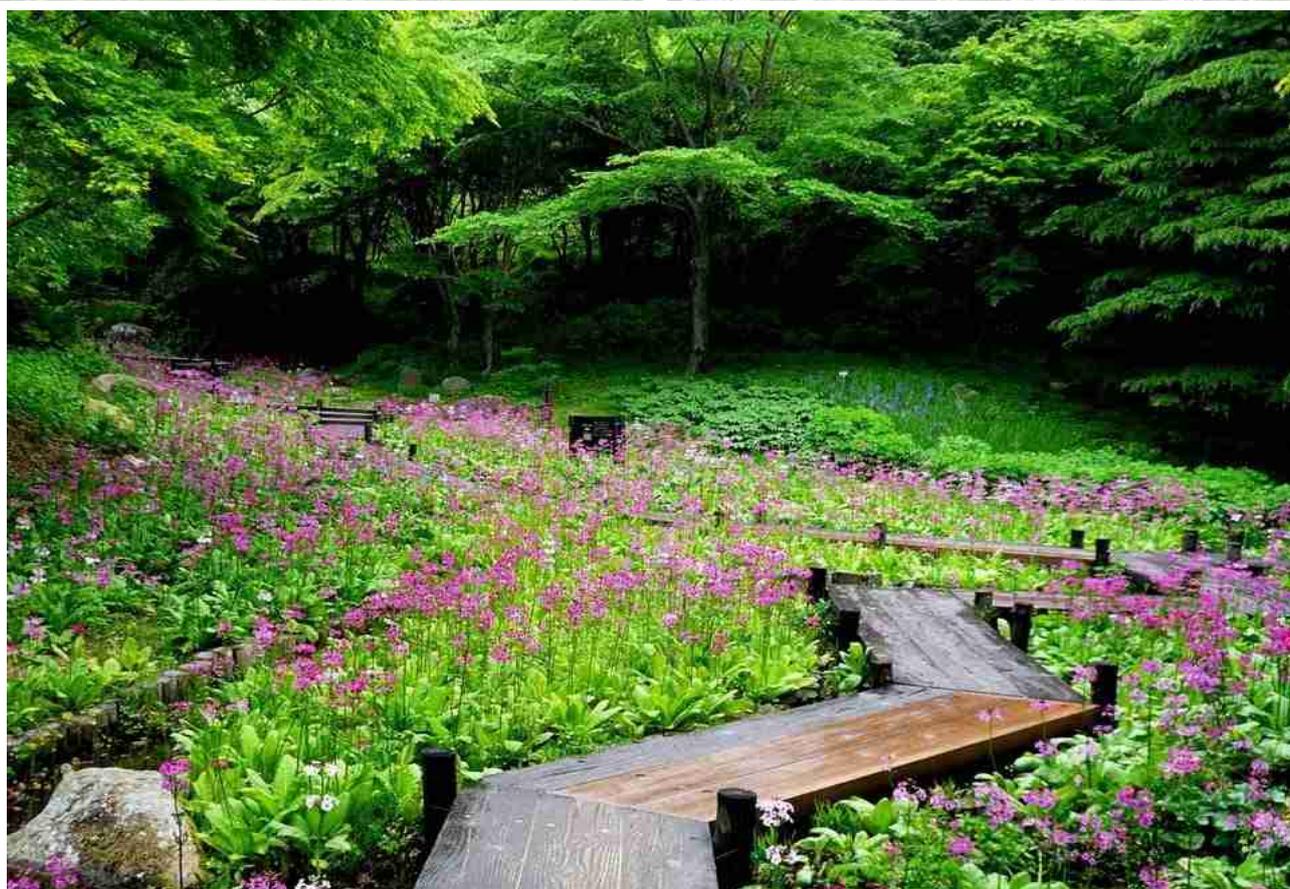
4. ヒメサユリ 黒百合 ミヤマオダマキ



5. アルプスの名花 エーデルワイス と その仲間



6. クリンソウ



7. 6月 日本の野山で



6月 六甲高山植物園 2010.6.1.

幻のヒマラヤの青いケシ・高山植物の女王「コマクサ」

六甲高山植物園



六甲高山植物園



2010年6月1日

ヒマラヤの幻の青いケシ

高山植物の女王 コマクサ

そして オウヤマレンゲが咲いたと聞く
アルプスの花々 エーデルワイスも見たい

また、今はクリンソウが満開だと



六甲高山植物園

登山鉄道に乗って出会う スイスの花々展

スイスのシーニゲブラッテ鉄道に乗って眺める標高3,000m級の山々。優大な景色と並んで人々を魅了する可憐なアルプスのお花たち約30種類を植物園では鑑賞展示します。

その他、園内にはシーニゲブラッテ鉄道の駅員服での記念写真コーナーやヨーロッパアルプスに咲く高山植物の不思議などもご紹介。なかなか見ることのできないスイスアルプスの花々と爽やかな風を感じてください。

後援/スイス政府観光局

2008年に姉妹提携したスイスの
シーニゲブラッテ高山植物園*から
寄贈された花もご紹介します。

*1 シーニゲブラッテ高山植物園は、観光地として絶大な人気を誇る。スイス・ユングフラウ地方の標高1,967mの山頂に位置する植物園で、6月下旬～9月下旬までの夏の間、約600種類の花々を鑑賞することができます。



エンチアン (4月下旬～5月上旬)



リリアアルビナ (4月下旬～5月下旬)



アルペンローゼ (5月中旬～下旬)



ゲウム・モンタヌム (5月上旬)



エーデルワイス (6月上旬～中旬)



六甲
高山植物園



花をめぐって 高山植物園内をWalk 2010.6.1.

緑の森の中のお花畑 耳を澄ますと小川のせせらぎと鳥の声



六甲高山植物園



六甲高山植物園の6月 2010.6.1.

1. 幻のヒマラヤの青いケシ



2. 高山植物の女王「コマクサ」



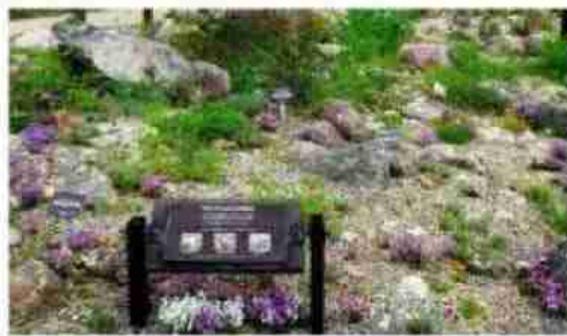
3. オオヤマレンゲ



4. ヒメサユリ 黒百合 ミヤマオダマキ



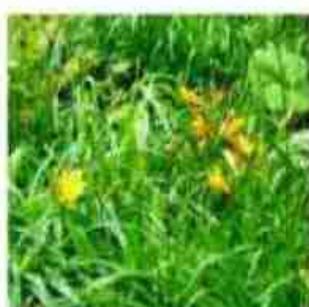
5. アルプスの名花 エーデルワイス と その仲間



6. クリンソウ



7. 6月 日本の野山で















六甲高山植物園

**登山鉄道に乗って出会う
スイスの花々展**

スイスのシーニグガッテ鉄道に乗って約1000mの標高、3,000m級の山々。優大な景色ととんで人々を魅了する可憐なアルプスの花々たち約30種を植物園では種数展示します。

その後、園内にはシーニグガッテ鉄道の駅員服での記念写真コーナーやヨーロッパに咲く高山植物の不思議などもご紹介。なかなか見ることのできないスイスアルプスの花々を様々な風景を感じてください。



**六甲
高山植物園**



後援/スイス国駐日大使館

2008年に開館されたスイスのシーニグガッテ高山植物園が、復元された花々をご紹介します。

※1.シーニグガッテ高山植物園・・・観光地として絶大な人気を誇る、スイス・シュンツァウ地方の標高1,907mの山頂に位置する植物園で、6月下旬～9月下旬までの夏の間に約800種類の花々を展示・見学することができます。



**六甲
高山植物園**



**スイス
アルプスの
花々**





トリス
エロペコス
学名: *Tris euphros*
科名: トリス科
分布: ヨーロッパ



シリアイラ・レバンス
学名: *Silphium albanicum*
科名: シリアイラ科
分布: ヨーロッパ



エーテルフェイス
学名: *Leontopodium alpinum*
科名: ヨーロッパ科
分布: ヨーロッパ



エーテルフェイス







8. 平安遷都 1300 年祭で賑わう奈良へ

2010. 6. 11.

大遣唐使展・若草山・平城宮 大極殿



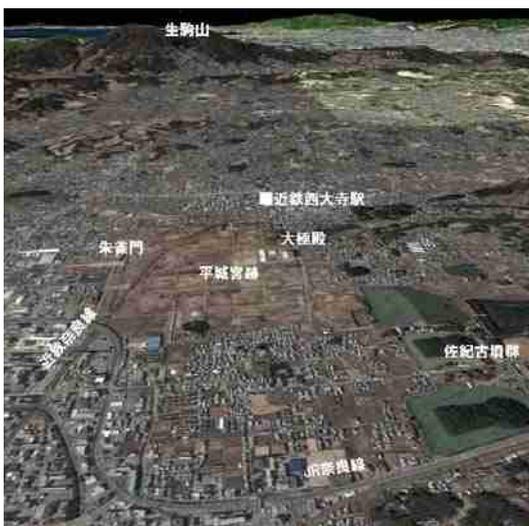
平城宮跡に復元された大極殿と平城宮より眺める奈良の山々〔中央が若草山〕

6月11日 平安遷都1300年祭でにぎわう奈良へ照ってきました。

平安遷都1300年祭にあわせて平城宮跡に復元された朱雀門と大極殿見学と奈良国立博物館の大遣唐使展がお目当て。

ちょっと時間があつたので、見上げた若草山の頂上まで登ってきました。

近鉄電車に乗って生駒をトンネルを越えて大和平野に入るとまもなく奈良の山々が近づいてくると一面野原の中を電車が横切り、奈良の市街地に入ってゆく。この野原が平城京跡である。



東の奈良市側から平城宮・生駒山

西大阪側から平城宮・奈良市街地・若草山

この平城宮跡を通り過ぎるといよいよ奈良モードに頭が切り替わる。

この平城宮跡周辺に立つと「奈良の市街地の背後に若草山などの山々（くるりと振り返ると生駒の山並み）の景色が素晴らしい場所で、いにしへの奈良のロマンを掻き立ててくれる場所でもある。この景観の中に真っ赤な朱雀門・大局殿の建物が復元された。本当に素晴らしい景観が奈良に加わると期待して出かけました。

また、奈良国立博物館で開催中の「大遣唐使展」日本の国づくりに大きな影響を与えた遣唐使について断片的には知っていますが、数世紀にわたる全体像を眺められるチャンス。ちょうど前週 同平城遷都 1300 年記念として奈良橿原市で開催されていた「大唐陵展」（橿原考古学研究所博物館）を見たところである。

東大寺大仏殿の東側の山並みの中にある若草山は遠足や何やかやで何度も山腹の斜面で遊んだ記憶があり、大仏殿の建物を上からちょっと眺めたいと上り始めたのですが、まったく知らなかった頂上。頂上部に丘が3つもあり、一番奥の御陵のある丘が頂上で 南には吉野・金剛 中央に生駒 北に山城・笠置の山並みをバックに大和平野の大パノラマが広がっていました。遣唐使が大陸の文化を運んできた奈良時代を思い浮かべながら あまり足を踏み入れたことのない奈良を見てきました。

1. 平安遷都 1300 年記念 大遣唐使展



奈良国立博物館「大遣唐使展」とボストン美術館所蔵「吉備真備絵巻」に描かれていた遣唐使船 2010. 6. 11.

7世紀から9世紀 古代日本の国づくりと密接に関連した遣唐使。遣唐使を通じて 古代の日本・朝鮮・中国関係史が見えてくる。ひそかに ライフワーク「鉄の歴史」にも 大きな影響を与えたに違いない遣唐使 と期待もして・・・・・・。この時代のレビューも含めて、非常によくまとまった図説「大遣唐使展」が出ていますので、内容は省略しますが、断片的だった時代の流れが理解できて楽しい展覧会。イヤホンをつけ解説を聞き漏らすまいと全部見た展覧会でした。

● ボストン美術館所蔵「吉備真備絵巻」

遣唐使船の絵というといつもこの絵巻が出される有名な絵巻。 其の程度の知識しかありませんでしたが、漫画チックでこんなに面白いのか・・・と。

遣唐使吉備真備が在唐中に幽閉され、鬼（幽霊）となった安倍仲麻呂に導かれて、皇帝による『文選』や囲碁による無理難題を解いて、遂に帰国を達成するという歴史上の人物の業績伝。

その業績伝に、鬼が出てきたり、空を飛ぶ吉備真備がえがかれていたり、囲碁の勝負で相手の碁石を飲み込んだ真備の「糞」を取り囲んで眺める唐の官吏が描かれたりなのである。



大遣唐使展 映像展示より 2010. 6. 11.

「鬼を操り・空を飛ぶ“魔法使い”。

持ち帰った文物や帰国後の業績等から、真備は中国語はもちろん儒教や律令制度、天文学、軍事学、音楽まで幅広くマスターしていたと考えられる。最先端の知識とそれらを駆使する合理的思考が、当時の日本の人々にとってあたかも“魔法使い”のように見えたのかもしれない。」

NHK 歴史秘話ヒストリア 奈良の魔法使い ～日本を救った遣唐使・吉備真備(きびのみまきび)～ より

<http://www.nhk.or.jp/historia/backnumber/46.html>

絵巻の中で、鉢が飛ぶ「信貴山」縁起絵巻（平安時代末期 12 世紀）が一番面白いと思ってきましたが、同じ平安時代末 12 世紀に作られたこの「吉備真備絵巻」に描かれた説話も実に面白い絵巻でした。

絵巻の物語が絵巻の解説と共に大きなビジョンに再現され見られたのも goo で、映像展示を見て 再度絵巻を見に戻りました。

● 7 世紀 官営の生産工房 飛鳥池遺跡

この 7 世紀には 数々の生産技術が日本に伝わり、日本の国造りに必要な数々の物資を供給する官営生産工房が営まれた。 鉄生産についても、朝鮮半島に頼っていた鉄素材の輸入オンリーから脱し、官営の鍛冶工房・製鉄工房が設置され、国内での本格的な実用鉄生産が展開されてゆく。 遣唐使と伝来した生産技術の関係を知ることができるかもしれないと思っていましたが、7 世紀の官営生産工房飛鳥池遺跡が代表として展示されていました。

飛鳥池遺跡では金銀・胴・鉄の工房 鋳銭工房 玉作工房 漆器工房など多岐にわたる工画面操業していたことが確認されていて、特に日本で最初に作られた富本銭 ならびに水晶・ガラス・琥珀・メノウなどの玉作り そして当時最先端の鉛ガラスが作られ、これらの工具に鉄が数多く使われた。写真では何度か見たことがあるのですが、初めて実物を見ました。



若草山山頂から見た奈良の市街地 2010. 6. 11.



大遣唐使展 高精密デジタル画像展示「吉備真備絵巻」展示 2010. 6. 11.

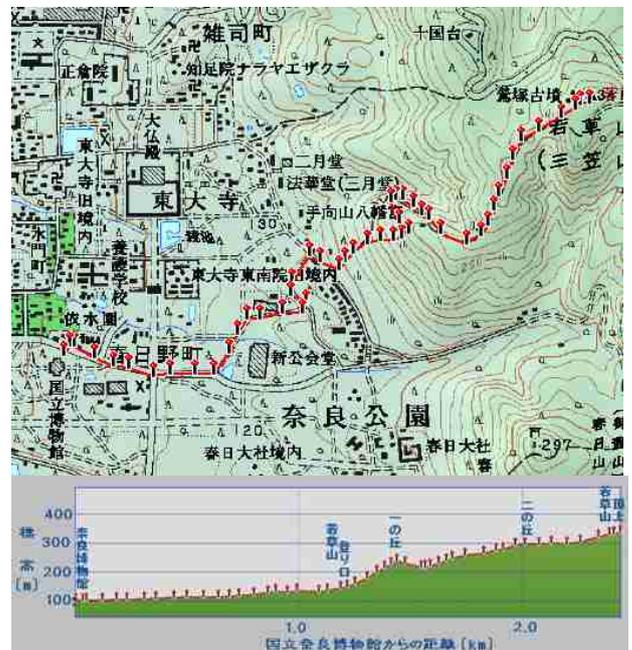
2. 若草山 walk



若草山の頂上の記憶がないので、一度登ろうというのと大仏殿の建物 そして 平城宮あたりがどんな風に見えるのか、奈良側から眺めた後で、平城宮へ行こうといとに若草山へ。

博物館から左手に東大寺大仏殿に行く人たちを眺めながら奈良公園の中を東へ真っ直ぐ若草山へ。

ちょうど 修学旅行のシーズンで平日人が多いのですが、東大寺大仏殿への道を越えると静かなもの。 鹿ものんびり草を食べている。



ほんの 15 分ほどで若草山の登り口。 以外にも若草山山腹の斜面には誰れもない。子供の頃 遠足できて おにぎりやみかんが賑わらないよう気にしながら弁当を食べた記憶があるのですが……。沢山の子供たちが弁当を広げている光景をイメージしてきたのですが、拍子抜け。 林になっている左手 日陰の階段で弁当を広げている子供たちの集団を見つけて、なんとなくほっとする。もっと 上に登っていたのだろうか……。まったく記憶がない。



若草登り口 正面から若草山山腹



若草山山腹斜面より 大仏殿の屋根が見える

入口で150円を払って山腹を登りだす。華やいだ声が飛び交う奈良公園とは対照的に静かなもの。

「上まで登らないと大仏殿全体は見えないよ」と入口で聞いて、牧草地養生で垣がしてある正面のところまで登って、それから山腹の左手、林の中の階段状の登山道を登る。



山腹中央から眺めた奈良 2010.6.11.

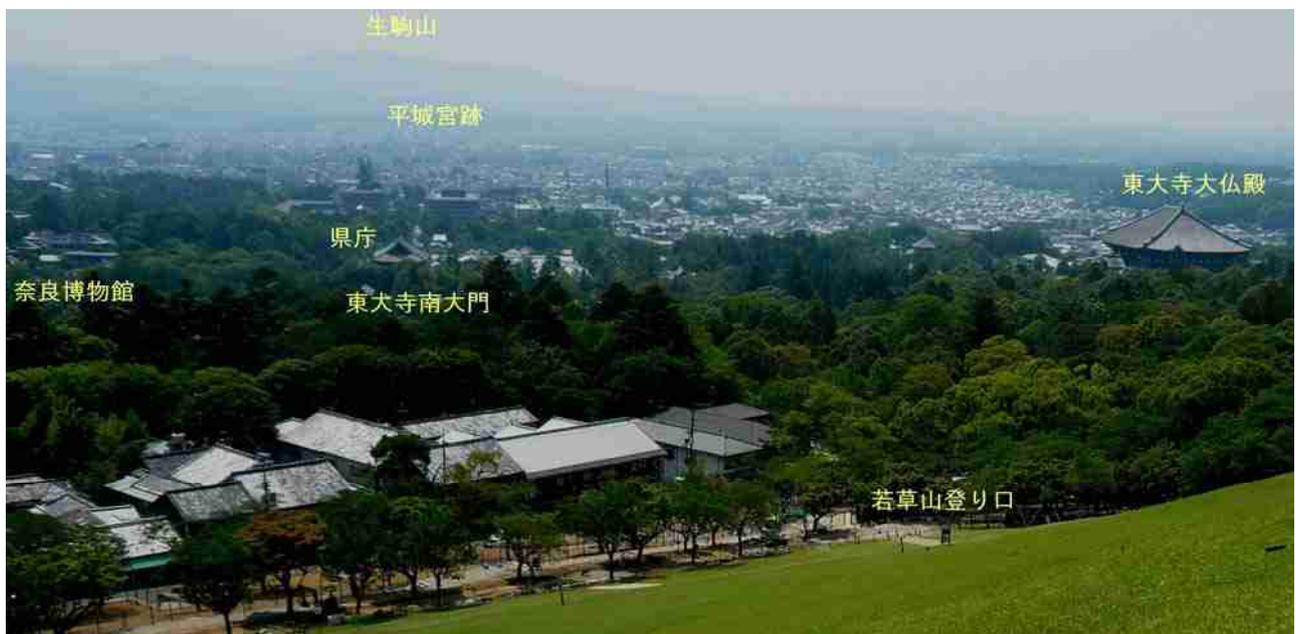
南側 山の端に天香具山から飛鳥

写真中央 西側

正面奥に生駒山その下にならの市街地

写真中央 右手に平城宮がうっすら見える

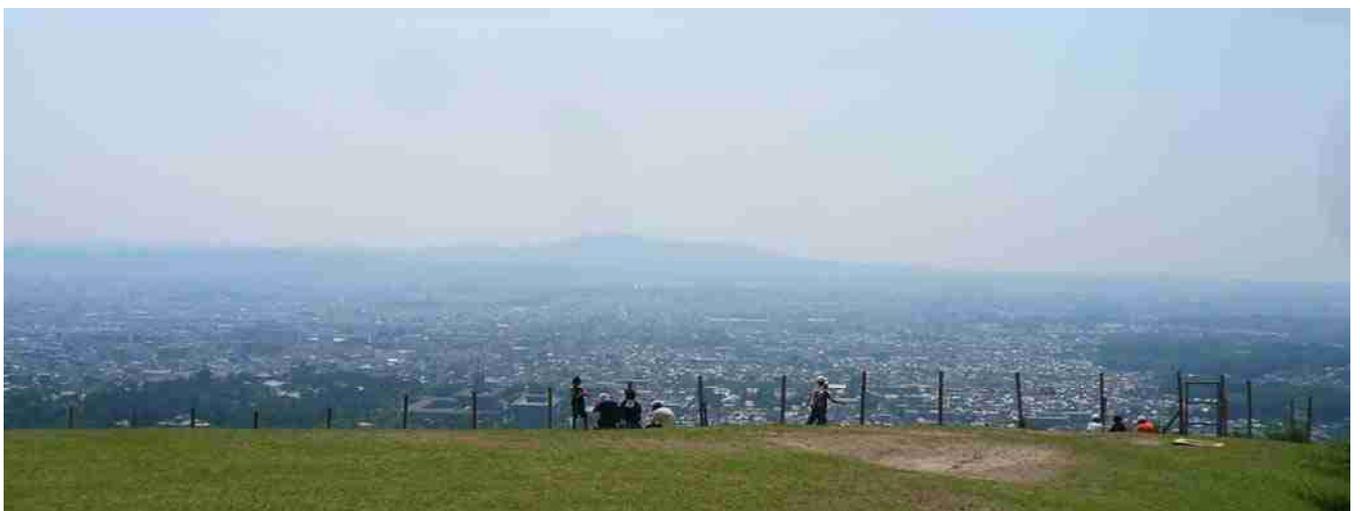
北側 若草山山腹の手前の森の上に
大きな大仏殿の屋根が見える



山腹の斜面から左の林のところへトラバースして林の中をすこし登って林を抜けると一の丘〔標高約 260m〕の広い野原に出る。山腹の登り口側から見えた頂である。正面には同じ景色ながらまた違った角度で奈良の町並み 大和平癒矢が見える。ここが頂上と思いましたが、さらに奥へと尾根道が続き、左手に二の丘〔標高約 310m〕。二の丘から谷を回りこんで奥に若草山頂〔標高 342m〕上の展望台が見える。山腹を登れば直ぐ上が頂上と書いていましたが、まだ奥があるのにびっくり。まったく記憶になし。



若草山の山腹から頂上への登山道は山腹左端の林の中 15分ほどで尾根筋 一の丘へ



一の丘からの大和平野の展望 若草山は大和平野眺望一番の展望台 2010. 6. 11.

南から北へ 青垣・吉野・金剛・葛城・信貴・生駒 そして山城と続く山々を背に 180度大和平野の大パノラマ



一の丘を登って 二の丘へ 2010. 6. 11.



二の丘から一の丘越しに大和平野



二の丘からは谷越しに三の丘 (若草山頂上部)



二の丘からの眺望 正面に今まで屋根しか見えていなかった大仏殿の建物全体が見える 2010. 6. 11.

二の丘から細い尾根筋を回りこむと展望台になっている三の丘
 若草山頂上部。鹿が山頂付近で阿蘇名で居るのが見える。この山
 上へは 地図見て知ったのですが、裏のドライブウェイを通して直
 ぐ下の駐車場まで、バスでは入れるので 多くの観光客が居る。
 南北に細長い頂上部の北側半分が4世紀末の前期前方後円墳「鶯塚
 古墳」で「枕草子」にもこの古墳のことが記されているというが、
 誰の御陵なのかよくわからぬという。
 この古墳の北の端 後援部の頂が この三の丘の一番高いところ
 で 標高342m 若草山の頂上である。
 この古墳と関係があるのか知りませんが、若草山を下りて北西へ少
 し行ったところが4世紀末から5世紀前半にかけての王墓 佐紀
 古墳群があり、平城京が開かれる前 まだ 奈良の南部に都があった時代から、この地が王城の地であったことが窺える。
 三の丘に登ったところが丘の中央部で ここだけに木々があり、その木陰で鹿たちがのんびり休んでいる。
 ここから北側へ前方後円墳の「鶯塚」で 前方部の入口で 南側には展望台の野原が広がっている。



尾根筋を回りこんで三の丘 (若草山頂上部) へ



南北に伸びる三の丘の中央部 左手北側へ横たわる鶯塚古墳の入口（前方部）
左奥に北側に後円部の頂上部にある碑が見え、またここより南側には展望台の野原が広がっている



鶯塚古墳正面より 墳丘を見る 手前が前方部で奥が後円部 この頂上が若草山頂上である 2010. 6. 11.



三の丘中央部から西側二の丘を眺める

鶯塚の中に入って 墳丘の上を歩いて 墳丘の頂上に立つ。ここが若草山の頂上。
ここからは主に大和平野の北側部分を中心に 360 度の展望が楽しめる
北には奈良への北側の入口 木津川口。
木津から南山城・笠置の山の展望が広がり、直ぐ向こうが 関西線が木津川にそって三重県亀山へ向かう加茂町恭仁京のあった辺りである。
南側には丘の中央部の右手に大和平野が霞んでいる。



鶯塚頂上から南側 丘の中央部から西へ二の丘への尾根

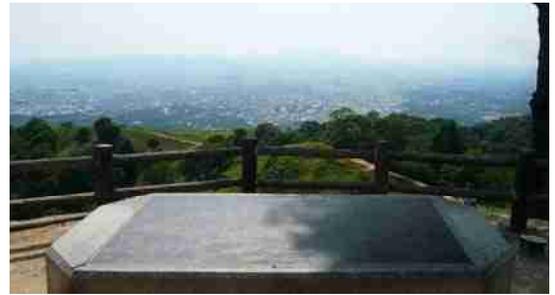


鶯塚頂上より北側 木津川口を眺める

鶯塚を降りて 南の展望台の野原へ。

奥山ドライブウェイの駐車場から東側の縁かを通って中央部に出る遊歩道があり、ここから観光バスでやってきた一団が大和平野の案内板と首つききで 西側に広がる大パノラマを眺めている。

こんなに素晴らしい大和平野の眺望が見られるとは本当に知りませんでした。



若草山頂上部 三の丘展望台からの大和平野の眺望

2010. 6. 11.

明日香 大和三山 青垣・吉野と金剛の間の紀ノ川・吉野川口 大和平野正面 金剛・葛城と生駒の間の大和川口
そして 北側 生駒と山城の間の淀川・木津川口 大陸・西日本から古代奈良へ入る3つの口がそのまま見られる絶好の場所。
関西の人も良く知っているようで知らない場所。「若草山」

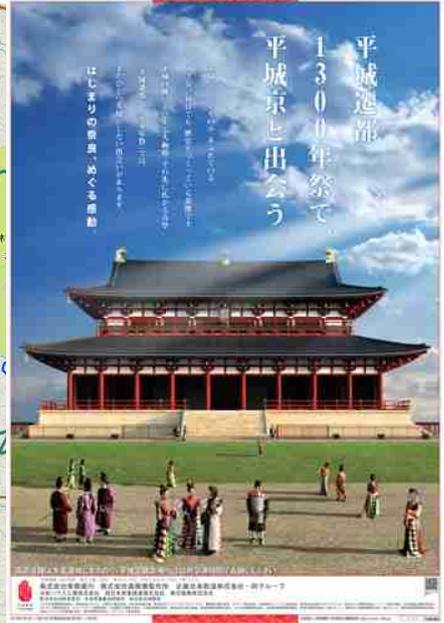
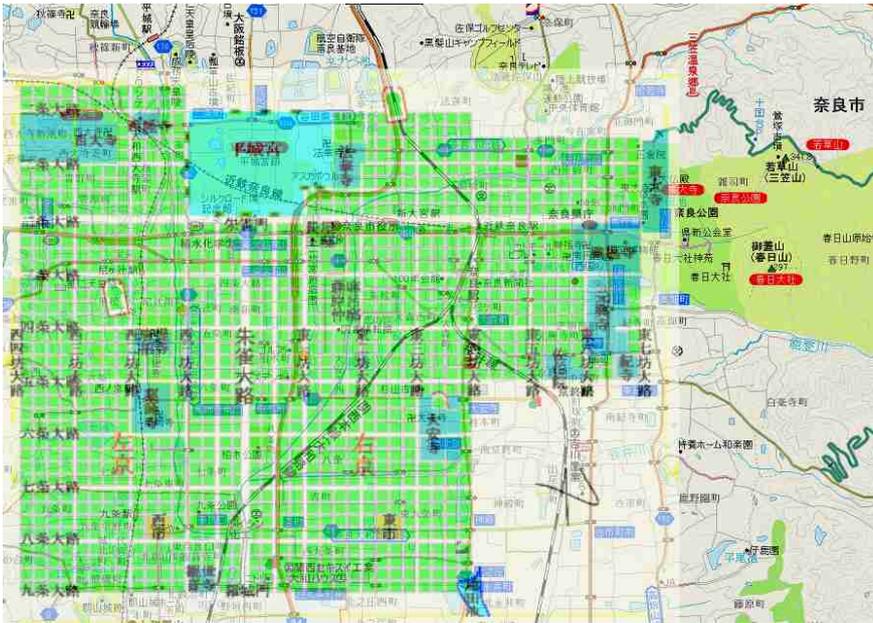
新潟からやってきたという初老のご夫婦 また 東京からやってきたという若い人たちみな異口同音

「奈良にやってきて 何とはなしに 若草山登りだしたのですが、こんな素晴らしい景色が見られて感激」と。

「大和は国のまほろ場」 ぼんやりと大和を眺めながら、古代のロマンを思い浮かべるには絶好の場所でした。



3. 平城遷都 1300 年祭 平城宮跡 復元朱雀門と大極殿



現在の奈良の地図に正確ではありませんが 平城京の大きさを重ねました

平城京 平城宮・大極殿

平城京は現在の奈良の町の西方にあり、710 年元明天皇が藤原京より遷都してから桓武店頭が長岡京に移るまでの都で、唐の都長安に習って作られ、東西約 4.3 キ。南北約 4.8 キ。の規模で東西・南北に規則正しく並べた道路で 碁盤の目のように区切られていた。

平城京北端中央に 天皇の住処や政治や国家的儀式を行う政庁などがある大内裏（平城宮）があり、貴族役人の住まい・大寺院などが建ち並び、庶民の住む茅葺の家や田畑も広がっていた。そして、都が長岡京にうつると次第にさびれ、農地になっていった。

平城京のメインストリートは、京の南門である羅城門から北にまっすぐにのびる幅約 74m の朱雀大路。朱雀大路をはさんで西側を右京、東側を左京と呼ぶ。左京には北の方で東にさらに張り出しがある。

平城京の住民は 4~5 万人とも 10 万人ともいわれますが、天皇、皇族や貴族はごく少数の百数十人程度で、大多数は下級役人や一般庶民たちだったといわれる。

朱雀大路の北端には朱雀門がそびえ、朱雀門をくぐると天皇の住居であり政治や国家的儀式を行う平城宮で、周囲には大垣がめぐり、朱雀門をはじめ 12 の門がありました。また、内部には政治・儀式の場である大極殿・朝堂院、天皇の住まいである内裏、役所の日常的業務を行う曹司、宴会を行う庭園などがあつた。内裏は、奈良時代を通じて同じ場所にありましたが、奈良時代前半に朱雀門の真北にあつた大極殿（通称、第一次大極殿）は、740 年恭仁京に都が移り、難波京、紫香楽京と転々とした後 745 年に平城京に再び戻ってきた時 東側の区画に建てられた（通称、第二次大極殿）。



現在 文化庁による「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想」に基づき、遺跡の整備・建造物の復原を進められ、第一次大極殿（2010 年竣工）・朱雀門（1998 年竣工）・宮内省地区・東院庭園地区の復原が完了。平安遷都 1300 年に当たる 2010 年（平成 22 年）4 月 23 日 旧暦 3 月 10 日、第一次大極殿の完成記念式典が行われ、よく 4 月 24 日より 11 月 7 日まで、この平城宮・大極殿をメイン会場に奈良県各地で平安遷都 1300 年祭が開催されている。

若草山を降りて午後 3 時過ぎ 平城宮跡へ向かう。
朝 電車から見た平城宮跡には大勢の人やバスが
つらなっていたが、夕方近く 人ごみも減って、ゆっ
たり見られるだろう。

奈良の山々を背景に遮る物のない緑の野っ原に真っ
赤な朱雀門・大極殿が建っている。 また、大極殿
の屋根の向こう生駒連山の肩に沈む夕日が見られる
かもしれない・・・と。

近鉄西大寺駅で降りて 東へ線路沿いの道を引返
す。「今から行っても 4 時までで もう建物の中
に入れんよ。」と道々に立つ警備・案内に立つ人に教え
てもらおうが、イベントを見に行くつもりなく 平城
宮の野原をゆっくり歩いて、私にとっては好都合で
した。

やっぱり 一番南の朱雀門から入って真っ直ぐ北の大極殿へ行って北側から帰ろうと線路の南側平城宮の一番南側に廻って玉手門から入って駐車場を抜けて 朱雀門へ。

近鉄の線路の南側手前半分は車やバスの大駐車場・バスセンターになっていて、その南側に真っ赤な朱雀門。其の向こうから、線路の北側にかけて 広大な野原が広がり、 其の一番北に大極殿が見えている。

バスセンターの南側の端平城宮歴史館建物手前に遣唐使船が復元展示されているのが見えるがもう閉館しているので、そのまま朱雀門へ向かう。

歩く道の両側はがっしり縞々模様の交通整理の三角帽子と縞々棒で規制されていて、この道以外に歩けない。

ガチガチの歩行規制。まあ こっちは車との共存なので仕方ないのですが、線路の北側の平城宮の広い野っ原にもこの縞々模様で歩行規制され、どこを見てもこの強烈な 赤白や緑白の縞々模様が、眼に入って閉口する。



駐車場越し北の大極殿



復元展示されている遣唐使船



西側から朱雀門 背後に若草山が見える



若草山を背後に近鉄特急が平城宮跡内を走り抜けてゆく



朱雀門

平城宮 近鉄線路の南側 2010. 6. 11.

雑踏の人並みが消え ゆったりと平城宮の中が歩ける。 平城宮のど真ん中に立って、野っ原の両端に建つ朱雀門と大極殿の
写真を撮って帰ろう。そして ここを走り抜けてゆく阪神なんば線の電車と大極殿の写真にもトライしようと北へ向かう。



平城宮の中を阪神なんば線の電車が走り抜けてゆく 北に大極殿が見える 2010. 6. 11.



平城宮 大極殿側から南の朱雀門



平城宮中央（第二次大極殿跡から 東 奈良の山々 中央が薄緑の山が若草山



平城宮 朱雀門側から北の大極殿





平城宮中央（第二次大極殿跡から 西側 大極殿 2010. 6. 11.
大極殿の上にはうっすら生駒山がかすんでいるのですが、逆光で写らず



大極殿南門前より 生駒山を望む 逆光でかすんでいる 2010. 6. 11.



大極殿 南門前より 西側 2010. 6. 11.



大極殿 南東より



復元大極殿の東側 第二次大極殿跡より南側



復元大極殿の東側 第二次大極殿跡より西側から北へ 正面生駒山



復元大極殿の東側 第二次大極殿跡より東側 正面 若草山



復元大極殿の東側 第二次大極殿跡より北側 内裏跡

ゆっくりと平城京の中を南から北へ 立ち止まったり 振り返ったり デジカメでパチパチやりながら約1時間 平城宮を楽しみました。 朱雀門と大極殿とがそろうと平城京が本当に真っ直ぐ南北の軸を中心に造営されたこと、また その東西に聳える若草山と生駒山の山並みの中にすっぽり納まっていることも。そんな遮る物のない野っ原の緑の中に赤い大きな古代建造物が建っている。頭にえがいていたイメージどおりの光景が見られて本当に満足。
これから さらに この中に次々奈良時代の建造物が復元されていくというのも楽しみ。



大極殿の北側に出て 西の広い道を西大寺駅へ下ってゆく もう夕方 日が傾きだした 2010. 6. 11.



復元大極殿の北西側から 南の朱雀門を眺めながら帰る 2010. 6. 11. 夕

久しぶりの奈良にどっぷりつかった1日 平城遷都 1300 年祭を楽しんで帰りました。

「大遣唐使展」もおもしろかったし、若草山の頂上からの展望の素晴らしさも。

旧の名前が三笠山だと後で思い出しましたが、「国のまほろば 大和」全体を眺める素晴らしい展望台であること 本当には知りませんでした。 ならや生駒の山々をバックに朱雀門・大極殿がのっばらの緑に建つ平安京 古代ロマンを掻き立てる写真もピンボケながら撮れました。

ただひとつ 気になりましたのは 平城宮の中の歩行規制に使われた縞々の三角帽子の多さには本当にびっくり。

車の通らぬ内部一杯に張り巡らされた縞々模様 復元された建物のまわりにも。。。

車が通らぬ中にど派手な規制具が居るのかと首を傾げました。

どうも平城宮跡の野原はイベント会場への道としてしか考えられていないのではないかと。。。

この野原が 1300 年前の平安京を思い起こさせるロマンの景色と考えているのは私だけだろうか。。。

奈良の古代のロマンを求めてやってくる人のイメージとはかけ離れたイベント主義。

奈良の人はどうおもっているのだろあか。。。

「そんなことというのは お前だけ」やと言われそうですが、 でも 奈良の観光の姿勢が見えますよ。。。

気持ちのよい奈良が低俗なイベント主義にならぬよう。

また、古代のロマンを奏でるこの場所が奈良のみんなが楽しみにする祭の場に発展できれば、よいのになあ。。。

京都御所が四季を通じて京都市民に愛され、親しまれているように。

ここから東大寺大仏殿や若草山をつなぐ道を使った沿道の人達みんなが参加する祭が展開されれば、この復元大極殿も生きるのに。。。とつい いらぬお世話の一言。

平城遷都 1300 年祭の奈良を久しぶりに訪れて 帰路 神戸への直通電車の中で

2010. 5. 11. by Mutsu Nakanishi

9. 【写真アルバム】 ひまわりの夏 2010.7.20.

西播磨佐用 旧南光町林崎・漆野のひまわり畑で



ひまわりの夏 暑中お見舞い申し上げます

昨夏の集中豪雨災害に見舞われた千種川の河岸段丘域
それを乗り越えて 今年も千種川の河岸段丘を埋め尽くすひまわりが咲きました。

数々の困難の中にある方々 そして 全地球人に
一日も早く、平和と安寧の日々が訪れますように

地球人もろもろの思いと願い
今年も「平和」への願いを
明るく太陽に顔を向ける「ひまわり」に未来を話したい。

本当に猛烈な暑さの夏 体調管理にご留意ください

2010. 8. 5. Mutsu Nakanishi

1. 西播磨佐用 旧南光町林崎・漆のひまわり畑で



西播磨 佐用 旧南光町林崎のひまわり畑で 2010. 7. 20.



2. 林崎から 千種川沿いを少し遡って 播磨風土記たたら郷 漆野・西下野で



西播磨 佐用 旧南光町 千種川沿い 漆野のひまわり畑で 2010.7.20.

10. 【写真アルバム】 京都堀川 京の七夕 2010. 8. 13.

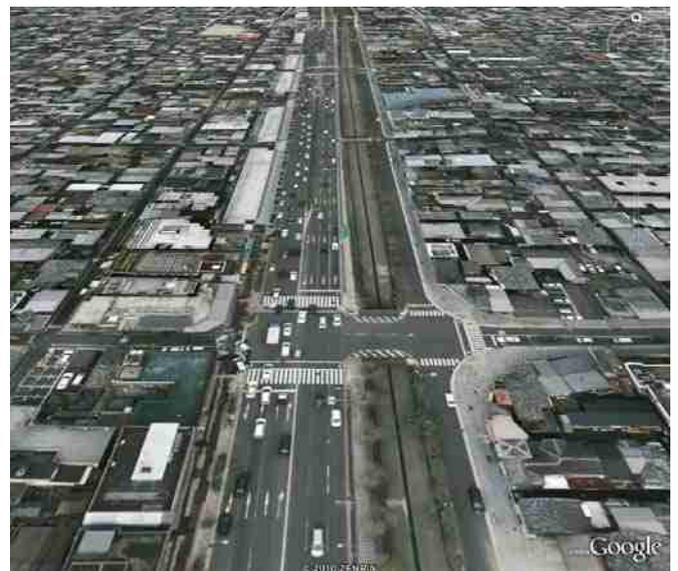
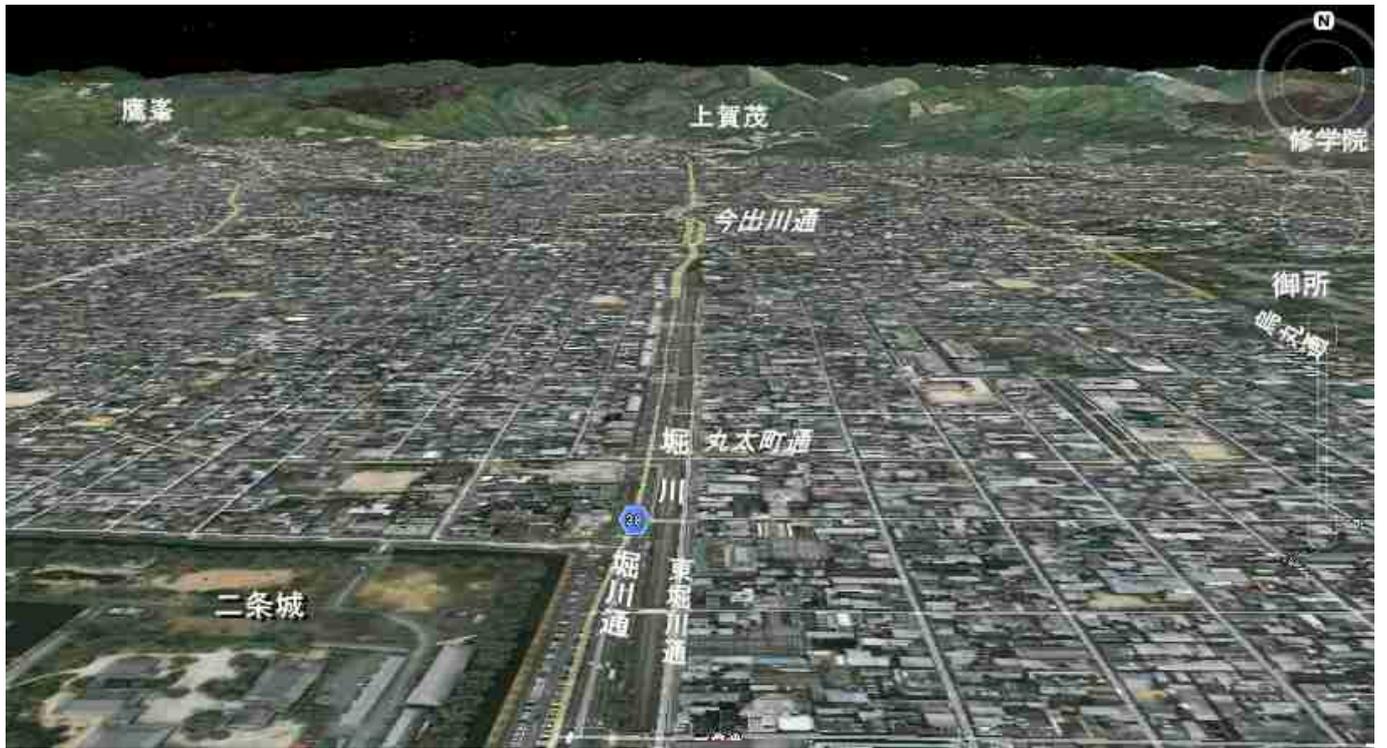


旧暦の「七夕」に当たる8月6日～15日までの夜、京都堀川の河川敷を散策路とする「京の七夕」のイベントが本年よりはじまった。

真っ暗になった堀川の散策路の空に多数のLED電球で再現された天の川、そして七夕飾りで飾られた遊歩道脇には堀川に放流された青い玉画流れくんだり、友禅流しの布がゆれる幻想的な光のページェント。

8月13日の夕刻 お墓参りの帰りに京都堀川の「京の七夕」を楽しんで帰りました。





「京の七夕」の会場は堀川通沿い堀川の河川敷〔二条城横の御池通から今出川通まで〕と聞く。

京都の中央を南北に貫く幹線道路堀川通沿いの堀川。「堀川」といっても、通りに沿って凹状に深く掘り込まれた人工河川に近い状態で、車で何度も通るが、川底は見えず、確かほとんど水は流れていなかったが、堀川通からは数メートル下に川底があり、降りる道などなかったように思う。最近の「堀川」について とんと覗き込んだ記憶がない。

私の学生時代には二条城に面して京の南北を結ぶ広い幹線道路堀川通の東側 柳の木が風になびく堀川の東側 町屋が建ち並ぶ東堀川通を京都駅と北野白梅町を結ぶ日本最初のチ



水の流れる堀川 (昭和36年)



整備前の堀川 (平成18年)

かつての堀川のイメージ インターネットより

ンチン電車がのんびりと走って、京の新旧が見られる格好の場所だった。其の当時から掘割状の川で 川に降りられるなどのイメージはなかった。堀川の河川敷は掘割の壁で周りと隔てられているので、夜空を眺める散策路としては絶好だろうが、そこが会場といわれるとピンとこない。それにも興味津々である。

インターネットなどで調べてみると

堀川は かつては京都市街地の北西端の船岡山の東麓から流れ出し、京都の中央を南北に流れ下る小さな川であったが、平安京造営の時に、細目を運ぶなど物資輸送の運河として整備され、農業用水・友禪流など京の生活にはなくてはならぬ川であった。しかし、現代の市街地発展と共に川としての役割を終え、現在では今出川通より北側と御池通より南側が暗渠となり、其の間だけがオープンになっている。そして 周辺市街地の雨水だけを流すだけの川となり、コンクリートで固められた河床には水がほとんど流れていない状態で、京の街と切り離され、ほとんど京都の人からも川のイメージが消えていった。

京都市では 2004 年からこの堀川のオープン部分 4.4 キロを改修して 流れをとりもどし、市民が親しめる川べりにする事業を推進。

今では 琵琶湖疏水の水を賀茂川を越えてこの堀川に注ぎ込ませ、川床に幅 1~2 メートル 水深約 15 センチの水路を設け、堀川の岸から川床に降りる道と共に滝や橋広場を整備し、堀川の川床散策路を 2009 年に完成させ、堀川のイメージを一変させ、市民の親しめる空間が出来上がっている。

車で通るだけでは まったく知らなかった堀川の変身。「こんなに風に堀川がかわっているのか・・・」と。

車で通るだけでは まったく知らなかった堀川の変身。「こんなに風に堀川がかわっているのか・・・」と。



素晴らしい川べりが回復された堀川での「京の七夕・ 天の川・ 光のモニュメント」 本当に楽しみです。

「京の七夕」 堀川川床散策路で 2010.8.6 - 8.15.

- 1. 願い七夕と 堀川を流れるいのり星** 小学生が幼稚園児が書いた 短冊を飾りつけた 笹飾り LEDが内蔵された 香い浮き球が 堀川の 流れを 幻想的なものに
- 2. 光と竹のアート** 全国から募集した 光と竹の 作品の 展示
- 3. 光の友禪流し** かつて堀川で行われた 友禪流しを 光の中で 再現
- 4. 光の天の川** 祈り星が 流れる 堀川の せせらぎを またいで 竹の 巨大モニュメントが ライトアップ その 上部に うえつけられた LEDが 真っ暗な 空に きらめく 天の川を 浮かべ 上がらせ、 天の川 の 両側には 織姫と 彦星も

墓参りを済ませた8月13日夕刻、堀川北大路から堀川通を真っ直ぐ南へ下ってゆくバスに乗る。

今出川の交差点過ぎて、堀川が道の右手に現れてくるが、いつもと特に変わった様子もない。まだ明るく、堀川端の人も少ないし、大きなイベントがあるようにも見えない。 目を凝らして堀川を眺めながら、少し行くと、堀川の中に人やイベントの飾りがちらちら。下立売のバス停でバスが止まると本と堀川の川底に多くの人が居るのが見える。あわててここでバスを降りて、堀川の橋の上に行くと川底には人がぎっしり。

7時に堀川の川床にセットされた七夕飾りのイルミネーションが点灯されるのでそれを待つ人で一杯。

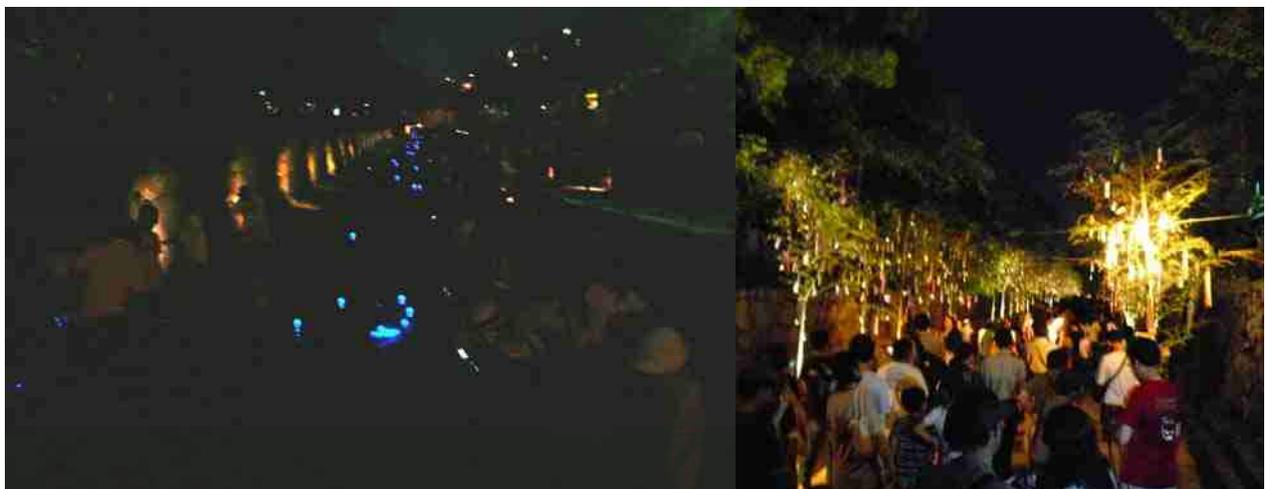
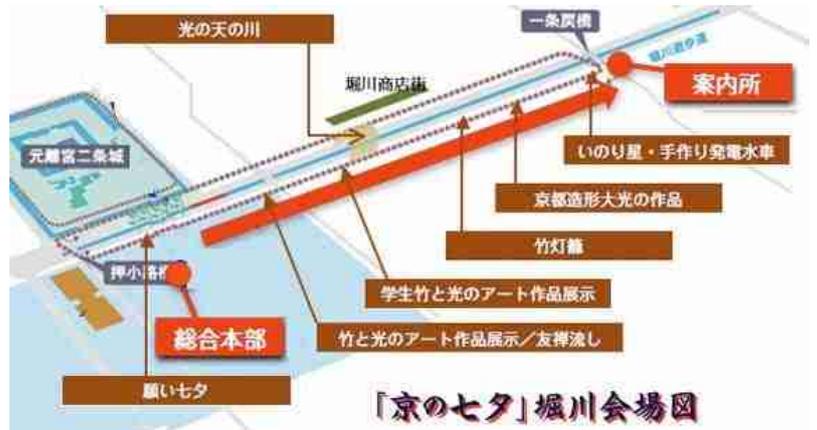
堀川の川床に作られた七夕会場へは 堀川の川底に下りなければ成らないが、一番南側の御池通からの入口から川床に降りて北の今出川通まで七夕会場を散策する一方通行になっていて、途中の橋から川底へ降りる道はすべて閉鎖されていては降りられない。川沿いをぶらぶら南へ下って 押し小路の橋のところから堀川の川床の散策路に降りる。



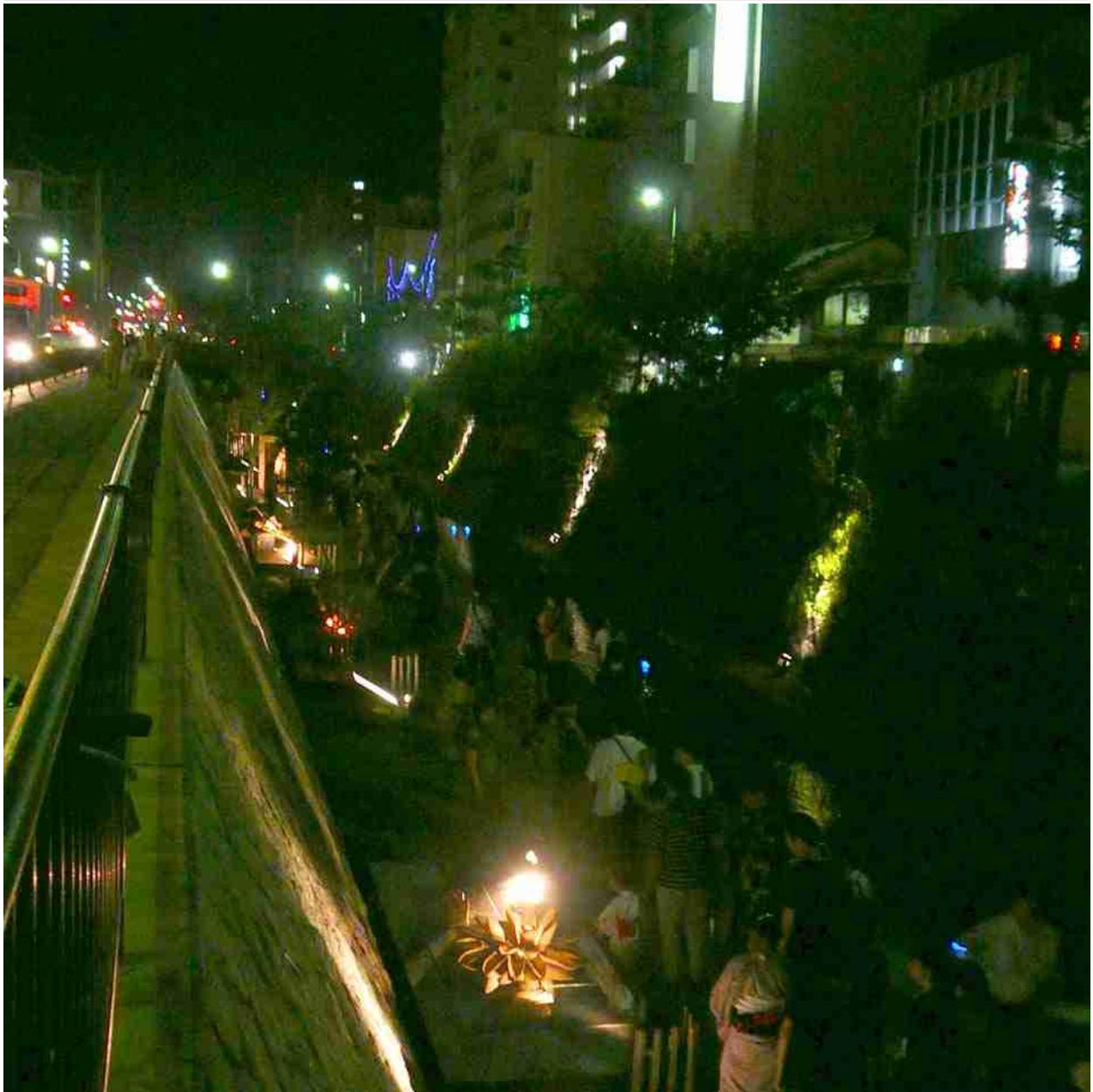
あたりも真っ暗になりかけたちょうど7時七夕飾りに一斉に灯がともり、「京の七夕」が始まり、待ちかねたようにみんな七夕飾りの中を北へ歩き出す。

川床の中央の小さな水路には青いLEDが仕込まれた球「祈り球」が次々と流れ下ってきて、一層幻想的な雰囲気をかもし出す。

ここから約2キロ上流側の今出川出口まで、数々の七夕飾り・天の川や友禅流しや数々の光のイルミネーションがしつらえられている。



堀川の川床 青いLED球が流れ、七夕飾りなどを眺めながらの散策 「京の七夕」のスタートです



堀川の川床のプロムナードを舞台に行われた「京の七夕」

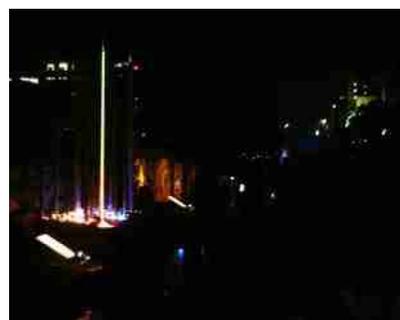
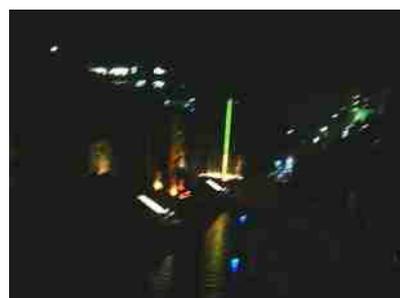
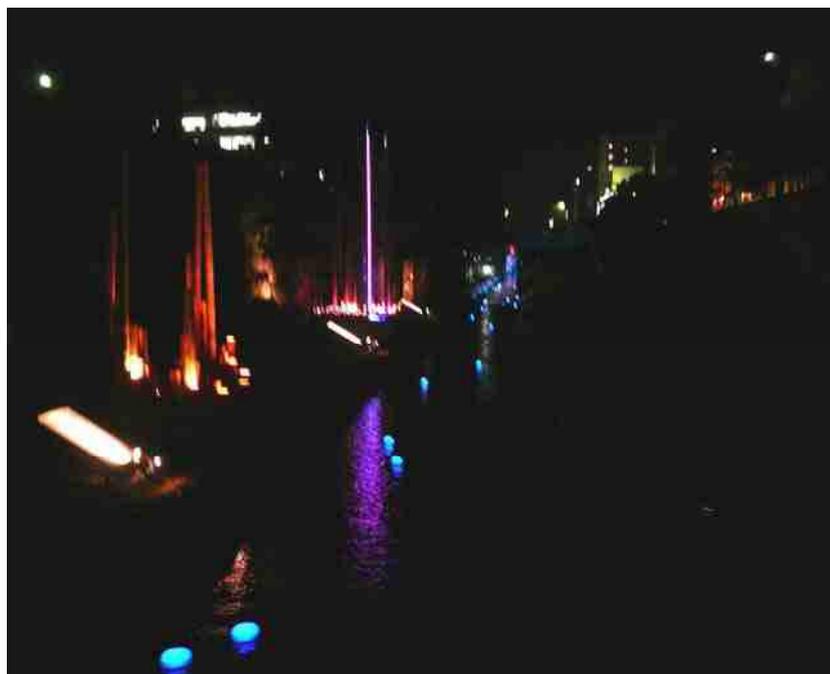
2010. 8. 13. 堀川で



京の七夕飾り

2010. 8. 13.

京の七夕 堀川会場で



竹と光のアート作品

2010. 8. 13.

京の七夕 堀川会場で



堀川での友禅流し

2010. 8. 13.

京の七夕 堀川会場で



堀川での友禅流し

2010. 8. 13.

京の七夕 堀川会場で



堀川の川床からながめる市街地と堀川の流れ



光の天の川 空には光の天の川 足元にはLEDの青い球が流れます 2010. 8. 13.



光の天の川 空には光の天の川 天井には織姫と彦星が輝いていました 2010. 8. 13.



毎日暑い日が続いて、水が恋しくなって、飛沫ほとばしる滝が無精に見たくなって、8月26日晴天の朝 新神戸の「布引の滝」へ出かけました。
 そして、布引の滝の上にある布引ハーブ園からもう 十数年歩いていない麻耶山頂へ。神戸で天狗道と呼ばれ、昔から歩き継がれてきたポピュラーなハイキングコースである。
 佛りは、ロープウェイとケーブルを乗り継いで山を降りて 新神戸までの布引・麻耶山の周回ハイキング。

布引の滝は 新神戸駅からほんの15分ほど 緑に包まれた深い渓谷の中 自然の音と風が心地よくハーモニーする垂直の岩壁の大滝。ここは「神戸ウオーター」「六甲の水」の故里。この渓谷から上の布引ダムまでは重要文化財の煉瓦と石作りの水源施設が緑の中に埋まっている。

そして、小さなコンドラが幾つもこの谷筋をわたって行く先には布引ハーブ園。そして そこから 六甲全山縦走路の天狗道に入って 稲妻坂から十数年ぶりに行った麻耶山頂上へ。神戸の市街地からはケーブル・ロープウェイを乗り継いでその頂上に立つことも出来る。麻耶山山上 掬星台(きくせいだい)からの大阪湾の展望は六甲一の呼び声も。



布引溪流を流れる川は、大地がずれ動いて出来た断層に沿って流れている。
 とくに雌滝・鼓ヶ滝を通る直線状に伸びた南北方向の断層と、その上流および下流の東西方向の断層が交じりあった場所では、大きく流れが変わっている。
 布引の滝周辺の地図を見ると、コの字・Lの字に曲がった直線状の川が見える。
 布引滝を抜けたすぐ上流の布引ダムの直ぐ横では、この布引断層の路頭が見える。
 また この水は古くから 神戸の飲料水 滝の直ぐ下で取水され、上の浄水場に戻され、神戸の水道水となる。
 この布引貯水池をはじめこの布引渓谷の取水設備群は明治 33 年から今に続く施設で国の重要文化財。関西では誰もが知る「神戸ウオーター」「六甲の水」である。
 雌滝の滝壺横にあるドーム屋根・石積み建物は、国指定重要文化財の雌滝取水堰堤。取水堰堤では現在も水をくみ上げている。



布引断層で地形がコの字に折れ曲がる布引渓谷



国の重要文化財 布引渓谷・布引ダム沿いの煉瓦積・石積み取水・分水堰堤等の水源施設群

布引滝の直ぐ横の遊歩道から上へ 木々の間からか今見える雄滝をながめながら、深谷の東岸の崖を登りきると雄滝茶屋があり、そこからは一旦谷を離れて東に尾根を越えて、遊歩道が尾根筋を登ってゆく。少し登った東側のところで、森をぬけ、ぱっと視界が開け、南側に神戸の市街地が一望。布引展望所。



布引の滝野の上にある布引展望所から眺める神戸の市街地 2010. 8. 26.

展望所からは また、緑の中に戻って、布引谷に戻って、谷を遊んでゆくと、見上げる空には 新神戸ロープウェイの小さなゴンドラが谷を渡るののが見え、程なく 石造りの布引ダムの地境が見えてくる。ほんの直ぐそこに 神戸の市街地があるのですが、本当に静かな森の中、緑に包まれて 布引ダムがありました。新神戸駅からここまで、ゆっくり滝と森林浴を楽しみながら約1時間ちょっと 標高 220m 標高差約 150m ほどを気持ちよく登ってきました。



皇委文化財 神戸ウォーターの源 布引貯水池 2010.8.26.

布引断層

貯水池のフェンスまで登って前の崖をよく見て下さい。岩石がたては深く掘り込まれていますが、これが断層です。断層は大地がずれ動いたとき、岩石が押しつぶされてできた裂け目です。何枚もくり返され、岩石は粘土化してしまいました。

ところで、この断層はどちらの方向に傾いているかわかりますか、矢印の方向を向いてみましょう。池の向こうに谷が深まります。水の浸食で弱い断層がけずられてきた谷です。もし、あなたが崖の断層と谷を結ぶ峰上に立つならば、この布引断層のま上にいるわけです。

神戸市建設局公園緑地部森林整備課 078-371-5937



五本松かくれ滝

五本松かくれ滝は、布引谷の奥深くにあり、周囲は鬱蒼とした森林に囲まれています。滝は、大きな松の根に隠れており、見つけにくい場所です。水は、岩を流れて、静かに谷に落ちています。周囲の空気は、とても清々しいです。



布引ダム五本松堰堤の直ぐ東岸の山際に 布引断層の露頭が見られ、その壁に沿って、生田川とダム湖の分水堤が布引谷の隠れ滝の方へ伸びている。

布引断層の上に築かれた布引ダム と 布引ダムの露頭

2. 布引ハーブ園

布引ダム湖の東岸沿いをよく整備された平坦なハイキング道を北へ。西の再度山から市原を通過して 摩耶山から六甲へ向かう六甲全山縦走路・天狗道に出て東へ摩耶山へ向かう。ダム湖の上流へ出たところで 市原からハーブ園の中に入る道があり、やっぱり、行った事のないハーブ園に寄り道してから摩耶山に向かうことにする。(ハーブ園には五本松壇堤の直ぐ近くから東側の山の上にあるハーブ



布引ダムからロープウェイが渡ってゆく東側の山へ登ると 布引ハーブ園

園への道がついている) 湖岸沿いの尾根の上につけられた広い道を南へ15分ほど引返すと 視界が開け、海側が見渡せるハーブ園の南端 ロープウェイ風の丘駅。そして ここから見上げる南斜面一杯に遊歩道がよく整備されたハーブ園が広がり、一番頂上までロープウェイが伸びている。

神戸の市街地から見上げる布引ハーブ園の遠望からすると以外にも広いハーブ園にびっくりでした。



布引ハーブ園 風の丘駅周辺 山の南斜面一杯にハーブ園 振り返ると神戸の港が一望 2010.8.26.



布引ハーブ園 ハーブ園頂上駅周辺 2010.8.26.

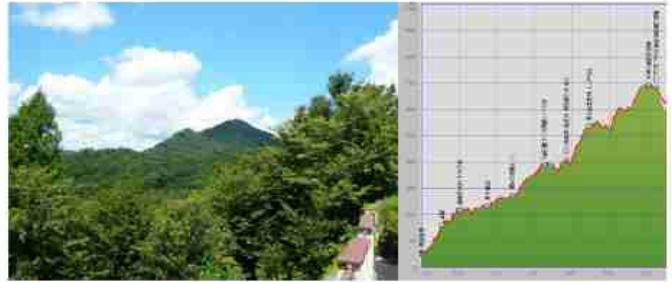


3. ハーブ園から天狗道を通して 摩耶山頂上へ

ハーブ園頂上駅の建物の直ぐ裏から、六甲全山縦走路へ合流する登山道が通じていて、そこから約1時間半ほどで摩耶山の頂上へ。

標高約400mのハーブ園頂上から標高698.6mの摩耶山頂上まで、ほとんど視界の効かない林の中 アップダウンの天狗道。稲妻坂・ゴロゴロ道の名がつくこの道、ほとんどトレーニングしていない身で ちょっと疲れました。

もっと 気楽に登った記憶があるのですが・・・。



ハーブ園を出てまもなく 全山縦走路との合流点、稲妻坂入口周辺



稲妻坂入口周辺 鉄塔下から 通ってきたハーブ園・菊水山が遠くに見える

六甲全山縦走路の中でも最大の難所といわれる稲妻坂 登るのはやっぱりきつい



全山縦走路 稲妻坂を摩耶山へ

稲妻坂から旧学校林道との合流点(標高555m ビーク)へ



稲妻坂から旧学校林道との合流点(標高555m ビーク)にある六甲全山縦走路・天狗道周辺の案内板



市原から地蔵谷を上げてきた道との出会い、摩耶山はもう直ぐ



神戸市街地遠望



西六甲 須磨の山々から淡路島遠望

旧学校道が合流してくると摩耶山は近いと思うのですが、中々摩耶山に近づかない。「このビークを越えたら摩耶山」と何度も思うのですが、アップダウンを繰り返して幾つかのビークを乗り越えたとこの縦走路の西側に平行する地蔵谷を登ってきた道が合流し、摩耶山は本当に直ぐ。

まもなくボンと摩耶山山上部のドライブウェイに飛び出し、右手にこの道をとれば、摩耶ロープウェイの頂上虹の駅の成る摩耶山の頂上展望台・御皇台 [きくせいだい]。また 道標にしたがって この道をクロスして少し林の中に入ると摩耶山山頂 398.6mの三角点でした。



摩耶山産上部のドライブウェイ周辺

この摩耶山頂上へは六甲山からの山上ドライブウェイが通じ、六甲山上周遊バスが走っている



神戸市方ドル夜景一番のビューポイント 南側眼下には素晴らしい神戸から大阪・東灘にいたる大阪湾の大パノラマが遠望される
摩耶ロープウェイの頂上紅の駅の成る摩耶山の頂上展望台・掏星台〔きくせいだい〕 2010.8.26.

4. 摩耶山の頂上展望台・掏星台〔きくせいだい〕からの展望



耶山の頂上展望台・掏星台〔きくせいだい〕からの神戸市街地・大阪湾の展望 2010.8.26.

5. 摩耶山頂から ロープウェイ・ケーブルを乗り継いで 神戸市街地に降る



摩耶山ロープウェイ 山上虹の駅から 摩耶山中間駅星の駅へ



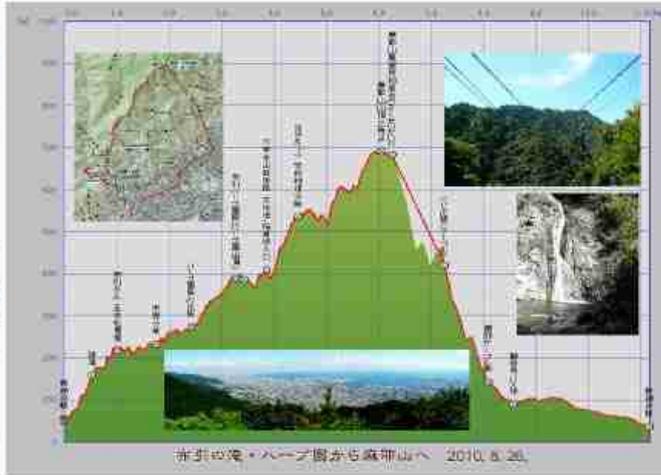
摩耶山ロープウェイ 虹の駅から中間駅星の駅へ



摩耶山ケーブル 星の駅から摩耶山ケーブル駅(神戸市街地)



摩耶山ケーブルから神戸市街地展望 2010.8.26.



12. 【写真アルバム】 花で追う2010年の秋 小さい秋みつけた



2010.11.5. by Mutsu Nakanishi

暑い夏がながびいて 秋が来るのかなあと 季節感の乏しかった今年の秋
花の咲くのが 待ち遠しかった秋ですが、あつというまに 木枯らし一号
そんな秋でしたが ことしも 花の秋を訪ねました



1. 山田錦の郷 三木市吉川 2010.9.6.
灘の酒蔵の旗がはためく実りの秋
2. 新しい兵庫の蕎麦の郷 2010.10.1.
加古川市志方町野尻・小野市小野町
3. 稲穂が揺れる田圃の畔に彼岸花 2010.10.1.
加古川市志方町で
4. コスモスの郷 志方町 2010.10.13.
加古川市志方町広尾西・東中のコスモス畑で
5. 一足早い紅葉 2010.10.17.
信州 蓼科中央高原で

花の景色が一つ一つ 本当に里山に溶け込んだすばらしい風景で、やっぱり 出かけずにはおれない秋
今年は 長野出身の大学仲間が企画してくれた信州同窓会ツアーで 思いもかけず 訪れた小学唱歌【故郷】の郷で
「故郷」「おぼろ月夜」「紅葉」など次々と流れてくるメロディーに乗せて 口ずさんだのも好い思い出
自然の風景の中で口ずさむ小学唱歌 なにか 忘れていたものを取り戻した気分
里山の秋の花の景色には そんななごみの楽しさがあるように思えます。
いつも 季節にかかわらず 出かける神戸の西 西播磨の田園地帯で見つけた小さい秋
Pdf 写真ファイルとパワーポイントのスライドにまとめました。



東播磨の実りの秋 三木市吉川 & 加古川市志方周辺で



東播磨 加古川市志方町周辺で 蕎麦の花とコスモス

1. 山田錦の郷 三木市吉川 灘の酒蔵の旗がはためく実りの秋 2010.9.6



「籾の酒米 山田錦」の郷 三木市細川町垂穂 2010.9.6.



図3 三木市の地形



酒米の王様「山田錦」

合併で三木市の一部になった「吉川町や吉川町」一帯は酒米の王様「山田錦」の産地。多くの部分が「特A地区」に指定されており、「酒米買うなら土地を見て買え」と言われている。

<よい酒造り米の特性>

- 米粒、軟質である
- 浸漬において吸水性がよい
- 米粒が「外硬内軟(かいこうないなん)」となり、手触りに弾力がある
- 粒の硬種(はぜ)込みがよい
- 胚芽や胚中で溶け、消化性が高い
- タンパク質が少ない
- 酒質が良い

山田錦は、新米よりも大粒で粒練りがよく、中心部に心白が大きいのが特徴。山田錦の誕生以降、この米に轉る品種は生まれていない。

現在、山田錦は全国各地で栽培されているが、山田錦の誕生の地である兵庫県山田錦は、その中でも格別の扱いを受け、栽培地域の歴史の経緯とその地質や地形によって品質の山田錦を生産する地区がA地区、B地区、C地区の3区分指定されている。

「特A地区」というのは、「AのA」である。おなじ三木市の吉川町と吉川町、東条市の一帯、酒造メーカーにとって兵庫県産の山田錦(特に特A地区のもの)はのどから手を出して欲しがる酒米。しかし、これまでの実績により割当を受けています。また特A地区になると「村米制度」が残っているため、買い付け者が決まってしまうという。

(ちなみに、兵庫県産の山田錦の買い付け量全国1位は朝霞、また、特A地区産の山田錦の買い付け量全国1位は龍力。)



山田錦の郷 三木市細川町垂穂



2. 新しい兵庫の蕎麦の郷 加古川市志方町野尻・小野市小野町 2010.10.1.



2010年秋 兵庫の蕎麦の郷 播州 加古川市志方町野尻周辺 2010.10.1.





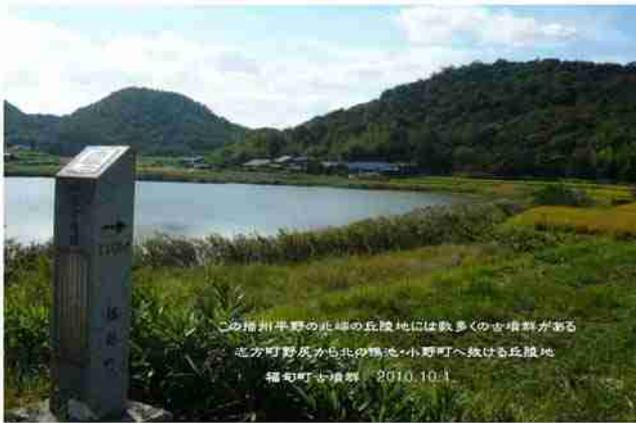
満開の播州の新しい茶畑どころ 志方町野尻 2010.10.1.



茶畑の花 満開の播州の新しい茶畑どころ 志方町野尻 2010.10.1.







2. 稲穂が揺れる田圃の畔に彼岸花 加古川市志方町で 2010.10.1.



2010年秋 兵庫の蕎麦の郷 播州 加古川市志方町野尻周辺 2010.10.1.



3. コスモスの郷 志方町 加古川市志方町広尾西・東中のコスモス畑で 2010.10.13.

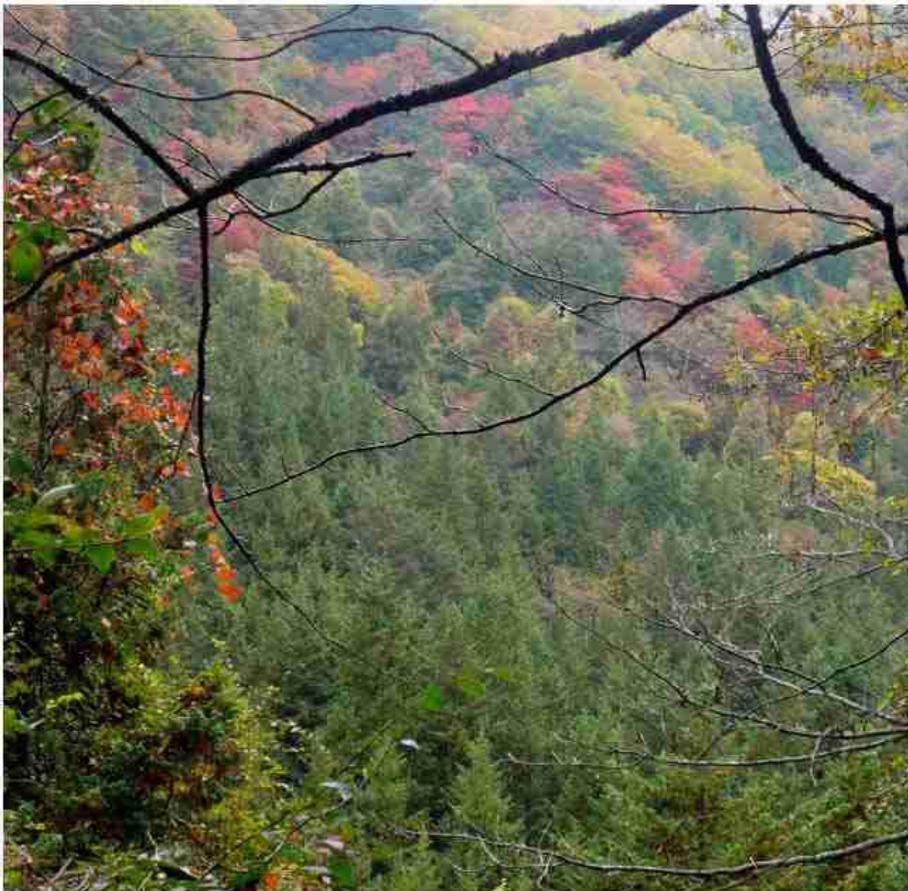




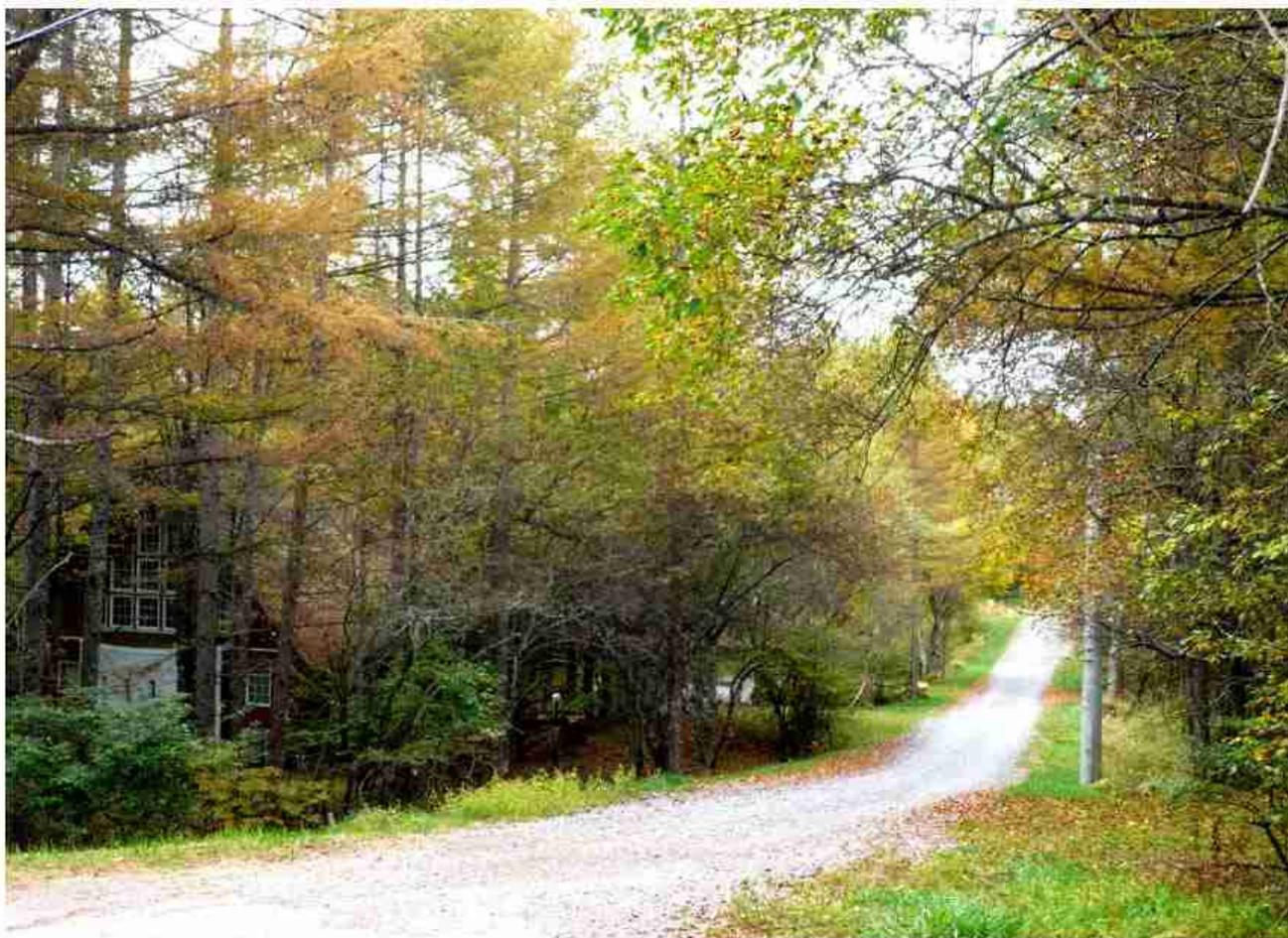
コスモスと蕎麦と 今年はコスモス畑を蕎麦に転作した畑も多く見ました
2010.10.13 東中のコスモス畑で



紅葉の中 琴科中央高原 麦草峠を越えて 諏訪と佐久を結ぶ 国道 299 号線 メルヘン街道は旧諏訪鉄山の鉱区の中を突き進む



紅葉が美しい鉄の赤い谷「横谷溪谷」 2010.10.17.



碓氷中央高原東北の縁の下 渋川上流 横谷溪谷奥 旧諏訪鉄山明治鉦区周辺に広がる別荘地の一角で

紅葉が美しい鉄の赤い谷「横谷溪谷」



オシドリ隠しの滝



王滝



一枚岩



霧降りの滝

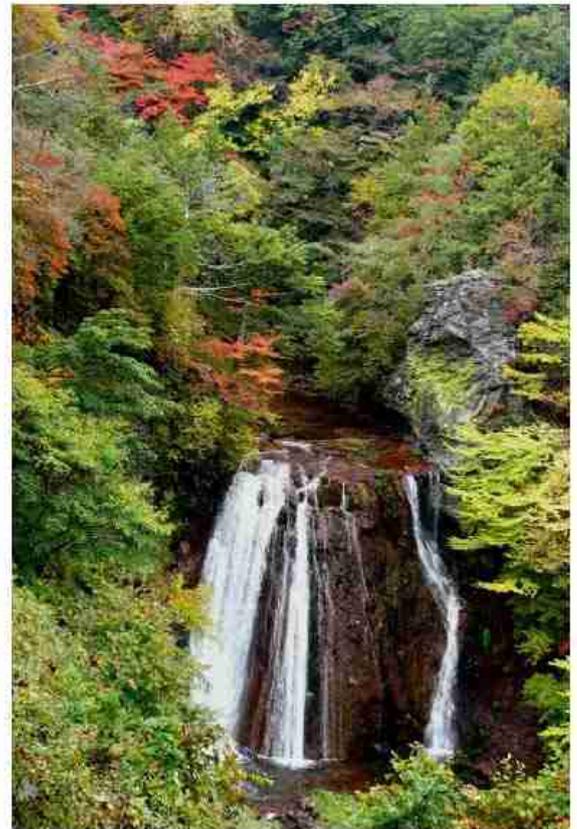


乙女の滝



明治温泉の横にかかる「おしどり隠しの滝」遠望 2021. 10. 17.





酸性の水質で育つチャツボミゴケが河床を緑に染めて 谷の紅葉と相まって 赤い鉄の谷を一層素晴らしい景観に 奥野科 横谷溪谷で 2010. 10. 17.



表面が鉄分で赤くなった岩の間を流れ下るオシドリ隠しの滝 岩壁に点々と緑のチャツボミゴケが張り付いている 2010. 10. 17.



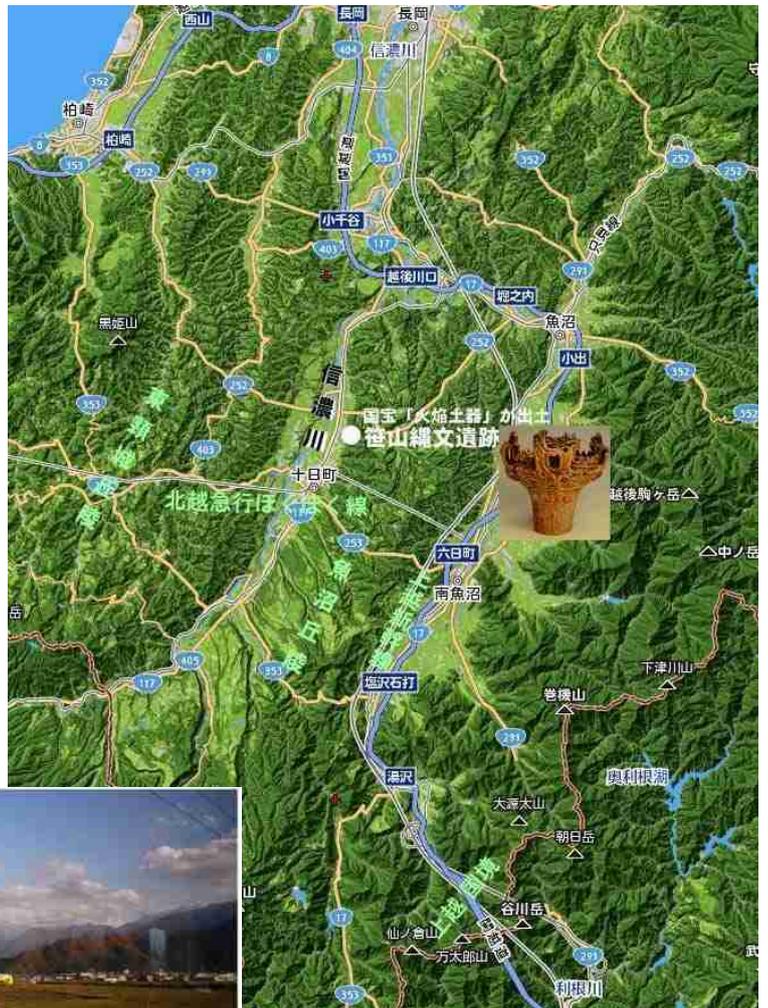
笹山縄文遺跡が埋まる丘陵地より信濃川越しに東頸城丘陵を望む 2010. 11. 17.

日本有数の豪雪地帯 東を魚沼丘陵 西を東頸城丘陵に挟まれた中央の十日町盆地を信州から信濃川が南北に流れ下る。その魚沼丘陵に沿う信濃川河岸段丘の上に 縄文人が豊かな縄文の集落「笹山遺跡」を作り、中部縄文文化を代表する「火焰土器」を育んだ。きっと 集落からは 信濃川や上信越の山が見晴らせる素晴らしい丘に違いない。また、十日町は日本有数の豪雪地帯冬へ向かう今 どんな暮らしが見られるかも楽しみ。

一度行きたかった十日町。

現在は意外にも東京から2時間足らずで行ける。上越新幹線越後湯沢から北越急行が魚沼丘陵をトンネルで横切り、関西で抱く豪雪の山深い郷のイメージはもはやどこにもない。

東京での集まりの翌日 11月17日上越新幹線で行ってきました。



上越線 車窓から 越後三山 2010. 11. 17.

雨まじりの曇天の東京から上越国境を超えると「そこは雪国」ならぬ 快晴の空をバックに麓を紅葉に彩られ 頭に雪を戴く越後の山並みがすぐそこ。

越後湯沢で待ち受けた北越急行で魚沼丘陵の山腹をまっすぐ突き抜ければもう十日町。細長く伸びる魚沼丘陵と東頸城丘陵に両サイドを挟まれた街であるが、明るい街 関西で抱いていた豪雪に見舞われる奥深い山郷とのイメージは一気に吹っ飛んだ。

やっぱり 来てみないとわからないですねえ・・・。

時期的に豪雪の面影はないが、立ち並ぶ家並がどことなく違う。垂直な3階建てとか出っ張りのない3階建。



雪が覆い尽くす隠す1階部はコンクリートでしっかり雪を防御。木々の雪囲いも雪に押しつぶされぬようすっぽり板で囲むのである。こんな風景は初めて 関西人には雪の凄さは想像できぬ世界 やっぱりすごいなあ・・と。



十日町から北 日本海側を眺める 左東頸城丘陵 右 魚沼丘陵 2010.11.17.



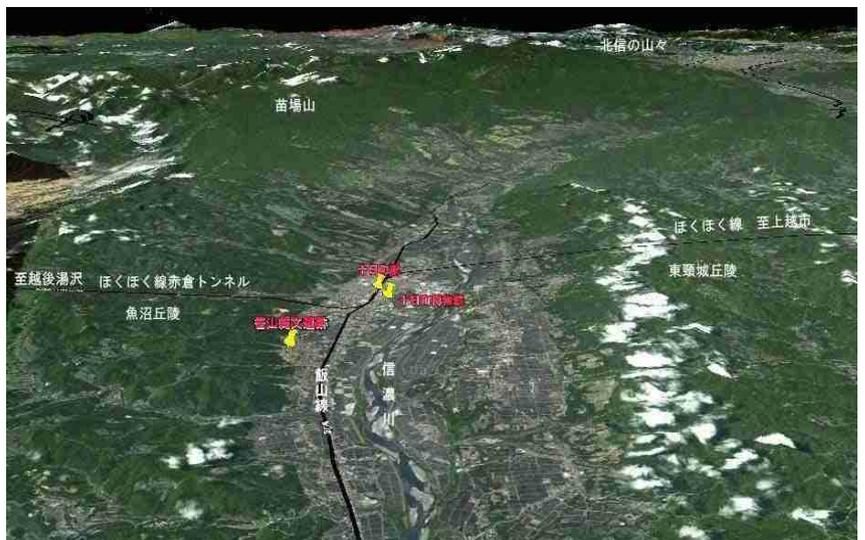
豪雪をさけるため、高い石組土台の上に家 窓には横板 新しい家の一階部は例外なくコンクリートで防御。
木々には 板で木々をすっぽり覆う雪囲い 豪雪準備が進む晩秋 十日町の民家 2010.11.17.

縄文人が集落を作り、素晴らしい火焰土器を育んだ丘陵地に登ると なだらかな緑の丘陵に挟まれた平地をゆったりと信州から新潟へ流れ下る信濃川が見える。ゆったりとした穏やかな空間が広がっていました。

「冬の雪の凄さと雪のないときの穏やかな景色」十日町が見せる両極端の景色

こんな景色の中で あふれ出るエネルギーを感じさせる火焰土器が育まれたと。

十日町の縄文の村 笹山遺跡の丘に座って眼前に広がる里山とは またちよっと違った穏やかな空間をしばし楽しんで帰りました



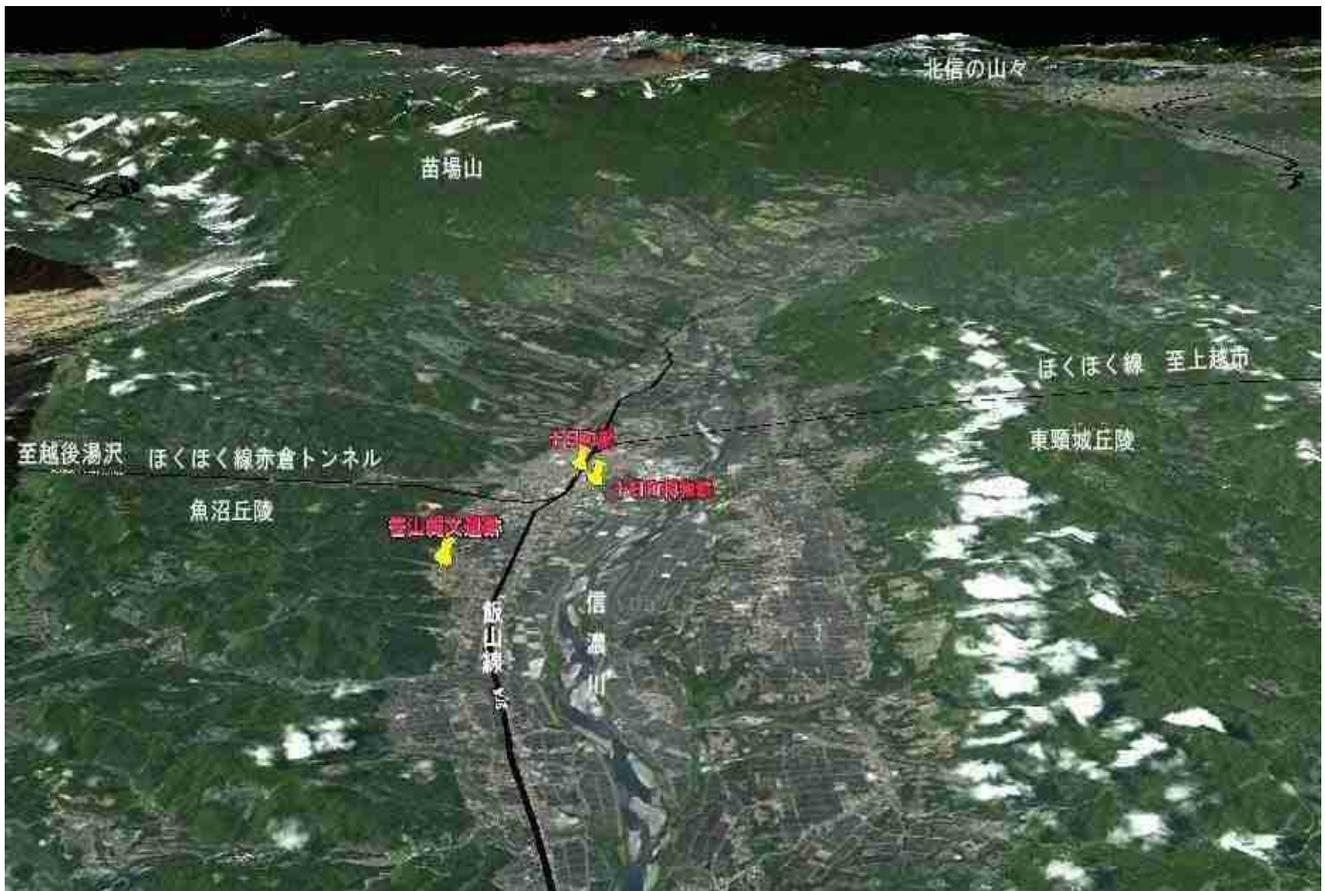
十日町の北側から信州側 二つの丘陵地に挟まれた十日町を眺める
笹山縄文遺跡から出土した国宝の火焰土器とこの火焰土器を育んだ十日町の秋の景色を写真アルバムにしました。

日本有数の豪雪地帯 東 魚沼丘陵 西 東頸城丘陵に挟まれた中央の十日町盆地を信濃川が南北に流れ下る
 その魚沼丘陵にそう信濃川河岸段丘の上に 縄文人が豊かな縄文の集落「笹山遺跡」を作り、中部縄文文化を代表する「火焰土器」を育んだ。
 きっと 集落からは 信濃川や上信越の山が見晴らせる素晴らしい丘に違いない。また、十日町は日本有数の豪雪地帯 冬へ向かう今 どんな暮らしが見られるのかも楽しみ。
 東京での集まりの翌日 11月17日上越新幹線で行ってきました。



豪雪対策が取られている十日町の街並と家々の作り

新築の家では豪雪で埋まる一階部分は雪庄を阻むためコンクリートで、窓は板がはめ込める。
 また、古い家もしっかりとした高い土台の上に建てられている。そして 雪で家が押しつぶされぬよう、
 でっぱりがない垂直でシンプルな縦長構造。また、雪に埋まる樹木にもすべて、板で雪埋い
 今 それぞれの家の周りで 冬への備えが 急ピッチで進められていました。
 豪雪地帯の暮らしの凄さです。もちろん 道路には除雪装置が埋められていた。
 2m近く雪がすべてを埋め尽くす暮らしへの知恵、やっぱり すこしと、雪の横もらぬ関西では見られない景色でした。
 この雪深い盆地の丘陵地(信濃川の河岸段丘)の上で 縄文人たちは 火焰土器など素晴らしい縄文文化を築かせた。そこは きっと見晴らしが良く 素晴らしい丘に違いないと。



十日町の北側から 信州側 二つの丘陵に挟まれた十日町を眺める [google earth より]



博物館入館案内

【所在地】十日町市西4町一丁目（西小学校・総合体育館隣り）
 【休館日】毎週月曜日、祭日の翌日、12月27日～1月4日
 【開館時間】午前9時～午後5時 入館は午後4時30分まで
 【観覧料金】高校生以上300円
 小・中学生は無料
 20名以上の団体は250円



十日町駅から 北勢へ少し歩いた市街地のはずれにある十日町博物館 国宝「火焰土器」など笹山縄文遺跡からの出土品が展示されている 2010.11.17.



国宝「新潟県 笹山遺跡 出土品」

新潟県上・中流域は縄文の定着地である。笹山遺跡は縄文時代中期から後期と中世の集落遺跡であり、7次にわたる発掘調査により、118棟にのぼる住居跡や多数の土坑、埴輪土器などが出土された。また、火焰土器など当地域を代表する土器が、東土・北沢原・中沢遺跡・貝北遺跡など当地域の土器群を併せて多数出土した。このほか、石鏃・石錐・石棒・磨石・石笛などの石製器も豊富で、土器・石器などの土製品、骨器や石珠などの石製品も多く出土した。縄文時代の人々の暮らしや習俗・文化を知るうえで極めて貴重な学術的資料である。

平成11（1999）年、「新潟県出土品」が国家に指定された（別冊参照）。中でも火焰土器・玉環土器は「古代の日本書」(ワシントン 1992年)、「縄文展」(ババ 1996年)に出展されるなど、日本の縄文史を代表するものとして紹介されている。

新潟県十日町市 笹山縄文遺跡出土 国宝 火焰土器 2010. 11. 17. 十日町博物館で

火焰土器が出土した笹山遺跡



笹山縄文遺跡が埋まる丘陵地より 信濃川越しに東頸城丘陵を望む 2010.11.17. 高台の野球場より西側の眺望



笹山縄文遺跡が眠る丘陵地 笹山縄文館の東側丘陵地上方より 2010.11.17.

笹山縄文遺跡の出土品

笹山じょうもん館案内板および十日町博物館資料より

国宝に指定された笹山遺跡出土品

平成11年(1999)6月7日、火焰型土器など深鉢形土器57点をはじめとする笹山遺跡出土品計928点が国宝に指定されました。新潟県にとって初の国宝指定です。また、縄文時代の遺物では長野県茅野市棚畑遺跡出土の土器(縄文のヴィーナス)について2番目、縄文土器では第1号の指定となります。

火焰型土器は縄文時代を代表する土器のひとつで、新潟県内でも中魚沼郡津南町から長岡市にかけての信濃川上・中流域で数多く発見されています。国宝に指定された深鉢形土器57点のうち火焰型土器は14点、王冠型土器は3点です。火焰型土器の中でも指定番号1の土器は、平成4年(1992)に「古代の日本史」(ワシントンD.C.)、平成10年(1998)には「縄文展」(パリ)。そして、平成13年(2001)には「神楽展-古代日本の聖なる美術-」(ロンドン)に出展されるなど、日本の原始美術を代表する土器として世界的に紹介されました。また、国内では小・中学校の歴史教科書などで取り上げられています。

国宝 笹山遺跡出土品とは

- 平成11年6月7日、国宝に指定されました。新潟県にとって初の国宝指定で、縄文土器では国内初の指定という快挙です。
- 土器は、火焰型、王冠型をはじめとする深鉢形土器が57点あります。ほかに、浅鉢形土器が5点、小型土器が2点あります。
- 石器は、野梨貝、近江貝、調理具がほとんどそろっていて、縄文とともに豊富です。
- 土器器や石製品などから、縄文人の服装やまつりのようすを知ることができます。



火焰型土器



高さ 46.5cm
最大径 43.8cm



高さ 34.5cm
最大径 33.8cm



高さ 57.9cm
最大径 53.3cm



高さ 28.2cm
最大径 27.4cm



高さ 27.2cm
最大径 28.8cm



王冠形土器



世山縄文遺跡が埋まる丘陵地より 信濃川越しに東頸城丘陵を望む 2010.11.17. 高台の野球場より西側の眺望



笹山縄文遺跡が眠る笹山縄文館 周辺 2010. 11. 17.

笹山縄文館がある場所を広場として馬蹄形に整穴住居が取り囲む集落だったようだ
住居跡はどれも現在の道路の下に埋まっているようだ



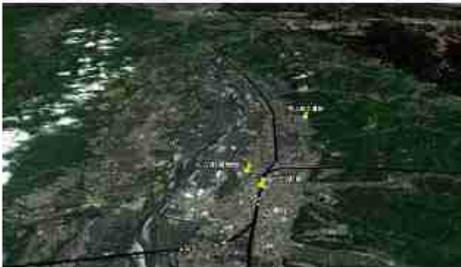
笹山縄文遺跡が眠る笹山縄文館 周辺 2010. 11. 17.



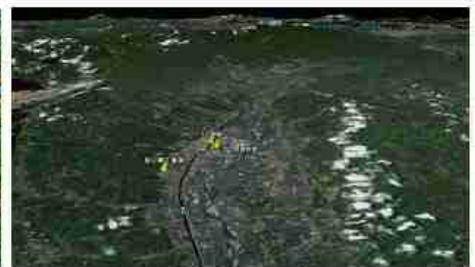
笹山縄文遺跡周辺 この道路の下に竪穴住居群が眠っているようだ 2010. 11. 17.



十日町から北 日本海側を眺める 左東頸城丘陵 右 魚沼丘陵 2010. 11. 17.



南側から眺めた十日町盆地



北側から眺めた十日町盆地



十日町駅より 南 信州側を眺める



十日町駅より 北 新潟側を眺める



豪雪をさけるため、高い石組土台の上に家 窓には横板 木々は雪囲い 豪雪準備が進む晩秋 十日町の民家 2010. 11. 17.



豪雪をさけるため、高い石組土台の上に家 窓には横板 新しい家の一階部は例外なくコンクリートで防御。

木々には 板で木々をすっぽり覆う雪囲い 豪雪準備が進む晩秋 十日町の民家 2010.11.17.

【上越国境をトンネルでくくると越後国 頭に雪を戴いた越後三山が目の前に見えてくる 2010.11.17.】



上越線 車窓から 越後三山 2010.11.17.



雪を戴く八海山から越後三山の峰々



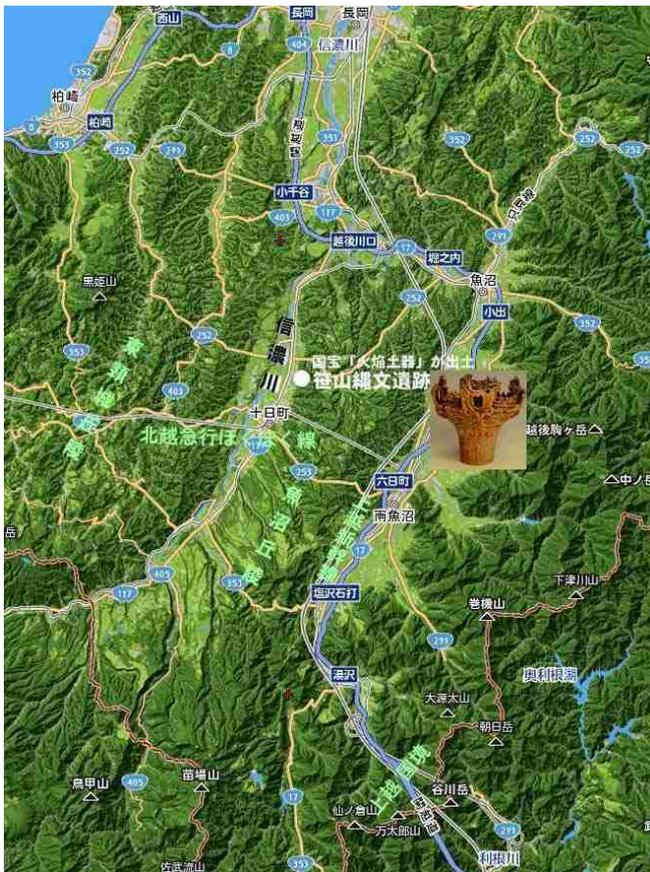
巻機山山塊



越後湯沢駅周辺の山々の紅葉



越後湯沢駅より 上越国境の山々



美祿市於福に新しい野菜レストラン誕生

Mine-1. 美祿ブルーベリーハウス レストラン「サビエル カンパーナ」 2010. 8. 2.



国道 316 沿い美祿ブルーベリーハウス ブルーベリーガーデン隣の道の駅「於福」・於福温泉



参照 秋吉ファームガーデン home page <http://www.akiyoshi-farmgarden.jp/>

美祿の家の草抜きに約 10 ヶ月ぶりに出かけた美祿。

梅雨時の集中豪雨で水浸しになった美祿盆地に被害はどうかと心配していましたが、元気な美祿に一安心

もともと 鉄橋が流され、美祿線は今も不通。代替バスが国道 316 を瀬戸内海側の厚狭から美祿を通して長門を結ぶ

「美祿 国道 316 号沿いの道の駅「於福」・於福温泉に隣接して 地産地消の素晴らしい野菜のレストランが誕生。

今流行のレストランの中に、野菜工場がついていて 地域の野菜を主に併設されているブルーベリー農園のブルーベリーのドレッシングも楽しいし、ふんだんに野菜が食べられるバイキングレストラン。珍しいだけでなく実においしい。

絶対喜ぶと思う。8 月 1 日に誕生したところですが、絶対お勧め」と教えてもらった。

美祿の新しい地域取組のレストラン誕生と 今流行のレストランの中にある野菜工場が見られると興味深々で 家内と二人早速出かけました。

地域の人達や諸施設と連携して、地域の活性化・地域の農業と観光振興を目指した「認定農業生産法人「秋吉ファームガーデン」を設立し、美祿市於福の 316 号線沿いの於福温泉の隣に美祿ブルーベリーガーデンを開設。

人気の高い各種ブルーベリーの生産販売とシーズンにはブルーベリー狩り（観光農園）を行なうとともに、この観光農園の直ぐ横に美祿ブルーベリーハウスを併設して、地域の野菜・果物やその加工品など地域特産品販売コーナー・ファーマーズマーケットや天然素材・酵母にこだわったパン工房、体験工房などを逐次併設し、国道 316 美祿線於福駅をアクセスに誰もが楽しめるゾーンとなった。

今回 野菜のバイキングレストラン「サビエル カンパーナ」が開設されたという。

隣には 数年前に開設された道の駅「於福」・於福温泉があり、多くの人達が集う美祿市の観光ゾーンのひとつになってきました。

秋吉ファームガーデン home page <http://www.akiyoshi-farmgarden.jp/>



「美祿ブルーベリーガーデン」 観光農場



美祿ブルーベリーハウス店内 店内に野菜工場・パン工房・地域特産品ショップ・ファーマーズマーケット

地産地消にこだわり、ここの農園の採れたて新鮮野菜など四季の素材の美味しさを生かして調理された野菜料理がテーブル一杯に並ぶ。ブルーベリーを使ったソースなど珍しい煮込みを含め、家では味わえぬ洒落た工夫が施された野菜料理が好きなだけ、自分でとって食べられるバイキング。デザートも地産地消のケーキおいしかった。また、ハーブティ ブルーベリージュースなど数々の野菜ジュースを楽しめたのも goo でした。

どちらかというと 私は野菜はちょっと苦手なのですが、まったく抵抗なくおなか一杯 満足でした。



美祿ブルーベリーハウス
バイキング レストラン
「サビエル カンパーナ」



普段着ながら ちょっと洒落た昼の野菜バイキングとティータイムが楽しめるレストラン。
残念ながら 午後6時閉店で、ディナーを楽しむというわけには行きませんが、機会があれば 是非。本当にお勧め。

疲弊する地方の街の典型と思われた「美祢」に新しい顔が生まれ、
大都会にしか なじまないと思っていたことを地方が育て、リードしてゆく。
元気な活気ある場所として美祢の国道316沿いが面として広がって行くのはうれしい限り。
かつて美祢の住人だった私にも ちょっとうれしくて ご紹介します

2010.8.2. by Mutsu Nakanishi



「美祢ブルーベリーハウス」と国道316の奥に花尾山 2010.8.2.



「美祢ブルーベリーガーデン」 観光農園



「美祢ブルーベリーハウス」店内にある野菜栽培工場



美祢ブルーベリ*ハウスの南側 道の駅「於福」・於福温泉

